



ご あ い さ つ

熊本県中学校体育研究会会長 楠木 正昭

平成28年度を顧みますと、激動の1年を過ごしたように思います。4月に甚大な被害を受けた熊本地震では、心痛めることも多かったのではないのでしょうか。震災直後は生活が一変して、辛い思いや今後の生活への不安を持たれたことと思います。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の震災により、失ったものも多かったですが、得たもの、気づかされたものも多かったと思います。それは、人の優しさに救われたような気がします。人の温かさ、人と人の繋がり大切さ、絆など真の姿をこれからの学校生活の中に生かし、心の教育を推進していかなければと思っていますところ。

さて、平成28年度の県中学校総合体育大会（熊本市開催）では、熊本地震の影響で急遽会場の変更や酷暑が続く中での開催で心配されましたが、何とか無事に終了することができました。地震の影響により練習環境の確保や体調面で心配された九州大会・全国大会でしたが例年以上に好成績を納めることができました。これもひとえに先生方のご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

また、平成29年度開催される県中学校総合体育大会（夏季大会）は芦北水俣郡市・球磨人吉合同でのブロック開催の初年度になります。また、九州大会は空手道とソフトテニス競技が開催される予定ですが、地震の影響で施設が使用できずに大会会場の確保が懸念されています。さらに全国中学校体育大会九州ブロック大会が8月に開催され、陸上競技とサッカー競技を熊本県が担当します。11月には九州学校体育研究発表大会が熊本市を会場として開催され、日本中体連研究発表大会北海道大会で本県の発表が控えています。平成29年度も激動の一年となりそうですが、全国に「おもてなしの心」を届けられるように、また、復興のシンボルとして熊本の元気な姿を発信し大会成功に向けて頑張っていきたいと思えます。

平成29年2月に文部科学省は小中学校の学習指導要領の改定案を公表しました。各教科でプログラミング教育を含めた情報活用能力の育成を目指して、育てたい資質や能力を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」の実現を掲げました。中学校では33年度からの全面実施を予定しています。今回の保健体育の改訂の基本的な考え方として、心と体を一体として捉え、生涯にわたる心身の健康の保持増進や豊かなスポーツライフの実現を重視すること。また、運動や健康について自他の課題を発見し、その解決に向けて思考・判断し、それを他者に伝えるといった内容です。「健全なる精神は健全なる身体に宿る」という言葉があるように、心と体を一体として成長を促していくことが重要です。今回熊本地震のように震災はいつでもどこで起こるかわかりません。人間は生きていく上で、様々な厳しい出来事が起きます。逆境に勝る教育はないといいますが、子どもに本来備わっているかけがえのない力を掘り起こして、世代を経ても運動を楽しむ生涯スポーツを実践し、運動の習慣化を図っていくことが重要です。教師の仕事は子どもの心に灯をともしことです。充実した授業が展開されることを願っています。

今年度も各郡市中体研の先生方が理事長と連携を図りながら各事業に献身的に取り組んでいただき、成果をあげていただきました。先生方には各学校において日々の授業及び生徒指導等ある中で、理事としての役割、職務の使命感と責任感に支えられてきたものだと思っております。その御労苦に深く感謝申し上げます。来年度の九州学体研に向けてどうぞよろしく願いいたします。

終わりに、本研究会並びに保健体育教師への多大なるご指導とご支援いただいております熊本県教育庁体育保健課をはじめ、温かいご支援を賜りました関係各位に心から感謝申し上げます。

会員の先生方の益々のご活躍と本研究会の充実・発展を祈念しましてあいさついたします。

### 3 学校体育優良校及び功勞者一覽

年度	功 勞 者	優 良 校
37		八代第三中学校 (八代市)
38		西 部中学校 (下益城郡)
39		出 水中学校 (熊本市)
40		城 南中学校 (下益城郡) 柏 中学校 (阿蘇郡)
41		
42		八代第二中学校 (八代市)
43		不知火中学校 (宇土郡)
44		湖 東中学校 (熊本市)
45		河 内中学校 (飽託郡)
46	丹波 久 (天 草・佐伊津中学校長) 島田 重孝 (鹿 本・米之岳中学校長)	本 渡中学校 (本渡市)
47	湯浅 恒俊 (上益城・御 船中学校長)	小 川中学校 (下益城郡)
48	川端 保 (宇 土・鶴 城中学校長)	一勝地中学校 (球磨郡)
49	岩村三智雄 (下益城・松 橋中学校長)	宮野河内中学校 (天草郡)
50	大塚 一男 (阿 蘇・阿蘇北中学校長)	阿蘇北中学校 (阿蘇郡)
51	近藤 豊 (八代市・八代第一中学校長)	長 洲中学校 (玉名郡)
52	栗田 秋生 (宇 土・鶴 城中学校長)	錦ヶ丘中学校 (熊本市)
53	鶴田 英基 (熊本市・帯 山中学校長)	青 海中学校 (宇土郡)
54	坂本 春雄 (上益城・嘉 島中学校長)	本 渡中学校 (本渡市)
55	高野 正勝 (熊本市・帯 山中学校長)	二 見中学校 (八代市)
56	塩田久仁夫 (天 草・有明東中学校長)	五和西中学校 (天草郡)
57	福永 忍 (球 磨・多良木中学校長) 全 国 高宗 健一 (菊 池・菊池東中学校長) 県 平野 宙郎 (鹿 本・鹿 本中学校長) // 西林 恒英 (熊 本・白 川中学校長) //	菊 鹿中学校 (鹿本郡)
58	郷 愛明 (熊本市・錦ヶ丘中学校長) 全 国 和泉 忠孝 (飽 託・北 部中学校長) 県 森本 博憲 (下益城・豊 野中学校長) // 田中 勉 (熊本市・城 南中学校長) //	天 明中学校 (飽託郡)
59	安見 豊 (菊 池・西合志南中学校長) 全 国 小山 弘則 (玉 名・天 水中学校長) 県 北村 直孝 (熊 本・城 南中学校長) //	下矢部中学校 (上益城郡)
60	四宮智香志 (芦 北・佐 敷中学校長) 全 国 石川 親弘 (鹿 本・菊 鹿中学校長) 県 小島 昌夫 (天 草・牛 深中学校長) //	中 央中学校 (下益城郡)
61	上野 虎幸 (熊 本・錦ヶ丘中学校長) 全 国 小田 正也 (上益城・木 山中学校長) 全 国 上田 博澄 (鹿 本・山 鹿中学校長) 県	有 明中学校 (玉 名) 全国 牛 深中学校 (天 草) 県 西 原中学校 (熊 本) //
62	重本 雄介 (八代市・八代第二中学校長) 全 国 貞永 茂 (八代市・八代第一中学校長) 県 的場 和生 (球 磨・免 田中学校長)	多良木中学校 (球磨郡) 全国 八代第一中学校 (八 代) 県
63	西田 豊 (八代市・八代第三中学校長) 全 国 本田 一郎 (阿 蘇・白 水中学校長) 県 吉永 時男 (熊 本・武 蔵中学校長) //	葛 渡中学校 (水 俣) 全国 玉 名中学校 (玉 名) 県

年度	功 勞 者	優 良 校
平成元	森川 健祐 (熊本・元錦ヶ丘中学校長) 全 国 木村 孝明 (熊本・菊 鹿中学校長) 県 須佐美朋紀 (上益城・中 島中学校長) //	倉 岳中学校 (天 草) 全国 白 川中学校 (熊本) 県
平成 2	下川 和幸 (熊本・西 原中学校長) 全 国 山下 昭男 (天 草・元大矢野中学校長) 県 河部 博典 (飽 託・天 明中学校長) 県	富 合中学校 (下益城) 全国 小 川中学校 (下益城) 県
平成 3	中元 敏行 (水 俣・水俣第一中学校長) 全 国 山下 一 (下益城・元小川中学校長) 県 中山 保 (宇 土・元網田中学校長) //	植木北中学校 (鹿 本) 全国 千 丁中学校 (八 代) 県
平成 4	渡 亮三 (菊 池・七 城中学校長) 全 国 島 榮三郎 (熊本・芳 野中学校長) 県 里木 茂 (八代市・日奈久中学校長) // 井村 穂助 ( // ・八代第一中学校) //	阿 村中学校 (天 草) 全国 七 城中学校 (菊 池) 県
平成 5	東 良一 (熊本・元湖東中学校長) 全 国 中島 正士 (玉 名・玉 陵中学校長) 県 龍川 武弘 (鹿 本・鹿 北中学校長) // 山下 武 (八代郡・千丁中学校教諭) //	球 磨中学校 (球・人) 全国 菊池東中学校 (菊 池) 県
平成 6	西山 富男 (天 草・本渡東中学校長) 全 国 高田 幸也 (宇 城・砥 用中学校長) 県 門久 未治 (芦 北・佐 敷中学校長) // 光永 功 (阿 蘇・一の宮中学校教諭) //	御所浦中学校 (天 草) 全国 波 野中学校 (阿 蘇) 県
平成 7	高山 優二 (熊本・飽 田中学校長) 全 国 大塚 新也 (菊 池・泗 水中学校長) 県 渡邊 信一 (上益城・中 島中学校長) // 井芹 徹也 (阿 蘇・阿蘇北中学校長) //	天 水中学校 (玉 名) 全国 中 島中学校 (上益城) 県
平成 8	岡田 克之 (熊本・西 原中学校長) 全 国 松尾 昌 (荒 尾・元荒尾第二中学校長) 県 福田 洋史 (鹿 本・元米野岳中学校長) // 畠山 篤 (熊本・北部中学校教諭) //	砥 用中学校 (宇 城) 全国 岡 原中学校 (人吉球磨) 県
平成 9	大浦 徳義 (八代郡・鏡 中学校長) 全 国 山口 幸喜 (菊 池・旭 志中学校長) 県 前田 司 (玉 名・長 洲中学校長) // 小車 睦男 (球 磨・上 村中学校長) //	東 野中学校 (熊本) 全国 南 関中学校 (玉 名) 県
平成 10	藤野 健一 (熊本・東 野中学校長) 全 国 瀧上 義行 (鹿 本・元米野岳中学校長) 県 本山 健一 (玉 名・南 関中学校長) // 岡部 富雄 (天 草・五和西中学校長) // 長野 寛 (熊本・清水中学校教諭) //	田 浦中学校 (芦 北) 全国 鶴 城中学校 (宇 城) 県
平成 11	藤本 正則 (阿 蘇・長 陽中学校長) 全 国 相馬 將末 (菊 池・元菊陽中学校長) 県 濱口 護 (八代市・八代第三中学校長) // 速水 弘智 (熊本・元清水中学校教諭) //	富 津中学校 (天 草) 全国 県・・・該当校なし
平成 12	入江 正明 (宇 城・松 橋小学校長) 全 国 大跡 弘道 (玉 名・元腹栄中学校教諭) 県 松田 耕平 (熊本・河 内中学校長) //	菊 水中学校 (玉 名) 全国 県・・・該当校なし
平成 13	伊東 祐紀 (菊 池・大 津小学校長) 全 国 田中 苗正 (熊本・元江原中学校教諭) 県 宮本 英利 (下益城・松 橋中学校長) //	菊池南中学校 (菊 池) 全国 京 陵中学校 (熊本) 県

年度	功 勞 者	優 良 校
平成 14	上田 長利 (熊本・東 町中学校長) 全 国 木下 博信 (宇 城・網 田中学校長) 県 甲斐謙一郎 (阿 蘇・一の宮中学校長) //	八代第三中学校 (八 代) 全国 荒尾第一中学校 (荒 尾) 県
平成 15	馬淵 睦揮 (八 代・八代第一中学校長) 全 国 吉田 晃克 (八 代・氷 川中学校長) 県 坂本 俊徳 (菊 池・菊池南中学校長) // 許田 重治 (熊 本・錦ヶ丘中学校教諭) // 矢住 嘉孝 (天 草・栖本中学校教諭) //	山 鹿中学校 (鹿 本) 全国 水俣第三中学校 (芦北水俣) 県
平成 16	井上 博之 (芦北水俣・水俣中学校長) 全 国 松尾 修一 (荒 尾・荒尾第四中学校長) 県 福永 浩平 (鹿 本・植木北中学校長) // 吉田 正範 (八 代・八代第二中学校長) //	高森東中学校 (阿 蘇) 全国 東 部中学校 (熊 本) 県
平成 17	高橋 忠男 (天 草・佐伊津中学校長) 全 国 吉岡 道男 (阿 蘇・高 森中学校長) 県 田川 浩輔 (熊 本・東 部中学校長) // 桑原 秀文 (八 代・日奈久中学校長) //	長 洲中学校 (玉 名) 全国 ※文部科学大臣賞受賞 武 蔵中学校 (熊 本) 県
平成 18	松本 英隆 (熊 本・長 嶺中学校長) 全 国 上妻 正義 (熊 本・元松尾西小学校長) 県 上水富美雄 (八 代・八代第三中学校長) // 西田 和子 (熊 本・飽 田中学校長) //	桜 山中学校 (熊 本) 全国 錦 中学校 (人吉球磨) 県
平成 19	坂井公一郎 (熊 本・出 水中学校長) 全 国 森脇 正信 (八 代・元鏡中学校長) 県 東 文明 (人吉球磨・元多良木中学校長) // 川上 一也 (熊 本・二 岡中学校長) //	託 麻中学校 (熊 本) 全国 藤 園中学校 (熊 本) 県
平成 20	前川 隆道 (熊 本・桜 木中学校長) 全 国 東 隆正 (菊 池・大 津中学校長) 県 管野 哲雄 (熊 本・西 原中学校長) // 岩下健三郎 (芦北水俣・水俣第一中学校長) //	大津北中学校 (菊 池) 全国 山 江中学校 (人吉球磨) 県
平成 21	下地 哲雄 (玉名荒尾・菊 水中学校長) 全 国 中川 秀喜 (阿 蘇・元白水中学校長) 県 佐伯 省五 (阿 蘇・元阿蘇中学校長) // 古田 憲雄 (熊本市・元湖東中学校長) //	鹿 南中学校 (鹿 本) 全国 益 城中学校 (上益城) 県
平成 22	境 幸治 (宇 城・松 橋中学校長) 全 国 松野 孝雄 (阿 蘇・元阿蘇北中学校長) 県 小田 定則 (人吉球磨・人吉第二中学校長) // 戸越 政幸 (玉名荒尾・腹栄中学校長) //	東 町中学校 (熊 本) 全国 白 水中学校 (阿 蘇) 県
平成 23	上原 明憲 (熊 本・桜 木中学校長) 全 国 皆本秀一郎 (熊 本・植木北中学校長) 県 前野 講紀 (宇 城・小 川中学校長) // 太田 篤洋 (八 代・八代第一中学校長) // 松尾 真映 (天 草・大矢野中学校長) //	湯 前中学校 (人吉球磨) 全国 県・・・該当校無し
平成 24	西 龍三郎 (人吉球磨・錦 中学校長) 全 国 堀田浩一郎 (山 鹿・山 鹿中学校長) 県 土田 好次 (熊 本・城 西中学校長) // 村橋 勝記 (八 代・元鏡中学校長) //	腹 栄中学校 (玉名荒尾) 全国 八代第七中学校 (八 代) 県
平成 25	日置 大介 (熊 本・力 合中学校長) 全 国 内藤 訓光 (菊 池・旭 志中学校長) 県 千原 功一 (熊 本・長嶺中学校教頭) //	鏡 中学校 (八 代) 全国 京 陵中学校 (熊 本) 県

年度	功 勞 者	優 良 校
平成 25	松山 禎一 (熊 本・白川中学校教頭)      〃 下城 基宏 (阿 蘇・元波野中学校教諭)    中体連 辛木 秀子 (熊 本・西原中学校教諭)      〃	
平成 26	日永 信夫 (熊 本・二 岡中学校校長)    全 国 井野 英利 (菊 池・菊池南中学校校長)    県 田邊 鶴芳 (阿 蘇・長 陽中学校校長)    〃 吉村 幸男 (天 草・五 和中学校校長)    〃 吉永 公力 (宇 城・元砥用中学校校長)    中体連 本田 邦生 (芦北水俣・元芦北教育事務所指導主事) 〃	鶴 城中学校 (山 鹿) 全国 山 鹿中学校 (山 鹿) 県
平成 27	加藤 敬之 (上益城・甲佐中学校校長)    全 国 松本 秀一 (芦 水・湯浦中学校校長)      県 稲田奈保美 (熊 本・城南中学校校長)    〃 豊田 修治 (山 鹿・鶴城中学校教頭)      〃 菊池みずほ (熊 本・信愛女学院高等学校新体操部顧問) 中体連	荒尾第四中学校 (荒 玉) 全国 鶴 城中学校 (宇 土) 県
平成 28	楠木 正昭 (熊 本・長嶺中学校校長 )    全 国 桑原 弘幸 (球 人・元相良中学校校長)    県 高田 哲弘 (球 人・元湯前中学校校長)    〃 川崎 卓 (天 草・阿村中学校校長 )      〃 斗高 克敏 (上益城・元蘇陽中学校教諭)    中体連 松木 英樹 (天 草・五和中学校教諭 )      〃	出 水中学校 (熊 本) 全国 花 陵中学校 (熊 本) 県



## 学校体育功労賞を受賞して

熊本市立長嶺中学校長 楠木 正昭

「光陰矢の如し」と言います。月日が経つのは早い、1日は長く感じるが1年は早く感じるとも言います。教職生活33年間が経過し、振り返ると様々な厳しい状況を乗り越えながらも、後一年の教職生活となりました。

今年度、全国学校体育功労者賞を受賞させていただきました。県中体連の理事長、会長を勤めさせていただきましたが、何の実績もございません。多くの素晴らしい先生がおられる中で受賞させていただき、身に余る光栄であり、恐縮にたえません。このような私をこれまで支えていただいた先生方に、心より感謝申し上げます。

さて、平成28年4月に発生した熊本地震により甚大な被害を受けました。私自身心が折れそうになりましたが、このような中日本中体連では各都道府県に熊本県中体連への支援を呼びかけていただき、九州中体連では8月九州大会熊本開催予定の(軟式野球とバスケットボール)を福岡県と宮崎県で急遽開催していただきました。さらに、佐賀県中体連では「心を込めて応援タオルを作成しました」「1日も早い復興をお祈り申し上げます。頑張ろう熊本」のロゴ入りのタオル3,700枚を届けていただきました。改めて人の優しさ・人の温かさ、そして中体連の絆を実感したところです。

平成29年度教職生活最後の年になりますが、昨年に引き続き激動の1年になりそうです。7月県中学校総合体育大会ブロック大会(芦北水俣郡市・球磨人吉)初年度であり、8月全国中学校体育大会、陸上・サッカー大会の開催、11月に九州学校体育研究発表大会の熊本市開催、そして日本中体連研究発表北海道大会の発表と目白押しです。震災の厳しい困難にも負けない「復興のシンボル」として、全国の大会において熊本の元気な姿を発信し「勇気」を与えることができればと思っています。そして、中体連への恩返しと思ひ精一杯頑張っていきたいと思っています。

これまでを思い返しますと、平成8年に熊本市立東町中学校に赴任し副理事長として県中体連に携わり、早いもので21年が過ぎました。その間、県大会や九州大会そして全国大会の運営経験を通して、県内の各郡市中体連の先生方と出会い、多くのものを学ばせていただきました。素晴らしい先生方と出会い、学ばせていただいたことをこれからの体育教師に伝えたいと思っています。それは不易と流行と言いますが、不易である日本の伝統教育の良さである、礼節を重んじる姿勢・態度、後ろ姿の教育を大切にしたいと思っています。私の大好きな言葉に「潔さ・心意気・粋に感じる・義理・人情」、どの言葉も心に響きます。この一つ一つの言葉に「日本の心」があるように思います。これまでの中体連で出会った先生方の姿がまさしく「潔さ・心意気・粋に感じる・義理・人情」の姿であり、「日本の心」だと思っています。

私も後1年で退職を迎えます。先輩から受け継いだ「日本の心」をこれからの先生方に繋いでいかなければと思っています。

最後になりますが、県中体連はこれからも様々な多くの課題を抱えていますが、これまで脈々と受け継がれてきた中体連の魂を次代へ繋げて欲しいと思っています。中体連・中体研の益々の発展を願い、お礼の言葉といたします。



## 体育功労賞を受賞して

元相良村立相良中学校 校長 桑原 弘幸

熊本県学校体育功労賞の栄誉を賜り、感無量で、私ごときにと大変恐縮いたしています。これもひとえに中体連・中体研関係の先生方、職場の同僚、保護者や地域の皆様方の温かい庇護のもと教えられ・導かれ・支えられたお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

顧みますと、私は、五つ上の兄を目標に体育教師を目指しました。大学卒業後に5年間小学校の講師・教諭を経て念願の山江中学校に体育教師として赴任しました。体育教育＝人間教育、体育では、知徳体の調和のとれた生徒の育成ができると水を得た魚の感があり、授業に部活に生徒指導にと無我夢中で活気に取り組み、それは経験と勘だけの非科学的な独りよがりの指導でした。山あり谷あり、生徒には申し訳ない指導もあったと自責の念も多少あります。特に部活動では、今と違い休みもあまり与えなく一方的で厳しい指導「勝つためには人より多く稽古すること」自分にも生徒にも言い聞かせ、強引に引っ張ってきました。そんな若輩に一番指導していただいたのも体育の先輩先生方でした。飲み方の場での指導もよくありました。県の体育研究発表会にはいつも泊まりがけで出かけましたが、飲んでばかりいてよく叱られました。しかし、一生忘れられない貴重で楽しい思い出ばかりです。「誰のために何のために仕事をするのか、使命感と責任感」「体育教師知恵を出せ、知恵の出んやつ汗を出せ、汗も出んやつ辞表出せ」心に残る言葉です。中体研では、剣道部会の仲間と放課後や休日に、指導用ビデオの作成に取り組みました。手前味噌ですが、その頃では珍しい素晴らしいできの視聴覚教材でしたので多くの注文があり沢山配布しました。剣道部会の力強い絆があり、教育課程研や県保体研究発表大会での発表も手がけました。郡市中体研理事長時代は、体育全領域の年間計画作成に取り組みました。球磨地区で作成した様式が基となって県中体研全体の取り組みになりました。球磨中学校では、文科省から武道指導研究推進校の指定を受け全職員で取り組みました。地域の方から「球磨中ではブドウ（葡萄）ば栽培しなつとですか」と思い違いされたことがあり、思わず笑みがこぼれました。日本の伝統文化としての武道の特性を体育は勿論すべての教育活動でどのように取り組み、生かすか大変苦労しました。発表会で300名を超える参加者の昼飯に用意する鮎の塩焼き方法、猪汁の出汁はどうするか保護者に知恵を出していただきました。結果は大変好評で、地域の皆様の協力無くしてはできない事でした。県剣道専門部長として県・九州大会開催には皆さんの力強い協力のお陰でどれも成功に終わりました。熊本国体に向けての競技力向上、剣道専門の先生方にご協力いただき強化事業を行い、礎を作り高校に送り出しました。結果三年後に少年の部は男女ともに優勝できたことは大きな喜びとなりました。管理職となってからは、教育に対する熱意、生徒に対する愛情、職員の指導、学校の牽引者、体育教師としての心構えやあり方、専門性や指導力等、中体研・中体連で学ばせていただいた多くのことが大いに役立ち、大過なく退職を迎えることができました。やりたい放題、本当に最高に幸せな体育教師でした。ご迷惑をおかけしました。

最後になりましたが、熊本県中体研・中体連のますますの発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、これまで長きにわたりご指導いただきました多くの先生方に感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。「熊本県中体研・中体連万歳、ありがとうございます。」



## 「学校体育功労賞を受賞して」

元湯前町立湯前中学校 校長 高田哲弘

平成28年度熊本県学校体育功労賞を賜り、関係者の皆様はじめ多くの方々のおかげだと心より感謝申し上げます。

今から47年前、私が中学校2年生の時、図書室でオリンピックの写真集を眺めていた。すると数学の先生が、私の背後から「体育の先生もよかかもしれん。」とぼそそとつぶやかれた。その言葉が体育教師を目指すきっかけになったような気がする。

高校時代は部活動に熱中し、体育系大学へ進学した。在学中も部活動に力を入れながらも中学校体育の免許を取得することができた。卒業後は、小学校教員免許を取得するため通信教育を受け、採用試験の勉強と平行して土建業や飲食業のアルバイトを続けた。そして2年間の臨採を経て、人吉市立東小学校に採用されたのである。

そして3年後、念願だった中学校体育教師として水上小学校に赴任し7年間を過ごしたが、部活動(特に駅伝)の指導に明け暮れ、保護者ともよく飲んだ。試合の結果が悪くても保護者の口から出る言葉は、私への感謝の気持ちばかり。なんとかしていい結果を出して喜んでもらおうという一心で、かなり厳しい練習を課した。「あのときの苦しい練習が社会に出てからの糧になった。」と、今でも教え子たちが言ってくれるのが何より嬉しい。

その後、多良木中学校へ赴任。生徒指導担当となり、夜中まで家庭訪問をして駆けずりまわっていたのが懐かしい思い出である。駅伝では、県大会に出場することができたが、県のレベルの高さを思い知らされた。

3年が過ぎ、人吉第二中学校に赴任。野球部担当となり、毎日のようにノックの雨を降らせた。保護者の野球熱は高く、バックネット裏には常に練習を見守る姿があった。大所帯の部活動では、いかに効率的に練習をこなすか、そして集中させるかが鍵であることを痛感した。

2年後、岡原中学校へ赴任。再び陸上部の指導をすることになるが、部員はわずか4名で廃部の危機に迫られていた。それが数年後にまさか県を制するチームになるとは…。練習スタイルを当初から大きく変えてみた。生徒たちになるべく主体性を持たせるために練習日記及び個別練習計画に基づいた練習日を週一回設定した。その他日曜日は休養とし大会出場回数を絞る。練習後の足のアイシング、学校近くの野山を利用したクロスカントリやゴルフ場での練習を取り入れるなど、かなり画期的なものであったように思う。県駅伝大会で10位、翌年4位、そして平成12年に念願の優勝を飾ることができた。優勝した翌日は、祝福の電話が鳴りっぱなしで授業どころではなかったことを記憶している。小さな学校が、九州そして全国大会という大きな舞台を経験できたことは、私にとって大きな財産になった。

その後、教頭として小中学校合わせて四校8年間を経験し、湯前町立湯前中学校を最後に教職生活を終えることができた。

今の私に「教育とは何か」と問われるならば、「子どもたちの無限の可能性を引き出すことではないか。」と答えるだろう。教職生活の半分以上が部活動三昧であったが、生徒たちの様々な可能性が開花し実現する瞬間に出会い、私自身も成長させてもらった。

やり残したことは山ほどあるが、これまで微力な私を支えてくださった多くの皆様方に改めて感謝申し上げたい。





## 学校体育功労者賞を受賞して

上天草市立阿村中学校 校長 川崎 卓

平成28年度熊本県中学校体育功労賞を受賞させていただくことになり、まずは関係者の皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。これまでの教職生活36年間の内、小学校勤務が19年、中学校勤務が17年と中学校体育にどれだけ貢献できたのかと思うと私が受賞させていただいていいのかと大変恐縮しております。ただ、いろんな方々の支えがあってこの賞をいただくことができたのだと感謝しているところです。

私は高校を卒業するまで教師になることは考えていませんでした。大学を受験する際、視力の影響で目指していた仕事に従事することが難しいと分かった時、中学校から高校まで続けてきた陸上をもう少し続けたい、自分が走らなくなった後も陸上競技と関わりたいという思いから体育教師の道へ進もうと決め教育学部の体育科を受験しました。

大学卒業後、熊本県の採用試験を小学校志望で受け、初任は八代市の小学校に赴任しました。毎日の授業に追われる中、2年目には、その大規模校の体育主任を仰せつかり、前任の先生に指導を仰ぎながら悩みながら主任の仕事をしていただいたことを思い出します。体育大会等の運営を通して組織として物事を動かすことをしっかりと学ばせていただきました。長い教職生活の礎になった3年間でした。

中学校へ移ったのは教職8年目の時でした。そこから12年間3校の中学校で教諭として勤めました。朝早くから夜遅くまで、体育の指導と部活動の指導に明け暮れました。部活動では、目の前の子どもたちに何とか良い成績を取らせたいと必死でした。ただ、それが自分よがりの部活動運営にもつながっていました。「私たちは先生のロボットではない。」中体連部会大会で敗退した後、ある生徒の書いた作文に愕然としました。生徒の主体性や気持ちを無視した練習を強いてきたことを強く反省させられました。私の部活動指導のターニングポイントとなりました。

また、中学校の教諭時代の12年間は、天草郡市の中体連・中体研の役員として仕事をさせていただいた時期でもあります。県の駅伝大会が天草で開催され、大会運営等関わらせていただきました。県中体研研究発表大会（天草大会）へも研究理事として従事させていただきました。研究理事としての力不足で天草の先生方に多大なご迷惑をおかけしたと今でも反省するばかりです。

管理職となり16年間、中体研・中体連で学ばせていただいたことが学校を運営していく上での基礎になっていると感じます。自主性・創意工夫・組織としての対応等々多くの考え方が生かされています。管理職として先生方が働きやすい環境、生徒が安心して生活できる環境、環境を整えることを柱に教頭職・校長職に従事してきました。

退職まであと1年、教職に就きたいと思ったときの原点に立ち返り、一教師としてその思いを全うしたいという思いが強くなってきました。伸びよう・成長しようとする子どもたちと共にありたい。そういう思いから、早朝よりグラウンドに立ち、各部活動顧問と一緒に生徒のトレーニングを手伝っています。あとしばらく体育教師でいられることに幸せを感じています。

最後に、教職生活終盤に天草郡市中体連・中体研会長及び熊本県中体連・中体研副会長という名誉ある職を仰せつかり、さらに多くのことを学ぶ機会を得ました。そして多くの人との縁ができました。このことも私の生涯の財産となりました。微力ながら熊本県中学校体育研究会並びに熊本県中学校体育連盟の充実と発展のためにいましばらく尽力して参りたいと思います。あとしばらくお世話になります。そして、よろしくお願ひします。



## 熊本県中学校体育連盟功労賞を受賞して

元山都町立蘇陽中学校 教諭 斗高 克敏

この度は、熊本県中学校体育連盟功労賞を頂く栄誉を賜り感謝いたします。多くの生徒・保護者や地域の方々、諸先輩や同僚、体育関係の皆様のおかげであつてのことと心より感謝申し上げます。

私が体育の道に進んだのは、中学校の時、剣道部に所属していた私を、中体連陸上大会の練習に参加するよう声をかけてくださった榎木野菊夫先生のおかげだと感謝しております。先生の「日本一を目指せ」の言葉を目標に、高校・大学と駅伝部に所属し、駅伝の楽しさ、また苦しさを肌で感じることで、大学時代には何度か日本一を経験することが出来ました。

私の体育教師のスタートは熊本西高等学校での非常勤講師でした。そこで、中村昭男先生（元体育保健課長）と、また、体育教師2年目は、熊本工業高等学校で赤星秀年先生（元県高体連理事長）と、さらに、初任の宇土鶴城中学校では宮本紀夫先生に出会いました。ここで出会った3名の先生方は、大学の先輩でもあります。先生方から、体育の授業法や部活動の指導法について、時には厳しく、また時には優しく、たくさんのことを学ばせていただきました。この3校での経験が私の教職35年間の基礎となったと思います。

初任地である宇土鶴城中学校、また、再配で赴任した県立小国養護学校（現支援学校）に勤務していた頃は、現役の選手として九州一周駅伝等に出場しておりました。その頃は、生徒の陸上の指導より自分の練習のことが優先され、生徒達には「走ることは人生の生きがい」であるという指導をしていたと思います。その後、熊本市立三和中学校、蘇陽中学校に勤務していた頃は「走らせることは人生の生きがい」として、やらせる陸上競技だったように思います。自ら走る、自ら練習に取り組む姿勢が大事であるということが見え始めたのは、蘇陽中学校勤務5年目以降、また、阿蘇北中学校・高森中学校・清和中学校の時期からだと思います。特に清和中学校に勤務していた頃から「走ってもらうことは人生の生きがい」と考えるようになりました。「走らされる」のではなく、「自ら走る」心を中学生の時期にしっかり育てることは、その後の陸上競技に対する心の糧になると思います。

指導者側が心に余裕を持ち、中学生の時期に走る楽しさや、自ら練習に取り組むことの大切さを伝えていく、これが指導者の使命であるということを生徒から教えてもらいました。

このように陸上競技の指導が出来たのも、保護者をはじめ、素晴らしい生徒との出会いに恵まれたからだと思います。「ありがとう」の感謝の一言に尽きます。

最後になりましたが、熊本県中学校体育研究会・熊本県中学校体育連盟の益々の発展と諸先生方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、お礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。



## 中学校体育連盟功労賞を受賞して

天草市立五和中学校 教諭 松木 秀樹

この度、中学校体育連盟功労賞受賞というお話をいただいたとき、私でいいのだろうかとお大変恐縮いたしました。これまで出会った生徒、お世話になった先輩や同僚の先生方、そして保護者・地域の方々に感謝しながらお受けすることにいたしました。

昭和59年4月、熊本県立天草豊学校に新採として赴任しました。1年目は、小学部4年生3名の副担任、2年目からはその3名を引き継ぎ3年間担任をしました。明るく活発な男子2名、明るくおしとやかな女子1名の学級でとても楽しい4年間を過ごすとともに「子どもの目線に立って接していくことの大切さ」を子どもたちから教えてもらった4年間でした。

2校目からがいよいよ念願の体育教師としてのスタートになりましたが、その赴任校を聞いたときに愕然としました。苓北町立都呂々中学校は前年度、全国中学校ハンドボール大会で男子が優勝した学校で、私としては一番避けたい学校でした。当時の監督の矢住嘉孝先生とは以前から教職員ハンドボール大会でお世話になっており、天草豊学校時代も4年間一緒に大会に参加させていただきました。ただ、ハンドボールをしていたのは大会前の2週間程度で、ハンドボールに関しては全くの素人です。そんな私がここでやっていけるのだろうかとおとても不安でした。案の定1年目、女子は私がベンチに座っているだけで全国大会に駒を進めることができましたが、男子は全国、九州、県、郡市大会等の優勝旗7本を全て返すことになりました。ここで私が驚いたのは、地域や保護者、生徒からも一言の不満も出てこなかったことです。それどころか生徒は目標に向かって黙々と練習に取り組み、保護者も試合の応援や送迎等物心両面から協力をいただきました。私は生徒や保護者に申し訳ない気持ちで一杯でした。

ハンドボールの指導だけでなく中学校の教師としての仕事も初めてで、赴任当初から矢住嘉孝先生には、あらゆる面で指導を仰ぎました。週2回程度、約2年間ハンドボールの指導はもちろん授業や体育的行事、生徒指導等、時には夜遅くなることが何度もあり、矢住先生のご家族、特に奥様には大変ご迷惑をおかけしました。

都呂々中時代の7年間は、体育教師としてだけでなく中学校の教員としての基礎を築いた7年間でした。ハンドボールの指導だけでなく体育の授業も自分としては随分研究したつもりです。授業に生かすために他の先生方の授業も空き時間に見学させていただきましたし、学級経営、進路指導も先輩教師の指導を参考にさせていただきました。道徳も3年間文科省の研究指定校となり、夜遅くまで指導案を練ったことも今では良い思い出です。それらのことが体育の授業や部活動指導に役立ったと思います。「体育の授業を大切にしながら、自分がしなければいけないこと、できることを誠実に精一杯やる」ということを学んだ7年間でした。

その後、またもや矢住先生の後任として佐伊津中7年間、そして本渡東中5年間、五和西中5年間、統合して五和中5年間、同じ地域に長い間務められたことを幸せに思います。ただ、運動の二極化が進む現在「運動が苦手な生徒を体育(運動)好きにさせる」ことを第一に考えながら取り組んできましたが、どれだけできたのか一抹の不安を感じます。

教職生活も残りわずかですが、これまでに会った生徒たち、お世話になった中学校や高校の先生方、保護者や地域の方々などたくさんのお会いと支えに感謝しながら、私が中学校からの夢であった体育教師としての仕事を最後まで楽しみたいと思います。

最後になりましたが、県中体研、研中体連のますますの発展と会員の先生方のご活躍を祈念するとともに、長年にわたりご指導いただきました多くの先生方に感謝を申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございます。

## 4 (1) 授業研究について

担当 丸山 喜寛

### 1 はじめに

平成24年度に完全実施された学習指導要領保健体育科解説では、「保健と体育を関連させて指導すること、学習したことを実生活、実社会において生かすことを重視、学校段階の接続及び発達の段階に応じて指導内容を整理すること、明確に示すことで体系化を図ること」などが改善の基本方針に示されている。また、目標及び内容を「第1年及び第2学年」と「第3学年」に分けて示したことも大きな改善点である。そのような改訂の4年目である本年度は、これまで以上に学習内容を明確にした指導と評価の一体化を目指す取組を一層充実させていきたい。

### 2 具体的な取組

#### (1) 平成26年度までの取組

- ①平成27年2月27日：理事長会でデータを整理したUSBを担当から各都市理事長へ渡す。
- ②平成27年3月下旬：各都市理事長がUSBを保管し、必要に応じてデータを配布する

#### (2) 平成27年度の取組

- ①平成27年4月上旬：各都市理事長が新しい理事長にUSBを引き継ぐ。
- ②平成27年7月下旬：夏季研修会・理事長会でデータ分析を行う。

#### (3) 平成28年度の取り組み

- ①平成28年4月上旬：各都市理事長が新しい理事長にUSBを引き継ぐ。
- ②平成29年2月下旬：各都市からの情報収集・内容の精選、整理

#### (3) 分析結果

	領域名	ファイル数	内容分析 (数字はファイル数を表している)
01	体づくり運動	16	プレゼンデータ2、学習カード等14
02	器械運動	53	学習カード等53
03	陸上競技	92	ハードル走指導案9、長距離走指導案4、学習カード等79
04	水泳	21	学習カード等21
05	球技	179	サッカー指導案9、バスケットボール指導案7 ハンドボール指導案5、バドミントン指導案1 バレーボール指導案9、ソフトボール指導案5 学習カード等143
06	武道	811	剣道写真データ752、学習カード等47 柔道指導案9、剣道指導案3
07	ダンス	27	「クマモン体操エアロビ」の動画ファイル4 学習カード等23
08	体育理論	126	指導案1、プレゼンテーション5 学習カード・イラストデータ等120
09	保健	501	1年生学習内容プレゼンデータ21 2年生学習内容プレゼンデータ20 3年生学習内容プレゼンデータ・動画ファイル36 学習カード・イラストデータ・写真等424
10	年間計画	32	年間計画及び各領域の指導計画や評価規準表が盛り込まれている
11	指導案	181	領域ごとにフォルダを分けて、指導案やそれに関するファイルが入れられている
12	単元構造図	141	体づくり運動7、器械運動12、陸上競技20、水泳3 球技58、武道18、ダンス8体育理論7、保健8
13	オリエンテーション 約束事	20	保健体育の授業を行うにあたり、年度当初の約束等が盛り込まれている
14	体力向上	39	スキルウォームアップや昼休み等の体力向上に向けての取組の計画等が盛り込まれている
15	その他	50	学習カード、評価規準表、体育委員会の取組などのファイルが盛り込まれている

### 3 まとめ

各領域にフォルダを分けてまとめられているが、まだ整理されていない部分もある。領域によって偏りがあるため、今後も継続してデータ収集・分析にあたっていく。また、今後も新しく作成されたものをどのようにして盛り込んでいけるか、また、精選の方法はどのようにしていくかが今後の課題である。いずれにせよ、今回のデータ分析が、多くの保健体育教師の授業実践の一助になってほしいと願う。

## 4 (2) 部活動の研究

担当 板床 龍哉

### 平成29年度県中体連ブロック開催について

#### 1 はじめに

平成28年度は、熊本地震により多くの方が被災され尊い命が犠牲になったり、建物へ甚大な被害がでた。それは、部活動にも大きく影響を及ぼした。夏季中体連大会に向け練習が本格化してきた矢先の震災に、各地に散らばって避難した部員との連絡や、毎日の練習場所の確保等、苦勞された顧問の先生も多かったでしょう。県中体連会場にも被害があり、会場を変更して開催された競技もあった。その準備をされてきた関係者の先生方にとっては、急な計画の見直しを迫られる大変な年度のスタートになった。県中学校総合体育大会は来年度より郡市開催からブロック開催になる。本年度は、そのブロック開催について報告したい。

#### 2 県中体連ブロック開催について

##### (1) これまでの県中体連の経緯

昭和23年 12月1日熊本県中学校体育連盟発足  
 昭和25年 第1回ジュニアレクリエーション大会開催  
 昭和27年 九州中体連発足・加盟  
 昭和28年 全国中体連発足・加盟  
 昭和33年 ジュニアレクリエーション大会を熊本県中体連大会に改称  
 昭和43年 郡市大会予選の後6ブロック大会を経て県央大会  
 昭和47年 ブロック制中止、郡市代表制  
 昭和49年 第1回熊本県中学校総合体育大会の開催  
 平成29年 5ブロック制による県大会の開催予定

昭和43年頃は郡市大会予選の後、6つのブロック大会を経て県央大会に出場という記録が残っている。その後昭和47年からブロック制を中止し各郡市代表制となり、大会開催地は、順次持ち回り制になり本年度まで続いてきた。平成17年の第1回組織運営検討委員会で、郡市持ち回りでの大会開催は厳しくなってきたという意見が出され、平成18年からブロック開催が検討されるようになった。この10年間でも、ブロック開催案が白紙に戻ったり、競技別の固定開催案が出てきたりして、数年かけて検討された結果、来年度からのブロック開催になった。

##### (2) 5ブロック制による学校数・体育教師数について

番号	郡市名	H28現在	
		学校数	体育教師数
1	玉名荒尾(16)・山鹿(6)	22	36
2	菊池(12)・阿蘇(10)・上益城(8)	30	61
3	熊本市(53)	53	118
4	宇城(11)・天草(21)	32	47
5	八代(18)・球磨人吉(12)・芦北水俣(8)	38	57

##### (3) ブロック開催の考察

###### 《ブロック開催のメリット》

- ・複数郡市による開催で、予算面の負担軽減が見込まれる。
- ・人的負担が軽減させる。
- ・施設確保がしやすくなる。など

###### 《ブロック開催により心配させるデメリット》

- ・開催するローテーションが早くなる。
- ・開催地出場枠の問題が出てくるのではないか。
- ・総合開会式の参加種目が減らないか。など

上記のようにブロック開催をすることで幾つかのメリット、デメリットが考えられる。特にデメリットについてはその解消方法も検討されている。総合開会式については会場が広範囲になるため、参加することのできる種目が限られてくることが予想できる。出場枠については担当ブロックになった郡市での話し合いによって決定する方向である。

#### 3 おわりに

来年度より実施されるブロック開催のために、球磨人吉、芦北水俣の先生方は既に会議を重ねられている。デメリットを解消するためにいろいろな工夫をされ、大会を成功させるためにいろいろな準備をされている。第1回目のブロック開催をすることで、新たなデメリットが見つかるかもしれないし、メリットも見つかるはずである。来年度の大会での成果と課題をしっかりと検証し、大会を重ねる毎に参加する生徒にとって、それまで以上に競技に集中できる環境ができるよう努力していかなければならない。

菊池郡市中学校体育研究会研究主題

「楽しさと喜びを実感し、自主的に運動に取り組む生徒の育成」

～思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりを通して～

I 研究主題について

近年、子どもたちの体力の二極化や運動離れが指摘され、日常生活においても積極的に運動やスポーツを取り入れたり、生涯にわたって運動やスポーツに親しんだりすることの必要性が唱えられている。このような中、本研究会では保健体育学習を通して、運動の「楽しさと喜びを実感し、自主的に運動に取り組む生徒の育成」が重要だと捉えている。

また、21世紀は、「知識基盤社会」「グローバル化」の時代であると言われている。知識基盤社会では、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動を基盤として飛躍的に重要性を増す。さらにグローバル化が進む中で、他国と「競争」したり「共存」したりするためには、異なる文化や歴史に立脚する人々との違いを理解した上で、お互いの考えを伝え合い、競争したり共存したりすることが重要である。そのためには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて、自分自身で判断する力や、目的を達成するための表現力が求められる。つまり、「知識基盤社会」「グローバル化」する社会では、「思考力・判断力・表現力等」が必要になる。そこで、本研究会は、言語活動を効果的に進めていくことで、「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指した。

【資料1】は、菊池郡市の生徒の授業に対する意識調査結果である。生徒の多くは、体育の授業において「授業の楽しさ」や「技能習得による達成感」が経験できていないことが推測できる。そこで、学習指導過程の工夫・改善を行い、体力の向上及び基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることで、運動の「楽しさと喜び」を経験させたい。この経験は、生徒の学習意欲の高揚へとつながり、ひいては、言語活動の基盤として機能すると考える。

※資料1：意識調査について

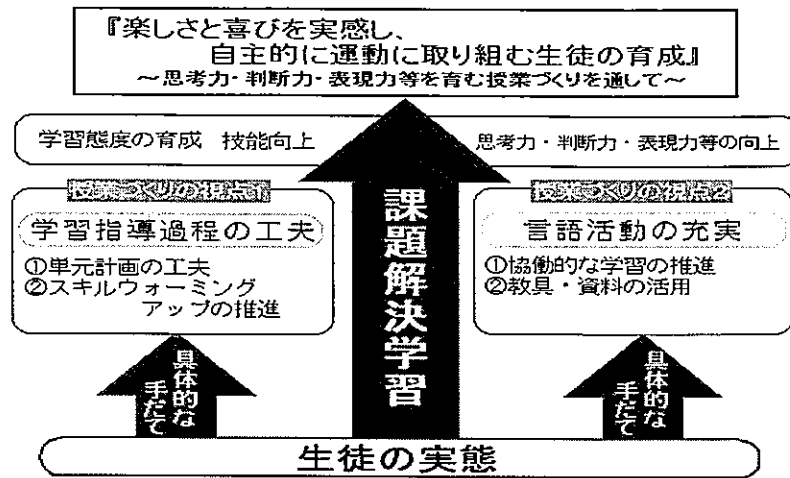
- ・平成26年7月菊池郡市全12校で実施
- ・数値は、「体育授業を観察評価する」高橋健夫編著で算出

		1年		2年	
		男子	女子	男子	女子
意欲・関心	1. 楽しく勉強	4	2	4	2
	2. 明るい雰囲気	5	4	4	3
	3. 丈夫な体	3	2	3	1
	4. 精一杯の運動	5	3	4	2
	5. 心理的充足	2	2	2	1
	情意目標	4	3	4	2
学び方	6. 工夫して勉強	4	4	4	3
	7. 他人を参考	3	2	3	2
	8. めあてを持つ	4	4	4	4
	9. 時間外練習	2	2	3	2
	10. 友人・先生の励まし	3	3	3	3
	認識目標	3	3	3	2
技能	11. 運動の有能感	4	2	4	2
	12. できる自信	3	2	3	1
	13. 自発的運動	4	2	3	2
	14. 授業前の気持ち	3	2	3	1
	15. いろいろな運動の上達	3	2	3	2
	運動目標	4	2	3	1
協力	16. 自分勝手	4	5	4	4
	17. 約束事を守る	3	4	3	3
	18. 先生の話聞く	4	4	3	3
	19. ルールを守る	3	4	3	2
	20. 勝つための手段	3	4	3	3
	社会的行動目標	4	4	3	3
	合計	4	3	3	2

【資料1 意識調査結果】

II 研究の構想

1 研究構想図



2 研究の視点

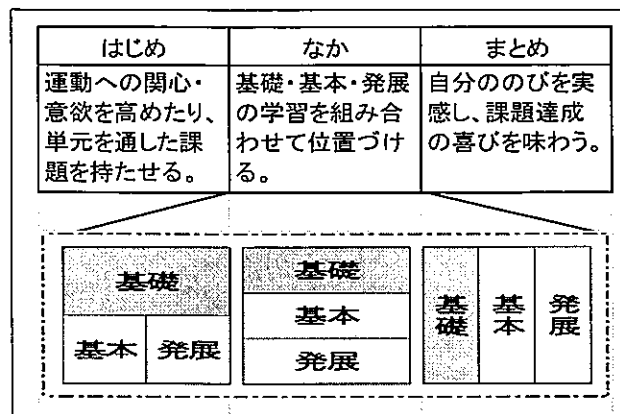
■授業づくりの視点1 学習指導過程の工夫

① 単元計画の工夫

A 「基礎・基本・発展」学習の推進

単元全体を「はじめ」「なか」「まとめ」の3つの学習過程とし、「なか」の過程において、生徒の学習経験や技能、関心や意欲などの実態に応じて、「基礎・基本・発展」の学習活動を組み替えて計画するようにした(資料2)。

1時間の授業展開は、「つかむ」「探る」「確かめる」「まとめる」の4つの過程で構成し、実態に応じて「探る」過程でドリル学習を、「確かめる」過程でタスクゲームやゲーム形式の活動を行い、自主的な課題解決学習が展開されるよう工夫した。



【資料2「基礎・基本・発展」の組み合わせ方】

B 学習活動の明確化

学習活動の一部を固定化し、活動内容を明確にすることで、生徒の活動量を確保した(資料3)。また、同じ活動であっても、毎時間のめあてを変えさせることで技能と知識との結び付きや思考の質の高まりが見られる学習活動となることを期待した。

		1st-STAGE				
		4	5	6	7	8
5	ゲーム 達成	左右	跳上げ	跳上げ	スペース	ドリル
10	学習活動2	コート	コート	コート	コート	コート
25	ドリル	ドリル	ドリル	ドリル	ドリル	ドリル
30	ゲーム	ゲーム	ゲーム	ゲーム	ゲーム	ゲーム
35	学習の進め方	学習の進め方	学習の進め方	学習の進め方	学習の進め方	学習の進め方
40						
45	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ

【資料3「学習活動」と「学習言葉」の一覧表】

② スキルウォーミングアップの推進

C スキルウォーミングアップは、学習

過程の「つかむ」において、単元の特性に応じて関連して高める体力要素を考慮し作成した。音楽を用いてリズムカルに動くことで、より運動強度を上げ、傷害の防止や体力・技能の向上をねらった。

■授業づくりの視点2 言語活動の充実

① 協働的な学習の推進

D 課題解決学習の工夫

一連の課題解決学習の中で、生徒の思考を促したり、必要となる情報を提供したり、教師側の発問や声かけを工夫して、生徒の自主的・協働的な学習の支援を目指した。思考をより活性化させるために、視覚的に取り入れられる情報の提示やグルーピングに配慮した。

E 学習言葉の活用

運動経験の積み重ねが不十分な状況では、生徒の課題意識は希薄となる場合が多く、対話活動や記述活動、作戦盤などの必要性は低くなり、形式的なものになりやすい。そこで大切になるのは教師自身の技術に対する理解である。運動観察を生徒に要求し教え合いを促進するには「何を」「どこを」観るのか分からなければ教え合いは低調になる。そこで「具体的な技能のポイントや戦術のキーワードを端的に想起できる教師・生徒との一般化された情報」として学習言葉を位置づけ、生徒同士で教え合う際の的確かつ効率よく教え合うことができるように目指した（資料4）。

		様子					終り	
		1	2	3	4	5	6	7
状況	技能のポイントを詳しくなす。	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る
状況	技能のポイントを蹴る。	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る	蹴る

【資料4 「学習言葉」の精選と活用】

F 評価活動の工夫

アンケートの結果等からも、「できる自信」の項目で低い数値が見られる現状にある。評価をする際には、理由付けをさせることを重視し、学習態度の向上や知識の定着と思考の高まりにもつながるようにした。また、学習言葉を活用することで、学習前の見方や考え方が広がったり、思考が深まったりしたことを確認できるようにした。

② 教具・資料の活用

G ICTを活用した学習

生徒の中には、自分がどのような動きをしているのか他者の言葉からはイメージ化でき



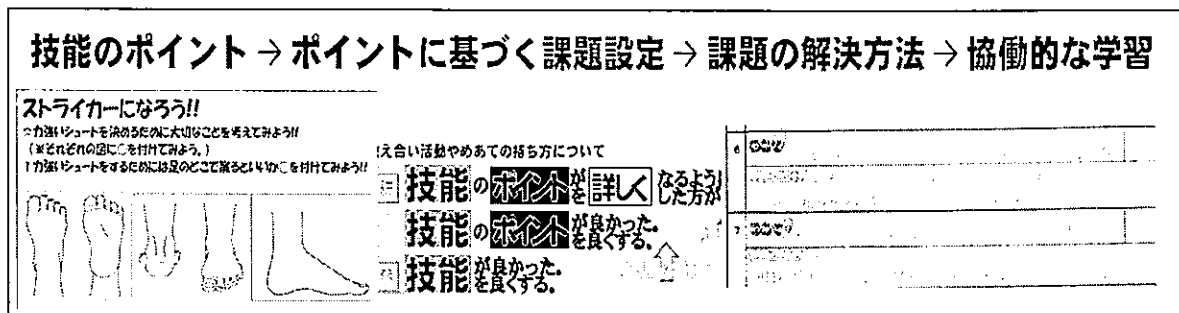
ない生徒もいる。特に、体育を苦手としている生徒にその傾向は強い。ICT機器の活用によって、自らの動作をスロー再生や停止させながら見ることでイメージ化させたり、その動画で得た自分の動作イメージを言語化させた。

#### H 課題設定と達成状況の把握

課題とその達成状況を把握しやすいように、教具や資料を工夫した。道具や場所（空間）にテープやゴム紐などで目印をして、達成状況が分かるようにした。

#### I 思考の可視化

協働的な学習を推進していく上で、言語等による意思疎通、いわゆるコミュニケーションは必要不可欠である。そのためにも個人内、あるいは相互で言語を動作化したり、動作を言語化したりする活動は大変重要となる。個人の思考を深めたり、グループ内で伝えたり共有したりするためには、思考を可視化する必要がある。その手段として、個人の思考・判断を記述できる個人カードやグループ内で学習言葉を共有できる学習カードを作成した（資料5）。

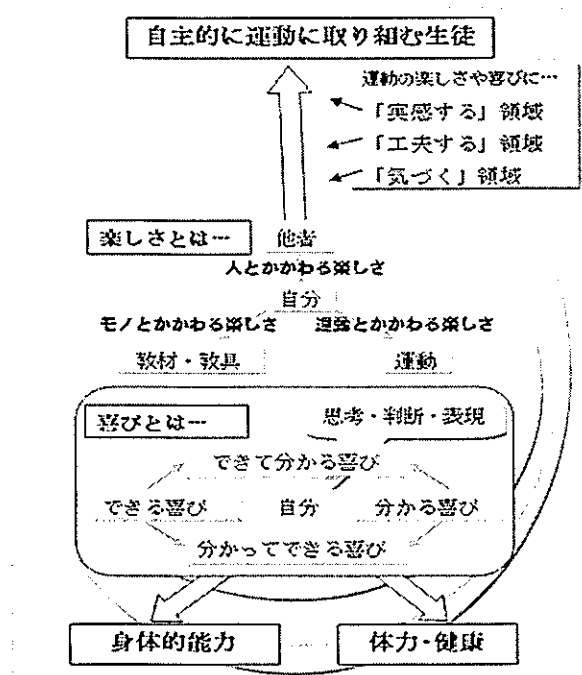


【資料5 学習言葉共有のカード（左）と学習言葉活用の資料（中）及び個人カード（右）】

### 3 研究のすすめ方

菊池郡市では、楽しさを①人とかかわる楽しさ②モノとかかわる楽しさ③運動とかかわるたのしさと設定し、喜びを①できる喜び②分かる喜び③できて分かる喜び④分かってできる喜びと設定した（資料6）。

また、自主的に運動に取り組む態度を「やるべきこと」が明確になっていて、その行動を人に言われる前に率先して自ら運動に取り組む姿だと設定し、運動の楽しさや喜びに「気づく」「実感する」ことが自主的に運動に取り組む生徒の育成の核になると捉え、生徒の変容を見取りながら研究をすすめることとした。



【資料6 楽しさと喜びのとらえ方】

### Ⅲ 研究の実際

#### 〈球技部会〉

#### 1 授業づくりの視点1に対する取組

##### (1) 単元計画の工夫

###### ① 「基礎・基本・発展」学習の推進・学習活動の明確化について

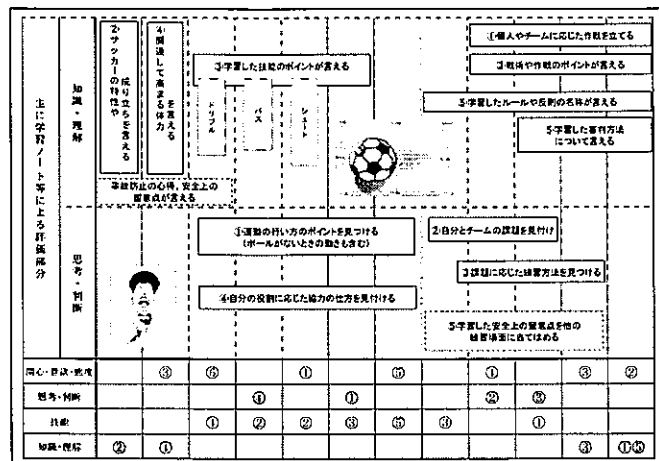
学習単元の「なか」では、小学校での学習経験を考慮し、「スキルウォーミングアップ」→「基本技能習得学習（ドリル学習）」→「2対2+1フリーマン（タスクゲーム）」→「4対4+1フリーマン（ゲーム）」と1単位時間の授業展開と学習活動を固定化した。そのことで、指導者からの活動に対する説明時間を減らし、生徒の活動時間をできるだけ増やすとともに授業展開に対する見通しが持ちやすいように工夫した。

さらに、生徒や指導者にとって共通認識された授業展開と学習活動の中に、精選された学習言葉を用いることで技能や戦術のより確実な習得と効果的な活用をねらった。

###### ② 学習活動の明確化について

学習内容を明確にするために単元構造図を作成した。球技における構造図は、「ゴール型、ネット型、ベースボール型」の技能、知識に関する指導

内容は違うものの態度、思考・判断の指導内容は同じであるため、系統性を考慮しながら学習内容を吟味した。その結果、指導者側が生徒に示す学習内容（4観点）ばかりでなく、どの時間で何を教えるのかが明確となり、さらに、指導した内容をいつ、どのように評価していくのか授業全体のデザインができ上がっていった（資料7）。



【資料7 単元学習・評価計画（生徒配布用）】

##### (2) スキルウォーミングアップの推進

スキルウォーミングアップの工夫について前半の柔軟性や筋力、敏捷性などの基礎体力の向上を目指した運動に引き続き、後半ではドリブルやパスなどの「ボール操作」、走る・



【資料8 スキルウォーミングアップ】

止まるなどを繰り返すことによる「巧緻性」、「敏捷性」、「スピード」、「全身持久力」をバランス良く発揮させることをねらってスキルウォーミングアップのメニューを仕組んだ。その際、前時までの学習言葉を用いて、生徒の思考を停止させないような働きかけに努めた（資料8）。さらに、心拍数の計測により学習者自身が自分の身体の調子や変化と向き合い、自主的な体力向上への取組となるよう配慮した。

## 2 授業づくりの視点2に対する取組

### (1) 協働的な学習の推進について

#### ① 課題解決学習の工夫

自主的な学習を支援する上で、そのスタートとなる課題把握に対する支援は重要であると位置づけた。前時の学習より導き出された本時の学習のめあてに応じて自分に必要な技能は何かを各々で確認した。さらに、その技能習得のポイント（課題解決のポイント）となるものはどこかを教師の発問により各チーム内で学習者自身が明確にし、より自主性が持てるよう支援した。その際、チーム内の人間関係がうまくいくようにサッカーの経験の有無に加えてQUテストの分析結果などを踏まえたチーム編成とし、苦手意識を持つ生徒も楽しく学習に参加できるような配慮をした。

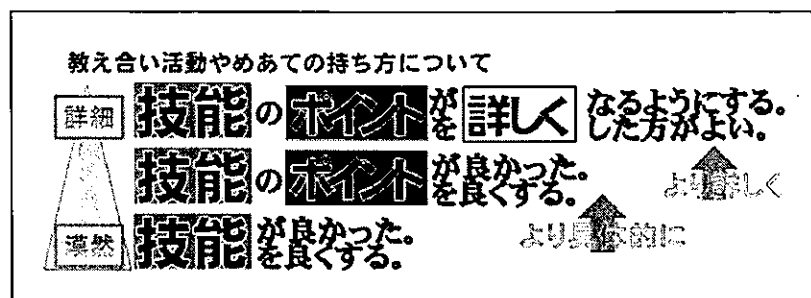


【資料9 課題習得ポイント確認の場面】

また、課題に取り組む活動中には「課題解決のための動きを見合う視点(課題解決の情報)」、「ポイントや動きの高まりがみられた生徒の紹介」や「良い学び方の紹介(課題達成の情報)」を提示し、主体的な課題解決学習展開されるよう工夫した（資料9）。

#### ② 学習言葉の活用

必要な技能を習得する際、各個人内あるいは相互で動作イメージの言語化や言語の動作化は避け通ることができない能力となる。その際、学習言葉を用いることによって学習課題のポイントをより焦点化し、その後の課題解決のための協働的な学習がより効果的・効率的にできるよう配慮した。さらに、自己の学習課題を持ったり、教え合い活動をしったりする際に学習言葉の活用参考となるような資料を提示し、教え合い活動が活性化するようにね



【資料10 学習言葉を活用する際の参考資料】

らった（資料 10）。

③ 評価活動の工夫

評価活動については、各自の課題解決学習に対する自己評価とともに生徒同士の相互評価、教師による評価の3つを取り入れた。特に学習のまとめでの相互評価では、自分が選んだ「今日のMVP」を各自発表させ、技能習得や学習態度、学習意欲など多岐にわたって評価し合い、今後の学習意欲向上へとつながるよう配慮した（資料 11）。



【資料 11 MVP発表の様子】

(2) 教具・資料の活用・工夫について

① 思考の可視化について

学習言葉の獲得・共有の際、技能のポイントや戦術のキーワードに気づかせるような学習シートをグループに準備した。生徒はその学習シートをもとに、なぜそのポイントやキーワードが大切なのか出し合い、話し合いの結果をシートに記入していった。また、個人内の思考の始まりと結果を記述できるような学習カードを準備し、記述の際には学習言葉を用いて具体的に表記できるよう支援した。

〈武道部会〉

1 授業づくりの視点1に対する取組

(1) 単元計画の工夫

① 学習活動の明確化

単元計画は、下記（資料 12）のように作成し、学習活動を明確にした。授業後半には毎時間簡易的な試合を取り入れ、試合を行うということを固定化することで、生徒に試合ができるという楽しみを持たせ、学習への意欲向上をねらった。また、事前の実態調査に基づき生徒が期待しているような応じ技の練習を多く取り入れた。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
共通メニュー(準備運動、補強運動、今日の学習内容の確認)												
オリエンテーション	基本動作	基本技術の練習 (一本打ちの技)(連続技) (面・小手・胴)(面-面、小手-面)				応じ技				チーム対抗 リーグ戦		
	ゲーム (すり足鬼ごっこ)											
共通メニュー(整理運動、振り返り、次回課題等)												

【資料 12 単元計画】

## (2) スキルウォーミングアップの推進

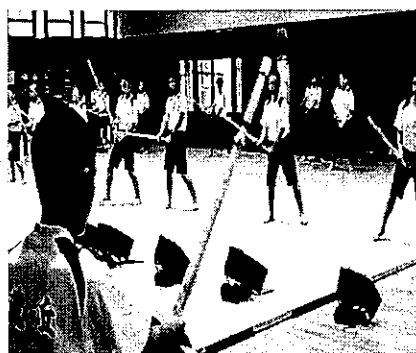
前半は、すべての単元で共通した柔軟運動や筋力トレーニングを行い、後半の部分を剣道において関連して高まる体力要素（瞬発力、敏捷性、巧緻性）を考慮し、足さばきを中心としたスキルウォーミングアップを組み立てた（資料 13）。足を床から離さないことを条件に、その中で速く移動することを意識させ、剣道特有の動きである、すり足を身につけさせた。剣道では、技を出す際や、間合いの攻防において、足さばきがとても重要になってくる。すり足を身につけることで、より実践的な動きを身につけることにつながった。

### 【スキルウォーミングアップの一例】

すり足（前後左右 3 歩ずつ動く×3 回）

※指導のポイント

- ・リズムよく動く。（太鼓や音楽を用いる。）
- ・最後は必ずもとの位置に戻る。  
（動きの幅が前後左右一定にする。）



【資料 13 スキルウォーミングアップの様子】

## 2 授業づくりの視点 2 に対する取組

### (1) 協働的な学習の推進

#### ① 課題解決学習の工夫について

ほとんどの生徒にとって経験がなく、自分の課題を把握することが難しいという実態がある。そこで、課題をより分かりやすくつかませる工夫を行った。具体的には、生徒との会話や生徒同士の会話、様子等を観察し、生徒がどの部分に難しいと感じているのか、どこが分かりにくいと感じているのか、生徒との対話を通して、課題を設定させるようにした（資料 14）。

グルーピングの組み方を考慮し、課題解決に向けて、話し合いがスムーズに行えるとともに、苦手意識の強い生徒をサポートできるようにした（資料 15）。

#### ② 学習言葉の活用

課題解決に向けた技能習得のポイントを



【資料 14 つまづきに気づくための働きかけ】



【資料 15 お互いに協力して防具をつける】

整理して焦点化し、生徒にとって分かりやすい学習言葉として位置づけた（資料 16）。教えあい活動を行う際は、学習言葉をお互いに観るポイントとして意識させることで、漠然としたアドバイスではなく、具体的なアドバイスで生徒同士がより活発に教え合いができるようになることをねらった（資料 17）。



【資料 16 学習言葉の提示】



【資料 17 学習言葉を使った教え合い活動】

## (2) 教具・資料の活用工夫について

### ① ICT機器の活用

基本技の動作にあたる「木刀による基本技稽古法」のDVDを作成し、基本打ちの動作を映像で見せることで、動きのイメージをつかみやすくすることをねらった（資料 18）。

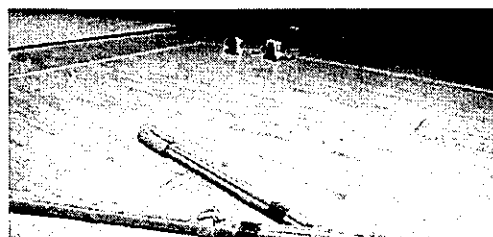
また、タブレットを使用し、お互いの動きを確認したり、ポイントとなる動きの部分で停止したり、スロー再生することで、技能のポイントの理解、達成状況の把握、教えあい活動の活性化につなげた。

【資料 18 基本技稽古法のDVD】



### ② 課題設定と達成状況の把握

課題設定、達成状況を把握しやすくするために教具、掲示物の工夫を行った。剣道において、間合いの感覚は、とても重要であるが、どの間合いで打突を行えばいいのかを理解することは難しい。理解が難しいということは、達成状況の把握も困難になってくる。間合いの感覚を習得するために、使用する竹刀にはマークを付け、打突ができる間合いをマークとマークがぶつかり合う所とした（資料 19）。



【資料 19 マークをつけた竹刀】

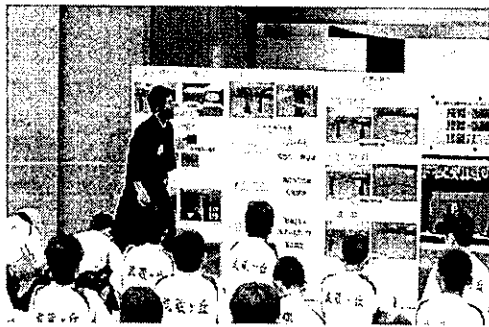


【資料 20 紐を短くした面】

また、剣道の授業を行う上で、最も時間を要することは、剣道具の装着技術を身につけさせることである。経験のない者にとって剣道具を正しく装着することが難しい。正しく装着する技術を身につけることは、安全面からしても大変重要な事である。そこで、正しい装着の技術を身につけるとい課題を早く達成できるようにするために、通常のものより面紐の長さを短くし、印を付けることで、正しく装着できているか確認しやすくした（資料 20）。

③ 思考の可視化について

生徒の思考を促すために、精選した学習言葉を全体に掲示したりグループ別に資料を配布したりして共有した。思考を言語化し、学習カードに記入ができるように、授業の最後の振り返りを重視し、振り返りの中では、本時の授業でうまくいったこと、うまくいかなかったことをそれぞれ出し合い、その理由を学習言葉の視点から考えるように促した（資料 21）。出された意見は学習カードへ記入するようにし、生徒の思考の過程や変容が可視化できるようにした。



【資料 21 授業の振り返り】



学習カード 氏名( )

今日の学習のめあて

- △ 結構、夢のない授業だった気がする。一時間目はゲーム、技術・技術面がgood
- △ ちゃんと行ってる。夢のない。一時間の授業はいいが、そのために何を覚えるの？
- 聞いてもところどころ分らない。一時間やることも夢のない授業の結果がある
- 夢のない授業で授業に集中するのは行かない。

1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
2	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
3	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
4	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
5	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

今日の学習を振り返って

項目	自分の良さ	友達の良さ	先生	自分	友達の良さ	先生	自分	友達の良さ	先生	自分
①	みんな上手に練習ができましたか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
②	目標の達成ができましたか (足さば、基本打つ)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
③	授業の中で、打つ機会あることありましたか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
④	うまくできずに考えて練習する機会ありましたか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
⑤	友達と話す機会ありましたか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

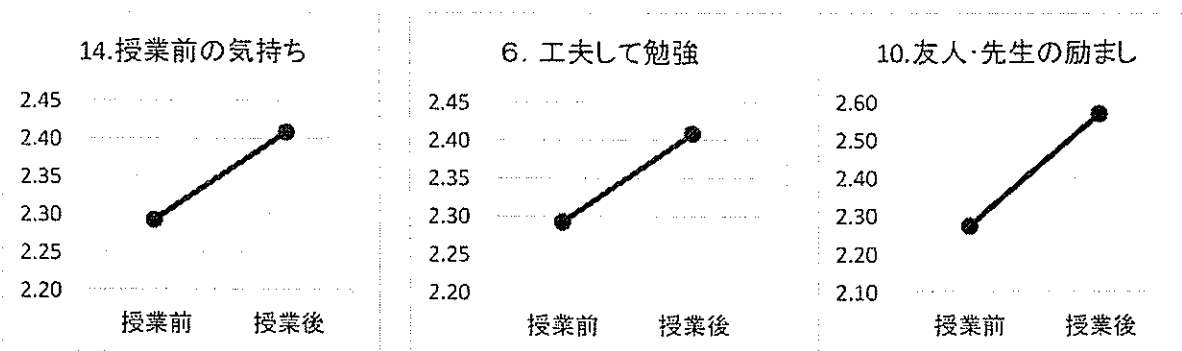
#### IV 研究の成果と課題

研究主題にせまるために授業実践を通して「楽しさ」や「喜び」が実感できたか、「思考力・判断力・表現力等」の高まりがみられたか、そしてそれらは生徒の主体性につながったのかを分析した結果、以下のような成果と課題が明らかとなった。

##### 〈球技部会〉

##### 1 アンケート結果から

(1) 本時の学習を振り返り、うまくいかなかった原因を考えさせた上で、次時の学習のめあてや課題として前向きに捉えさせるような教師の支援が、アンケート項目「14. 授業前の気持ち」や「6. 工夫して勉強」の向上につながったと思われる(資料 22)。また、単元の後半以降、個人学習カードには「教えてもらった」「励ましてもらった」(10. 友人・先生の励まし) ことで嬉しさを感じている記述が多くなっており、教師が「かかわる楽しさ」を実感している生徒の感想を取り上げて紹介したり、賞賛したりすることによって、生徒相互のかかわり方をポジティブに方向付けることにつながったと考えられる。これらのことから教師の支援が課題解決学習を進める際、「かかわる楽しさ」を実感させるのに有効であったといえる。



【資料 22 球技実施後のアンケート調査結果】

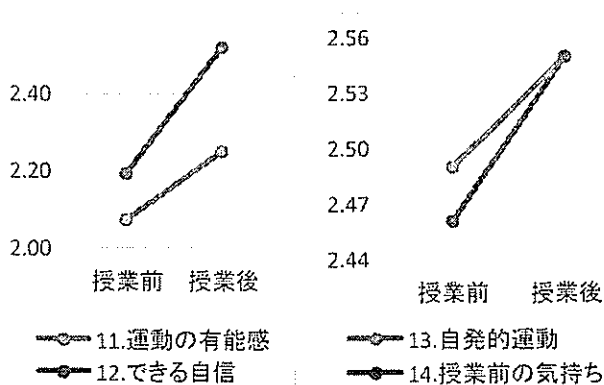
(2) 課題意識を明確にさせたり、運動を観る視点を明らかにさせたりする学習言葉や資料の工夫により生徒が捉える運動のイメージ化がしやすくなり、「分かる喜び」「できて分かる喜び」を実感させることにつながることができた。かかわることの楽しさや大切さを実感させるためには、「わかる」「できる」喜びを味わわせる必要がある、ということが明らかになった。

##### 2 「楽しさ」や「喜び」の実感について

(1) アンケートの「11. 運動の有能感」「12. できる自信」「13. 自発的運動」「14. 授業前の気持ち」の運動目標 4 項目の球技学習前(9月)と学習後(12月)の比較において、



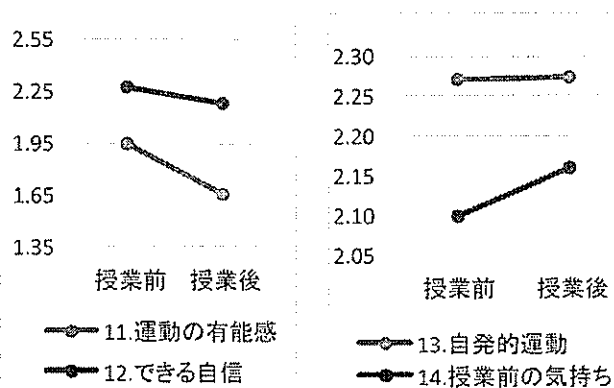
明らかな数値上昇が見られた。「運動の有能感」や「できる自信」がある場合、自発性や授業前の気持ちにポジティブな結果が得られたことが分かった（資料 23）。反対に、「運動の有能感」「できる自信」がない場合には、自ら運動をしようとする意欲や授業への意欲が高まっていかないという結果（資料



【資料 23 双方で向上が見られた学校の結果】

24) が得られ、双方には関連があると見られる。

(2) 授業で学習したことを受け、授業外でも活動していきたいと考える生徒が出てきた（資料 25）ことは、保健体育科の具体的目標のひとつである「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成」において、大きな成果ではないかと考える。



【資料 24 向上が見られなかった学校の結果】

私は試合をいっけからたいては練習より楽しいから、練習は、とんどは練習という  
ことでも最後の練習は、Dのゴール練習を、試合でトラップすることができ、  
もっと実感があることができた。くに、各P活でやると、練習は、まだが、体育科の  
たよりだが、運動が、この楽しさが、各P活と、このと、より以上に、実感が、家で  
やると、いっけから、たいては、練習より、楽しいから、練習は、とんどは練習という  
ことでも、最後の練習は、Dのゴール練習を、試合でトラップすることができ、  
もっと実感があることができた。くに、各P活でやると、練習は、まだが、体育科の  
たよりだが、運動が、この楽しさが、各P活と、このと、より以上に、実感が、家で

【資料 25 3年生女子生徒の単元終了後の感想（球技「サッカー」の実践）】

### 3 思考力・判断力・表現力等の変容

(1) 課題解決学習を中心とした学習を進める中で、学習言葉を用いた生徒同士のかかわりや個人学習カードへの表記が具体的になっていった。また、自己の課題解決学習の振り返り際には、原因追究や技能に対する分析を深めるような記述が増えていった。さらに、学習のまとめでの相互評価では、お互いの良さを学習言葉を用いて賞賛したり、仲間のアドバイスの良さについて言及したり、学び方の質に対する価値を再確認するような言語活動

も展開された。このことから、学習言葉を中心に思考力・判断力・表現力等が高められたことが分かる。

- (2) 単元のまとめでは、勝ったか負けたかという結果だけでなく、チームの仲間と運動することに楽しさを見いだしている記述が多く見られた。特に、運動を苦手としていた生徒にも同様の記述が見られる(資料26)。これらのことから運動に苦手意識を持つ生徒も単元を通して、「運動の楽しさや喜び」を実感していることが分かる。

最初は、バレーボールのルールやレシーブの打ち方などが  
わからなかったけど、チームでどうしたらもっとうまく出来るか  
を考えているうちに、チームの絆が深まってきたし、  
運動は苦手だけど、バレーボールから楽しんでできました。  
バレーは楽しく運動できるので、またまかいかあってら  
しいです。バレー以外にも楽しいスポーツがないか  
探してみたいです。

【資料26 2年生女子生徒の単元終了後の感想(球技「バレーボール」の実践)】

#### 4 研究の課題

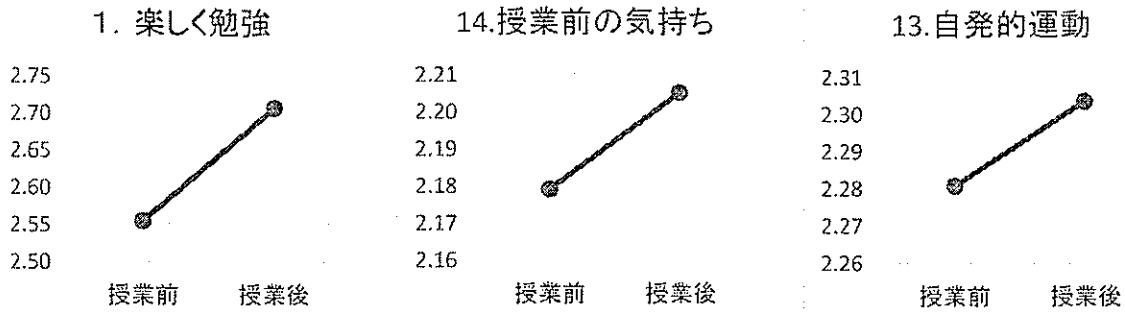
- (1) 生徒相互のかかわりが運動の楽しさや喜びを実感させる重要な要因の一つとなることが明らかとなったが、課題として、生徒相互の教え合いが深まるように学習言葉を精選していく過程で、動きのどの局面を切り取れば生徒が理解しやすく、全体の動きにつながるのかについても一度、整理する必要がある。そのためにも教師側の技能構造についての深い理解が大切となってくる。菊池郡市全体で引き続き研究を進めていきたい。
- (2) 他単元においても、運動の特性によって「学習言葉」の内容や伝達の方法、タイミングに違いがあり、学習者に技能のポイントや戦術のキーワードなどを意識化、焦点化させる際、個人種目と集団種目では違いがあることが明らかになった。しかしながら、表現自体を苦手としている生徒は、思考の可視化が困難な場合があり、授業での生徒の学びを適切に看取る方策を今後検討していく必要がある。また、個々の課題を把握し、個別に関わる細やかな指導ができるよう菊池郡市全体で追求していきたい。

#### 〈武道部会〉

##### 1 アンケート結果から

「1. 楽しく学習」「14. 授業前の気持ち」の結果を比較すると、武道の授業前と授業後で学習を楽しみ感じる生徒が増加したことは明らかである。また、楽しさを感じることで、授業前の気持ちがポジティブに変化している。

「13. 自発的運動」の結果も上昇が見られ、楽しさを感じたことで、気持ちに変化が生まれ、自主的に運動に親しむ生徒の育成につながったと考えられる(資料27)。



【資料 27 武道実施後のアンケート調査結果】

2 「楽しさ」や「喜び」の実感について

単元の終わりの振り返りカードでは、「楽しい学習ができたこと」「機会があったらまたやってみたい」との感想が多く書かれていた。楽しいと感じた理由として、「打突が決まった時の感触が気持ちよく、印象に残っているから」「みんなで協力して練習ができたから」「剣道具を初めて付けてみて嬉しかったから」などが挙げられていた。また、学習を通して難しさを感じながらも、そこで新しい発見をし、そこに楽しさを感じたことも挙げられていた。(写真13)「人とかかわる楽しさ」「運動とかかわる楽しさ」「モノとかかわる楽しさ」をそれぞれ感じたことが分かる。楽しさを感じることでできた理由としては、単元計画の工夫を行い、生徒の期待する活動を取り入れたことや、課題の提示の仕方、学習言葉を用いた教え合い活動が有効であったといえる。「またやってみたい」という感想が出たということは、保健体育科の目標「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成」に近づいたともいえる。

1 今回の学習での新しい発見や自分自身の変化(良かったこと何れか)について記入しましょう。  
 (得意の笑いや見方、やり方または、姿の成長、気持ちの成長などでも良い。ただし、以前と比べるなど具体的な変化や発見を記入して下さい)

今までやっていたスポーツは、ゴルフやスキーなどで喜びを素直に、負けてくやし泣き、勝利ばかりやってきましたけど、今日の剣道は礼儀を重んじて、相手に勝っても喜びをあまり表さず、相手を尊重するスポーツだったのと、とても新鮮でした。以前は「剣道」というイメージは面を打たれ、自分が勝つて追いつかぬスポーツというイメージで、実際やってみて足さばりや物打ちが打たれぬのはイメージと全然違うスポーツなんだと初めて知りました。自分も実際に(一回試合にぶつくと想像以上にきつくて、相手の動きを見る余裕があまりありませんでした。でも自分が実際にやると後に友達と試合を見るとすくなくおもしろくてお互いのかけひきが前よりかわってきたのでうれしかったです。

### 3 思考力・判断力・表現力等の変容

学習カードを見ると、学習言葉の投げかける前と後では、書く内容がより具体的になるという変化が見られた。

また、教え合い活動においても、観るポイントを焦点化したことで、技能習得のための効果的な言葉が行き交うようになっていった。また、ポイントが理解しやすくなったため、仲間の良さにも気づけるようになり、仲間に対する拍手や賞賛の言葉かけも増えた。

学習カード 氏名( )

今日の学習のめあて × 目づ・強めない・頑張る・成功させる 一練習回がダメ・技師・技師面がgood  
 △ きちんと打突する・ミスしない 一練習の結果はOKだが、そのために何を意識する？  
 ○ 正しいところを打突する 一意識することにより、技師の経験の結晶がある  
 ◎ 足さばきを用いて相手に強をつけて打突する。

①	②	③	④	⑤	⑥
① 剣道の威り立ち、特性、伝統的考えを整理する	② 剣道における基本的動作を身に付けよう	③ 基本動作を身に付ける方法を考える	④ 基本打ちを身に付けよう	⑤ 面をとらえられようにする	⑥ 打突の機会をとらえる
前には足さばきを用いて、あまり早く打ちかけないで、後ろの足さばきと足さばきを同時に、進めた。後ろの足さばきで打たれた。	相手の足さばきと身に付けたい動作を、正面に打ち出す時は、足さばきと足さばきというところが良かった。	相手の足さばきと身に付けたい動作を、正面に打ち出す時は、足さばきと足さばきというところが良かった。	相手の足さばきと身に付けたい動作を、正面に打ち出す時は、足さばきと足さばきというところが良かった。	相手の足さばきと身に付けたい動作を、正面に打ち出す時は、足さばきと足さばきというところが良かった。	相手の足さばきと身に付けたい動作を、正面に打ち出す時は、足さばきと足さばきというところが良かった。

### 4 研究の課題

- (1) 複雑な動作が多いため、技能習得のためにはどの部分の動作を重要視するのか検討していく必要がある。また、それを踏まえて学習言葉を再度精選し、技能の習得と思考の言語化を苦手とする生徒に対しての手立てにつなげていく必要がある。
- (2) 特に運動を苦手としている生徒は、剣道に対して「痛い」というイメージを持っていることが多い。打突を受ける際に多少の痛みを感じるため、恐怖心を強くさせてしまうこともある。恐怖心を和らげるために、活動内容の検討や、言葉かけ、教具の工夫が必要である。
- (3) 試合の際に個人対個人で競うという特性から、苦手な生徒にとっては、特に試合に対して消極的になってしまう場面が見られた。ルール等を検討することで、試合をより楽しいと感じられるような工夫が必要である。
- (4) 剣道具の装着に時間がかかってしまい、活動時間が他の単元と比べ制限されてしまうため、使用する教具の工夫をしていくことが必要である。

## 第2学年2・4組保健体育科学習指導案

日 時：平成28年11月25日（金）

場 所：旭志中学校グラウンド

指導者：菊陽町立菊陽中学校 教諭 小野 寿大

### 1 単元名 球技：ゴール型（サッカー）

### 2 単元について

#### (1) 単元観

##### ①一般的特性

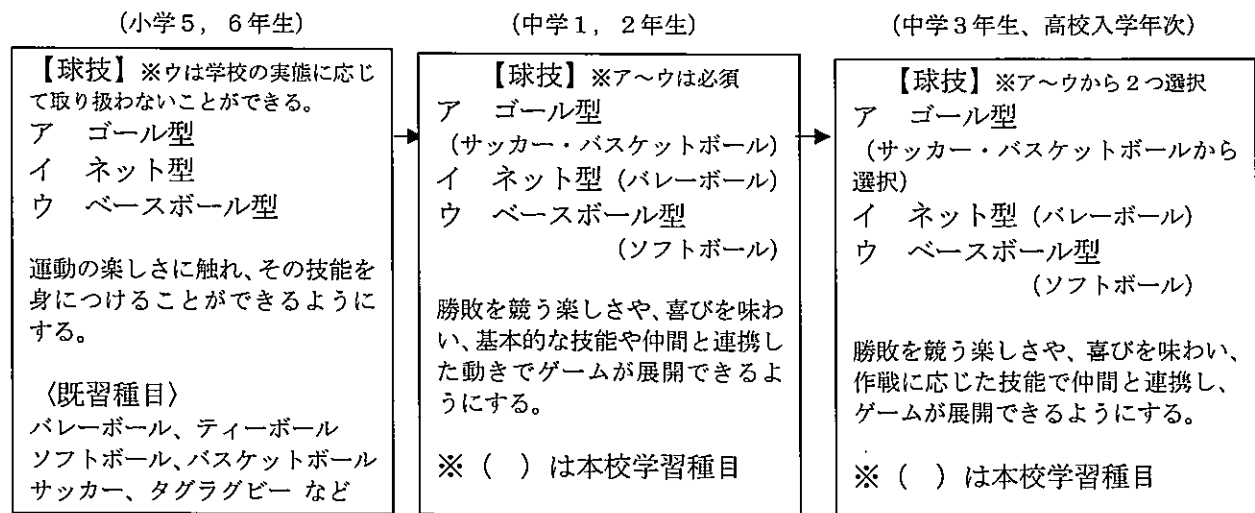
球技は、ゴール型・ネット型・ベースボール型から構成され、個人やチームの能力に応じて作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

サッカーは、手や腕以外の身体を使ってドリブルやパスなどのボール操作から、シュートを放ち、一定の時間内に相手チームより多くの得点を競い合うゴール型の運動である。さらに、比較的ルールが少なく、プレーの自由度が大きい。コートも広く、絶えず動き続けることが必要となり、その中で、ストップ、ダッシュを繰り返すため、全身持久力や瞬発力の向上にも適している。また、常に周囲を見渡しながらかプレーしなければならないため、状況判断能力の向上にも適している。サッカーは得点の入りにくい運動ではあるが、それだけに得点の入った時の喜びは大きい。そのため、作戦を立て、ゲームを行いながらゴールを目指して、仲間と協力する態度を身につけたり、作戦が成功し、得点を重ね、勝利に結びつけたりして達成感を味わうのに適した種目である。

##### ②生徒からみた特性

遊びの中でも経験することが多く、大まかなルールをすでに把握しており、比較的取り組みやすい。また、JリーグやW杯などメディアで取り上げられることが多いため、興味・関心を持つ生徒も多い。ただ、主に足を使ってコントロールすることから、苦手と感じている生徒や集団対集団のために、自分の立ち位置や、どのように動けばよいか分からない生徒もいる。

#### (2) 系統観



#### (3) 生徒の実態（2組16名、4組16名、計32名）

本学級の生徒は、サッカー部員が8名、サッカークラブチーム所属が3名である。サッカー経験者以外にも部活動入部生徒が数多くおり、全体的に運動能力は高い。部活動に入っていない生徒も運動には意欲的であり、活発に活動することができる。

本単元に関する事前アンケートの結果からは、サッカーに関する関心はかなり高く、その技術的

な特性や勝敗を競い合うところに十分な楽しみや意欲を感じていることがわかる。一方、技能向上に対する関心・意欲は大変高く、楽しいと感じている生徒が非常に多いが、教え合いの場面やみんなで作戦を考えたり、審判法を学んだりする場面は、あまり楽しさを感じられないようである。全体的に、説明や話し合いよりもボールを触って活動する場面が好きであることがわかる。体力を含め、パスやドリブル、ディフェンスなどの個人的技能を高めたいと思っている生徒が多いが、中には、アドバイスや指示、仲間とのコミュニケーションなど、自己の苦手なことの弱点補強への期待を持っている生徒も少なくない。

学習活動については、ややもすると単にみんなでサッカーを楽しんでいるだけの雰囲気になってしまい、本時のねらいや作戦、教え合いや技術の追求の意識に欠ける場面が見られることがある。

#### 〈サッカーに関するアンケート結果〉

Q 1 サッカーは好きですか？	とても好き（14人） 好き（11人） どちらともいえない（7人） 嫌い（0人） とても嫌い（0人）
Q 2 サッカーのどんな時に楽しいと思いますか？（複数回答）	できなかった技やプレーができるようになった時（18人） パスをつないだり、アシストしたりしてチームに貢献できた時（22人） シュートを決めた時（20人）、作戦どおりにプレーできた時（15人） 「教え合い学習」でアドバイスしたり、教えてもらったりした時（6人） 仲間と力を合わせたり声を出し合ったりしてプレーできた時（11人） ゲームに勝つための作戦を考える時（8人）、ゲームに勝った時（27人） ルールや審判を学んだ時（2人）
Q 3 サッカーの授業でどのような力を高めたいですか？（複数回答）	シュート技能（23人）、ドリブル技能（17人）、パス技能（22人） ヘディングやコントロールの技能（23人）、ディフェンスの技能（19人） リーダー性（6人）、的確なアドバイスや指示ができる力（8人） 効果的な作戦や練習方法を考えることができる力（9人）、体力（26人） 仲間とうまくコミュニケーションを図ることができる力（13人）
Q 4 授業外でもサッカーをしたいですか？	とても思う（7人） 思う（17人） どちらとも（7人） 思わない（1人） 全く思わない（0人）

#### （4）指導観

### 『楽しさと喜びを実感し、自主的に運動に取り組む生徒の育成』

～思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりを通して～

指導に関しては、菊池郡市中体研の研究テーマを受け、以下のことに留意する。

#### ■授業づくりの視点1 学習指導過程の工夫

##### ①単元計画の工夫

- オリエンテーションにおいて、学習のきまりや安全確認についての指導を行う。また、単元計画を配布することで学習のねらいや進め方、評価方法とその機会を示し、生徒に見通しを持たせる。
- 活動内容を大きく変化させずに、「基礎・基本・発展」をパターン化し、活動時間を十分に確保することで、技能の向上と関わり合いの質の向上を目指していく。また、基本となる練習やゲームを行う際のコートの設定は、毎時間同じ形とするが、めあて達成のための「学習言葉」の精選やルールの工夫を行い、生徒たちがスムーズに活動し、少しでも運動量の確保ができるよう取り組んでいく。

## ②スキルウォーミングアップの推進

○体力の向上と基本技能の定着を目的として、毎時間の導入で補強運動とスキルウォーミングアップを行う。その際、前時で学習した技能のポイントや学習言葉を活用しながら生徒たちに問いかけて行うことにより、思考を停止させず、なおかつ運動量を確保する工夫を行う。前半は、曲に合わせながら柔軟性、筋力、敏捷性を高める運動を行う。そして後半では、ボールを使用しながら、ドリブルやパス&コントロールなどの「ボール操作」を中心とした運動を行い、自己の技能や体力に応じて取り組ませていく。スキルウォーミングアップ終了後、各自心拍数を測定し、自己の身体の調子を確認させたり、体力の向上へとつなげていく。

## ■授業づくりの視点2 言語活動の充実

### ①協働的な学習の推進

- 生徒同士の教え合い活動が充実するように、「学習言葉」を用いる。またその学習言葉をボードにまとめ、活用しやすいようにする。
- ただ単に、「学習言葉」を用いて個人やチームの課題のみを伝え合うだけでなく、良かったところを指摘したり、達成できたことをチームで確認し合ったりするなど、仲間やチームのことを認め合うことができるような教え合いを意識させていく。
- チーム編成においては、サッカーが得意な生徒と、そうでない生徒が、互いにコミュニケーションを取り、教え合い、協力して高め合う環境をつくる。また、サッカーが嫌いな生徒や苦手な生徒が集まらないようにし、QUテストの結果からも、要支援群の生徒が集まらないよう配慮している。そうすることで、ペア学習やチーム練習を行っていく中で、スモールティーチャーをつくり、生徒たちが授業の中で互いに高め合える環境をつくる。また、つまずきの見られる生徒については、必要に応じて個別指導を行っていく。
- 毎時間のまとめでは、チームや個人で学習のねらいについての振り返りを話し合わせたり、よい動きをしていた生徒を紹介したりして、学習の達成状況や、基礎的・基本的な動きのポイントを確認する。

### ②教具・資料の活用

- 動きのイメージが持ちにくい場合は、資料の提示や模範演技をして視覚的に分かりやすいようにする。また、状況を確認することができない生徒に対しては、動きを一度止めて説明し、どこに原因があるかなど、確認しながら学習を進めていく。

## 3 単元の目標

- (1) ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開できるようにする。(技能)
- (2) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- (3) 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

○相手の動きに応じてスペースに走り込むことができる。(技能)

【スペースに走り込む動きのポイントを見付けている。(思考・判断)】

(2) 本時の展開 (8 / 12)

※アルファベットは菊池郡市中体研紀要に基づく

過程	時間	学習活動	学習形態	○教師の支援及び評価	備考
つかむ	10分	1 挨拶・健康観察 2 準備運動 ・体操 ・補強運動 ・スキルウォーミングアップ  ①ボールタッチ ②ドリブル ③パス&コントロール ④シュート  ・心拍数の測定	一斉  グループ	○人数、見学者の確認及び、健康観察を行う。 ○6チームに分かれて整列し、ペアを作ってスキルウォーミングアップを行う。 ○サッカーに必要な基本的動作を身につけさせる。(E) ボールタッチ・ドリブル→顔を上げる・細かくタッチ 左右の足など パス&コントロール→顔を上げる・面で押す・次のプレーに繋がるコントロールなど シュート→軸足を強く踏み込む・力強く押し出す・四隅 ○心拍数を測定し、自己に応じた運動強度を知る。	音楽 掲示ボード
探る	20分	3 本時のねらいと学習内容を確認する。  相手の動きに応じてスペースを見つけ、得点を目指そう。  4 練習① ボールレシーブ  【方法】 ・パスナー1人、攻撃2人、守備2人。 ・攻撃は、グリッドの外にいるパスナーからグリッド内でボールを受ける。 ・パスを受けたら味方と連携し、シュート。守備は防ぐ。	一斉  グループ	○本時のめあてを確認させる。 ○前回のゲームにおいて見られた課題を振り返らせる。(D)  ○「ボールを持っていないとき」に守備者がいる状況でどのような動き方をするとボールを受けることができるかを考えさせながら練習させる。(F) ○練習がスムーズに行えない場合は、手でボールを扱って、動き方のイメージをつかませる。動き方のイメージがつかめた後、足でボールを扱って練習する。  【本時の学習言葉】 観る(相手を)、タイミング(動き出し)	掲示ボード  ボール マーカー ビブス  学習言葉
確かめる	15分	5 マークを外す動き方、学習言葉について考える。  6 練習② ミニゲーム (4対4+1フリーマン)	一斉  グループ	○模範演技をし、「ボールを持っていないとき」はボールから離れてスペースを作ったり、スペースにタイミング良く走り込んでパスを受けたりすることが大切なことに気づかせる。「ボールを操作しているとき」は、周囲の動きを見逃さず、動きに合わせてパスが出せるようにすることが大切なことに気づかせる。(H) ○本時までの学習で出た学習言葉の中から、特に「観る(人、ボール)」「タイミング良く動く」「パスコースになる」などを意識してアドバイスするようにおさえる。(E) ○学習活動4と5で学習したことを意識し、生かしながらゲームをするように促す。 ○チーム内でのアドバイスは学習言葉を積極的に用いるように伝える。 ○学習言葉の提示を行い、教え合いの質を活性化させる。 (D) (E) (F)	ゴール コーン
		【ルール】 ・フリーマンは常に攻撃側のアシスト役。 ・得点：一方はゴールに決めると得点。もう一方はコーン(2カ所)の間をドリブル通過で得点とする。 ・ハーフウェーラインをはさんで常に2対2の状況とする(フリーマンが入って攻撃側が3人となる)。 ・フリーマンには守備しない。フリーマンはシュートを打てない。		【B評価】 相手の動きに応じてスペースを見付け、動くことができる。  【B評価に達するための手立て】 掲示ボードや学習言葉を利用し個別に指導する。	
まとめる	5分	7 本時のまとめを行う。 ・本時の評価と課題 ・次時の説明 ・挨拶	一斉	○チームで協力して、後片付けを行う。 後片付けを行う際は安全面に配慮する。 ○本時の反省を行い、感想を発表させる。(F) ○次時の説明を聞く。	学習カード 作戦ボード

【思考・判断のB評価】スペースに走り込む動きのポイントについて、学習言葉を用いて見付けている。



4. 単元の指導計画及び評価計画

評価規準		単元の指導計画及び評価計画		言語活動計画	
次	時	主な学習活動	評価の観点	評価基準(方法)	言語活動計画
1 (はじめ)	1	○オリエンテーション ・チーム編成、学習の進め方など	知	知 サッカーの特性や成り立ちについて、言ったり書き出したりしている。(学習シート)	言語活動① 学習計画作りの場面で、自分の考えを明確に伝えること、友達との考えを理解すること、互いの考えを高めさせる。 【話す聞く言語活動】
	2	○スキルウォームアップの動き方の学習	○	知 巧緻性、敏捷性、瞬発力、筋力などが、動きに関連して高められることについて、言ったり書き出したりしている。(学習シート) 関 準備や後片付けを積極的に取り組もうとしている。(観察)	
	3	○ドリブルの技能の習得 ・ドリブル…顔を上げて、緩急 ・キープ…相手から速い方の足でボールタッチ	○	技 ドリブルで相手からボールをとられずキープすることができる。(観察) 関 自他の健康や安全に気を配ろうとしている。(観察)	言語活動② 技能習得の場面で、学習課題の技能習得のために学習言葉を用いて活動したり、ゲームの場面で戦術を生かした作戦を話し合ったりして、取り組みを工夫させる。 【話す聞く言語活動】
2 (なか)	4	○インサイドパス、トラップの技能の習得 ・インサイドパス…面を作って押し出す、軸足を強く踏み込む ・コントロール…クッション(軽く引く)、次のプレイへ	○	思 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。(学習シート) 技 フリーな味方を見つけてインサイドキックによるパスをすることができる。(観察)	
	5	○シュート技能の習得 ・軸足を強く踏み込む、力強く押し出す、四隅	○	関 ゲームのルールやマナーを守り、フェアに対戦しようとしている。(観察) 技 ねらった所に正確に、強いシュートができる。(観察)	言語活動③ 学習のまとめの場面で、友達の良いやががばりを認め合うことで、豊かにかかわり合いを持たせる。 【話す聞く言語活動】
	6	○サポート習得 ・観る(人、ボール、スペース)、パスコース、タイミング	○	思 スペースに走り込む動きの運動の行い方のポイントを見付けている。(観察・学習シート) 技 パスを受けるためにスペースに走り込むことができる。(観察)	
	7	○守備の基本技能の習得 ・観る(人、ボール、スペース)、ゴールを背にしてマークにつく	○	関 仲間の学習を援助しようとしている。(観察) 技 ゴール方向から相手をマークすることができる。(観察)	
	8 本時	○実践的サポート練習 ・観る(人、ボール、スペース)、タイミング	◎ 本時	技 相手の動きに応じてスペースに走り込むことができる。(観察)	言語活動④ 学習シートに、自分や友達、チームの動きを具体的に振り返らせることで、動きのポイントを次の授業につなげさせる。 【書く言語活動】
3 (まとめ)	9	○チーム課題習得① 自分やチームの課題となる点について考える。その課題を意識しながら個人としてチームとして身につける技能(学習の前半を参照)を高めていく。	○	関 チームの話し合いに参加しようとしている。(観察) 思 自分とチームの課題を見つけている。(学習シート)	
	10	○チーム課題習得②	○	思 自分やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。(観察・学習シート) 技 相手の動きに応じてスペースに走り込んでシュートを打つことができる。(観察)	
	11	○リーグ戦①	○	関 記録や審判など役割を果たそうとしている。(観察) 知 戦術や作戦のポイントを言ったり書いたりしている。(学習シート)	言語活動⑤ 単元のまとめで、自分やチームの伸びを分析・評価し、分かったことでできたことを整理し、単元での学び方について自己評価させる。
12	○リーグ戦②	○	知 個人やチームの能力に応じて立てた作戦を言ったり書き出したりしている。(観察・学習シート) 関 成功、失敗にかかわらず、仲間を賞賛したり励ましたりしようとしている。(観察)		

## 第2学年1・2組保健体育科学習指導案

日 時：平成28年11月25日（金）

場 所：菊池市旭志体育館

指導者：合志市立西合志南中学校 教諭 北田 勇正

### 1 単元名 武道 「剣道」

### 2 単元について

#### (1) 単元観

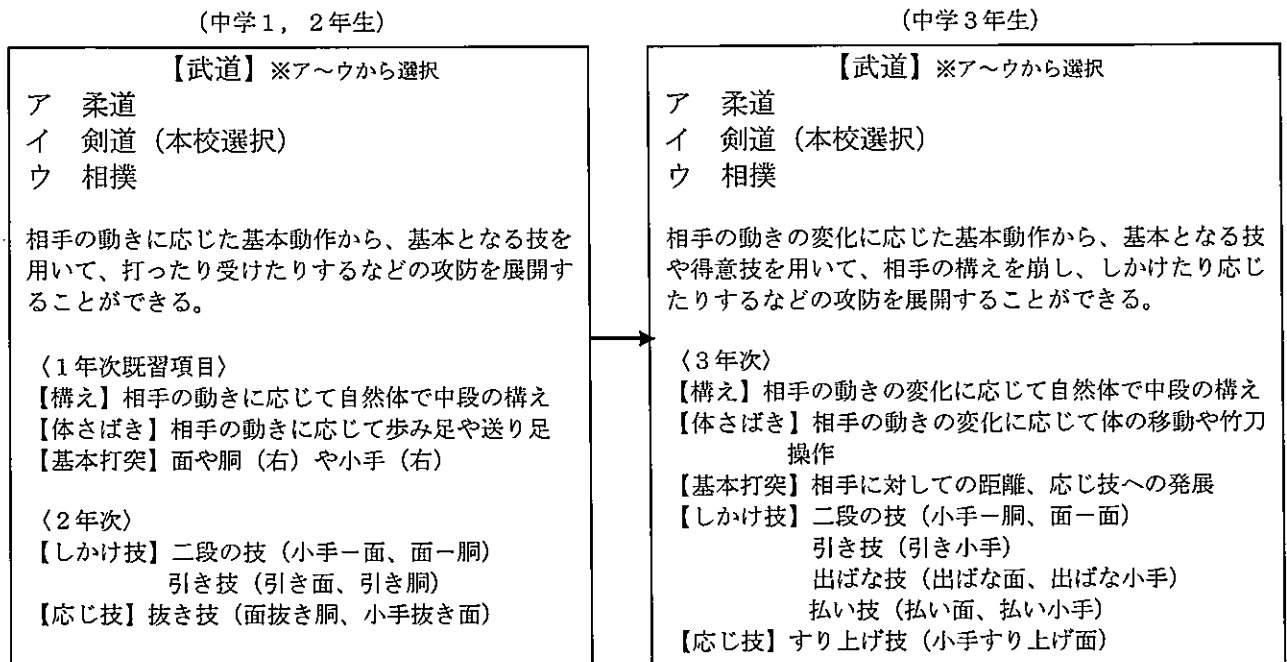
##### ①一般的特性

剣道は、竹刀を使って基本となる技や得意技を用いて、相手と攻防を展開しながら互いに有効打突を目指して相手の構えを崩して打ったり、受けたりして勝敗を競い合う運動である。構えや体さばき、基本打突の仕方や受け方を関連づけて一連の動きとして身に付けることに配慮するなど、対人的技能と一体的に扱う必要がある。また、剣道に積極的に取り組むことを通して、武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるようにすることを重視する運動でもある。そのため、技能の競い合いによる勝利の喜びを求めるだけでなく、伝統的な行動の仕方を身に付けさせる学習を行うことが大切である。

##### ②生徒からみた特性

普段から接することが少なく、中学校で初めて学習する内容であるため、ほとんどの生徒が未経験の単元である。カッコいい、自分から打った技で一本が取れたときが楽しい、など肯定的なイメージを持っている。一方で、痛い、上手にできないという否定的なイメージも持ち合わせている。

#### (2) 系統観



#### (3) 生徒の実態 (1組男子19名、2組男子18名、特別支援学級1名、計38名)

保健体育の学習に対する意欲は高く、明るく前向きに取り組むことができる。剣道に関しては、1年次に全員が授業で経験している。事前アンケートの結果では、剣道が「とても好き」が3人、「好き」が11人、「嫌い」が6人であった。「どちらとも言えない」と答えた生徒が17人おり、剣道に対して肯定的でもなく、否定的でもない様子が伺える。「どんな時に楽しいと思いますか？」

という質問には、「自分から打った技が打てたとき」「試合に勝ったとき」と答えた生徒が多く、技の習得や試合の場面で楽しさを感じたいということがわかる。また、「どのような力を高めたいか？」に対しては、「自分から打つ技」「礼儀作法」が多く、技能を身につけて技を決めたいという意欲的な姿勢が伺われる。

〈剣道に関するアンケート結果〉 ※未回答1名

Q1 剣道は好きですか？	とても好き（3人） 好き（11人） どちらともいえない（17人） 嫌い（6人） とても嫌い（0人）
Q2 剣道でどんな時に楽しいと思いますか？ （複数回答）	自分から打った技が打てたとき（27人） 試合に勝ったとき（25人） 仲間と力を合わせたり声を出し合ったりして練習ができたとき（13人） 礼儀作法がきちんとできたとき（12人）
Q3 剣道の授業でどのような力を高めたいですか？ （複数回答）	自分から打つ技（28人） 礼儀作法（27人） 総合的な体力（23人） 防御の技能（17人） 仲間とうまくコミュニケーションを図ることができる（14人）

#### （4）指導観

**『楽しさと喜びを実感し、自主的に運動に取り組む生徒の育成』**

～思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりを通して～

指導に関しては、菊池郡市中体研の研究テーマを受け、以下のことに留意する。

### ■授業づくりの視点1 学習指導過程の工夫

#### ①単元計画の工夫

- オリエンテーション時を中心に、剣道が「剣の理法の修練による人間形成の道」であることを伝え、我が国固有の文化と伝統的な考え方があることをおさえる。
- 学習の見通しを持たせるために単元計画を配布し、「容易→難しい」、「遅い動き→速い動き」、「その場で行う→移動しながら行う」、「基本→応用」といった原則を具体化させる。
- 必要以上の反復をなくし、効率化を図るとともに飽きさせない工夫を行う。段階に応じた実践的な学習（ゲーム的活動、基本試合、簡単な試合等）を取り入れ、初めて剣道に触れる生徒であっても、「できる」「わかる」楽しさを味わうことができるようにしたい。

#### ②スキルウォーミングアップの推進

- 武道の特性や文化に触れることを通して、礼法、マナーなどが身に付くだけでなく、対人的な動きを中心とした全身運動であり、瞬発力、敏捷性、巧緻性など体力を総合的に高めることができることをおさえる。
- 健康・安全に気を配って剣道を学ぼうとする態度を評価規準に盛り込み、積極的に評価していく。
- 基本技能が身につくようなスキルウォーミングアップメニューを作り、強度、時間を変えながら、より効果的な技能定着をめざす。

### ■授業づくりの視点2 言語活動の充実

#### ①協働的な学習の推進

- 課題提示については、生徒の実態に応じて、わかりやすい言葉で提示する。教え合い活動の室を高めるために、つまづくポイントなどの視点を明確に伝え、生徒同士が支援を行えるよ

うに配慮する。

○技術に関してはポイントとキーワードをそれぞれ提示する。

○グループの編成においては、剣道に好意を持っている生徒と、苦手・嫌いと思っている生徒で互いに教え合いができる関係で組んでいる。また、QUテストの結果から要支援群の生徒や剣道が苦手、嫌いと思っている生徒同士にならないように配慮する。生徒間での教え合い学習が充実し、グループでの練習を積み重ねていく中で、互いに技術を高め合う環境を設定したい。

○スキルウォーミングアップにおいても、「学習言葉」を用いた言葉掛けができるようにはたらきかけを行う。

○自己・相互・教師による評価と多角的評価を行い、コミュニケーションを図らせていく。

○授業の中で「できた」「良かった」ところは、教師からだけでなく、生徒同士でも褒めて認めることで満足感を得られるような授業を行っていく。

## ②教具・資料の活用

○ICTを活用し、主に自分の動きをイメージできずに技能面において課題を見つけることが苦手な生徒に対して分かりやすく伝える。本時の課題設定と評価の判断基準を明確にすることで、生徒が見通しを持って、意欲的に取り組めるようにしていく。

## 3 単元の目標

- (1) 技ができる楽しさや喜びを味わい、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技ができるようにする。(技能)
- (2) 剣道の伝統的な行動の仕方を守ることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配ることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- (3) 礼に代表される伝統的な考え方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

○タイミングをとらえ、「面抜き胴」を打つことができる。(技能)

【仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。(思考・判断)】

(2) 本時の展開 (8/13)

※アルファベットは菊池郡市中体研紀要に基づく

過程	時間	学習活動	学習形態	○教師の支援及び評価	備考	
つかむ	10分	※始業前に垂と胴を装着してチャイムを待つ。 1 挨拶・健康観察をする 2 準備運動 スキルウォーミング アップ+基本動作  ①スキップ ②前進・後退・左右すり足 ③跳躍素振り ④胴打ち	一斉  グループ	○安全に正しく装着できているか確認する。 ○全員で安全に留意しながら準備を素早く行わせる。 ○見学生への配慮を行う。  ○事前に学習した「基礎運動」であることを理解させる。(A) (C) ○楽しみながら基本に忠実に行わせ、基本技能を体得させる。 ○大きな発声を行うことで技能向上と回数を確認を行わせる。(H)	竹刀 剣道具  音楽	
探る	20分	3 本時のねらいと学習内容を確認する。 ※面を装着する。	一斉	○本時のめあてを確認させる。 ○学習言葉を使って、全員が理解できるようにする。(E) ○素早く正確に装着させる。見学者がいれば手伝わせる。	掲示①  掲示②	
		「面抜き胴」を打てるようになろう！				
		4 前時までの復習をする。「面打ち」「胴打ち」を稽古する。	グループ	○懸かり手は、気迫を込めて正確に打突させ、元立ちは、「右」の足裁きを使って正確に打突させることで、「面抜き胴」につなげる。  ○模範演技をし、イメージをつかませる。(I)	掲示③  掲示④ 大型モニター	
		5 「面抜き胴」の模範演技を見て、ポイントをつかむ。		【本時の学習言葉】 タイミング (相手の竹刀が上がった瞬間) 右足 (大きく右側に出す)		
		6 「面抜き胴」を稽古する。	一斉	○どのようにしたら「面抜き胴」が打てるのかを考えて稽古させる。 ○手立ての必要な生徒にはタブレットを使って技能を向上させる。(D) (G)	タブレット 掲示⑤	
		7 タイミングを捉えて面抜き胴を打つためにどうすればいいか発表し合う。	グループ	○教師と生徒でポイントについて共通理解を図る。 【予想される生徒の言葉】 タイミング: 相手の竹刀が上がった瞬間を捉える。相手が動いた瞬間に打ち出す。 右足: 大きく右側に出す。相手の竹刀が上がった瞬間に素早く動かす。		
確かめる	15分	8 「面抜き胴」の判定試合をする。  【ルール】 ・4人一組で行い、2人が試合、2人が審判とする。 ・面抜き胴をお互いに1回ずつ行い判定を行う。 ・判定の結果について話し合う。 ・話し合いをうけてもう一度判定試合を行う。	グループ	○班の中で判定試合をして、ポイントを理解させながら、技能を高めさせる。  【B評価】 相手が面を打ってきたところを、胴を打つことができる。(技能)  【B評価に達するための手立て】 学習資料を提示して、技能のポイントを明確に伝える。(技能)	チェックカード	
まとめる	5分	9 本時のまとめを行う。 ・本時の成果と課題 ・次時の説明 ・挨拶	一斉	○仲間(グループ)の良かった点や課題等を出し合い、認め合う雰囲気作りに努める。 ○本時の目標に向けての学習の成果と課題を発表させる。(F)	掲示⑥	

4. 単元の指導計画及び評価計画

評価規準	関心・意欲・態度		思考・判断		技能		知識・理解		主な学習活動	評価の観点	評価基準(方法)	言語活動計画	
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解	関心	思考	技能	知識					
4. 単元の指導計画及び評価計画	武道に積極的に関わり、相手に負けない姿勢をもち、健康・安全に気を配り学習に取り組もうとしている。												
	技を身につけるための運動のおこないのポイントを身につけている。課題に応じた練習を選んでいる。												
	基本動作を用いて、相手との間合いのかけひきの中から攻防を展開できる。												
	剣道の特性や成り立ち、伝統的な考え方や、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。												
	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動① 学習計画作りの場面で、自分の考えを明確に伝えること、友達への考えを理解することで、学習意欲を向上させる。
	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動② 技能のポイントを理解させ、お互いにより具体的なアドバイスをする。 【話す聞く言語活動】
	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動③ 学習のまとめの場面で、友達の良い言いがかりを認め合うことで、豊かな言いがかり合いを持たせる。 【話す聞く言語活動】
	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動④ 学習シートに、自分や友達、チームの動きを具体的に振り返らせることで、動きのポイントを次の授業につなげる。 【書く言語活動】
	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑤ 単元のまとめで、自分やチームの伸びを分析・評価し、分かったこと、できたことを整理し、単元での学び方について自己評価させる。 【書く言語活動】
	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動① 剣道の特性や成り立ち、基本動作や基本となる技の名称、関連して高まる体力について、言ったり書き出したりしている。(観察・学習カード)
	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動② 基本動作や、素振り、構え、足さばき、垂胴装着
	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動③ 剣道の準備、後片付けを意欲的に行うことができる。(観察)
	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動④ 相手を尊重した態度で、協力し合って練習している。(観察)
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑤ 基本打突のポイント伝えたり、身につけるための練習をしている。(観察・学習ノート)	
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑥ 基本動作から基本打突ができる。(観察)	
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑦ 積極的に話し合いに参加し、仲間の学習を援助しようとしている。(観察)	
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑧ 課題や自分の特徴に応じた技の練習を行っている。(観察・学習シート)	
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑨ 判定基準を理解している。(観察・学習カード)	
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑩ 判定後に仲間の良いところを評価し伝えることができる。(観察)	
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑪ グループでの教え合いの場面で仲間の良い動きを指摘している。(観察・学習カード)	
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑫ 小手抜き胴を身につけるためのポイントを見つけている。(観察・学習カード)	
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑬ 相手の動きに応じた動きができる(観察)	
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑭ 簡易な試合におけるルール、審判方法を言ったり、書き出したりしている。(観察)	
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑮ 相手の動きに応じた動きを行い、技を出すことができる。(観察)	
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑯ 自分の特徴や相手に応じた作戦を立てる(観察・学習カード)	
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑰ 簡易な試合におけるルール、審判方法を言ったり、書き出したりしている。(観察)	
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑱ 成功、失敗にかかわらず、仲間を賞賛したり励ましたりしようとしている。(観察)	
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	言語活動⑳ 学習したことを活かして、試合を行うことができる。(観察・学習カード)	

## 授業研究会〈球技部会〉

### ○授業者自評

【小野（菊陽町立菊陽中学校）】

サッカーの授業は全体で12時間、今回は8時間目授業でした。これまでの授業の内容は、オリエンテーション以降、スキルウォーミングアップ、活動1、活動2、ゲームにつなげるという形式を変えずに行ってきました。各時間の授業で変えたのは、発問や意識させたい内容のところ、シュートを打つときにキーパーを置かない形でこれまで活動しています。

学習言葉に関しては、毎時間教師側が提示するのではなく、子どもたちの言葉の中から「赤の言葉」（学習言葉）を引き出し、共有する形で授業を進めてきました。また、発問の仕方に関しては、教師側が答えを出す言葉かけではなく、発問から子どもたちに考えさせられるように意識しています。教師からの言葉を聞いて動きながら「赤の言葉」をパッと思い出せる、意識できるような姿を目指しました。

今回の授業は、「実践的サポート」や「空間に走り込む」ことに重点を置いた内容でした。「攻撃側を決めた中で、優先させるのはどこか」ということで「観る」「タイミング」という学習言葉を用いて授業を行いました。「タイミング」については前回の授業でも押さえています。

デモンストレーションが長いかなとは思いましたが、全体的な運動量はあったと思います。また、普段、発言しない生徒が発言できたこと、支援を要する生徒たちも生き生きと活動していて楽しくできていたのではないかと思います。

### ○質疑応答

Q. 学習言葉を視点に持ってきて授業をするということで、生徒たち自身の中でその形が定着し、教師がいないところでも、学習言葉を使ってやりとりしていたことに感心しました。学習言葉を使うことで、生徒たちの学びが深まったのではないかと思います。学習言葉は、教師が提示するのではなく、子どもたちから引き出すということでしたが、先生が、意図した言葉ではない言葉が出たり、思っていた言葉と違う言葉が出たりしたときにはどうされましたか。

【小野】

あらかじめ教師側が引き出したい言葉は持っていますが、生徒から出た言葉を否定せずに、限定しながら赤い言葉に持って行きました。あとは、学習カードを工夫することで、引き出したい言葉が出やすいようにしています。

Q. 学習言葉を他の単元でも活用していますか。

【小野】

サッカーの前はソフトボールをしていました。ソフトボールの授業では捕球時の肘や膝、その中の姿勢が赤の言葉として、「どのような」姿勢かという部分を「白の言葉」と指定して日頃から話していました。

Q. 活動中、生徒らが活発な声出しができていたことがすごかった。フリーマンを固定した意図は何でしょうか。

【小野】

フリーマンは常にサッカー部や経験値の高い生徒にさせました。役割としてDFをしなくていいだけでなく、アドバイスをさ

せるなどの役割を与えました。

Q. めあてに対しての場の設定についての質問です。2対2にしては、コートが広いように感じましたが、工夫した点やねらいはありますか。

【小野】

体育の授業づくりをする上で、裏のスペースや幅をとることを考えた場合、サッカーだと広いと思うかもしれませんが、他の生徒が気づくように広めに設定しました。

Q. 単元計画で1時間に一つずつ学習言葉が入っていますが、次回からはチームの課題解決を行っていくと言うことで、9時間目・10時間目をどのように展開していくのか、また、教師の関わりはどのようにしようと考えていますか。

【小野】

チームの課題については、本時の最後に真ん中の線をなくしたゲームを行ったとき、自由にした方が楽しいし盛り上がったという声が出ました。今回出た課題を作戦として考えさせながら、個人技能や集団技能を高め、リーグ戦につなげていきたいと思っています。

Q. 一年生時と三年生時の学習状況について、どのような構想を持っていますか。

【小野】

系統観については、やる内容は三学年ほとんど変わらないが、一年時には技能習得のためのポイントとして、「言葉を知る」「互いにアドバイスを送り合う」ことを目標にしたいと思っています。

二年では、言葉を知った上で「使う」経

験を中心に言葉を使っていきます。三年では、掲示物等がない中で、アドバイスや話し合いができるようになることを目標に取り組んでいます。昨年の3年生は、話し合いになると、ホワイトボードがなくても地面に図を描いて話し合うような姿が見られていました。そのような姿を目標に3年間の取り組みを行っています。

Q. 生徒の話し合い活動についての質問です。今日の生徒らで高めるためにこれまでやってきたと思いますが、話し合いの仕方に対するスキルの定着はどのようにしましたか。

【小野】

高め合う、積み上げていくということをしていきました。言葉を知る。それをどこで使うかは、まず二人で話し合わせました。水泳等の授業で二人組の活動でお互いにアドバイスし合う活動を行うとしゃべらざるを得ません。そこから、球技などの競技で、複数を交えてみんなで言えるようなスタイルに持って行きました。

【塚（菊陽中）】

菊陽中ではキャリア教育を行っていて、ピアサポートなどで話し合いのルール作りをしています。前日までの授業でも、小野先生は「話す人はどこに立つか。」「聞く人はどういう態度をとるか。」を問いかけていました。学校と体育とのつながりを持って取り組んできました。今回の授業でも、小野先生は問いかけを行う、子どもたちは話し合いながら考えを深めていくという活動になったと思います。

Q. 「教師は褒めたつもりでも、子どもは褒



められたと感じていない」という話しが小体研の中で話題になった。子どもたちが実感できるときには具体的に褒められたときで、そのときこそが子どもの意識の中に残るそうです。今回の学習言葉はめあてに応じた言葉になっていますか。経験上、経験値の高い生徒がしゃべり、他の生徒は黙るという授業になりがちだが、今回はそうならないためにどのような手立てをされましたか。

・指示を出したり、褒めたりする生徒の言葉かけが具体的でとてもわかりやすかったし、言葉かけをされた生徒にもわかりやすく、学習言葉の効果が発揮されていた。また、前時に学習した守備に関する学習言葉を用いて守備に関するアドバイスをする場面が観られ、学習言葉を中心に学習の積み上げがこの時間を見ただけでもわかった。本時でも、シュートは入らなかったが、裏がとれていた仲間の動きを喜んでいた生徒の姿も見られた。さらに、専門ではない生徒も本時のめあてを意識して、何度も首を振って相手を観ようとする姿が見られた。足を使ってボールを扱うサッカーという種目において、ましてや経験の浅い生徒にとって「観る」ということはなかなか難しいことだと思うが、わかりやすく指導するためのポイントは何か。また、ラージゴールを1つ、小さいコーンゴールを2つとして場を設定したいとは何か。

#### 【小野】

ボール、ゴール、相手、味方、スペースと観るべき対象がたくさんある中で、本時はこれにしようとする対象を絞り込んで、さらに具体的に確認しながら落とし込んで

いった。本日は「相手を観ることでスペースを見つけることができる」というように、相手を観ることが始まりだとして落とし込んだ。

#### 【高橋（球技部会チーフ）】

単純にフルサイズのピッチを二つ割りにした場を設定している。片方は「大きなゴールに攻める・守る」という状況。もう一方は「センターラインまでボールを運ぶ・運ばせない」といった状況。この2つを合わせるとフルサイズでのサッカーが自然とできあがるというコンセプトです。さらに、初回から場の設定を変えないことで、教師の説明や準備の時間を減らすことに成功したと考えています。つまり、生徒の活動時間を保証することであり、運動量の確保、活動内容を変えずに質の高めることができたのではないかと思う。

#### ○指導助言

##### 【久米野指導主事】

これまで菊池郡市では、思考力・判断力・表現力等を育む授業作りを進めてこられました。生徒同士の関わり、運動量の確保、スキルウォーミングアップに取り組み、たくさんの方の視点を持って参観する先生方も多くの収穫があったと思います。小野先生の授業を見ていて良かったと思いますが、小野先生と生徒との信頼関係がしっかりしていて、とても素晴らしい授業でした。また、運動量も十分ありました。1単位時間の内容をパターン化する効果はありました。スキルウォーミングアップについては、菊池郡市全体で取り組まれており、定着しております。本時の学習では、内容が良く

整理されていて、とてもわかりやすかったです。

スペースに走り込むという動きは難しいです。模範で示したときに、気がついた人も多いと思いますが、先生がやって見せて、説明を聞いて、生徒らも具体的にイメージすることができました。学習言葉と教師の言葉かけ、先生の体育への姿勢で言語活動は活発になっていました。生徒らが身につけた知識を活用することは、思考力アップにつながります。言語活動は学びを深めるということがよくわかったと思います。教え合いや相互評価を行うことはコミュニケーション能力を高めることにも非常に効果的で、授業の中で何度も励ましや賞賛の言葉が見受けられました。その意味でも、今回の授業は参考になる提案だったと思います。言語活動の充実に向けて学習言葉を活用するということが思考力・判断力・表現力等の育成につながるといことがわかり、今後も学習言葉を活用していくことで、さらなる効果が期待できます。キャリア教育の視点からのアクティブ・ラーニングやカリキュラムマネジメントにもつながります。今回の授業では、小野先生が発問の工夫をされ、それに向けて生徒が活動を行い、振り返りの場面で学習言葉がずっと出てきました。これは前段の活動で生徒らが意識して取り組んでいたからだと思います。学習内容の効果、学習言葉の良さを発揮するためには、それらを最大限に発揮できるような課題や解決し甲斐のある課題を与えることが必要です。今回菊池郡市では、先生方の専門性を生かした授業に取り組み、専門外でも使えるような学習言葉を使えるような工夫をされました。今回の研究を是非、

持ち帰って活用してもらいたいです。今回の研究が県下に広がり、地域の取り組みが伝わる良い機会でした。子どもたちの心身の育成や将来の生きる力につながる取り組みでした。

## 授業研究会〈武道部会〉

### ○授業者自評

【北田（合志市立西合志南中学校）】

剣道ということもあり、イメージをもたせたいと思い、そのためにICTを活用して映像を見せました。学習言葉については、武道部会で精選をしてきました。学習言葉を生徒から引き出すためにはどのようにすればいいのかを検討しました。模範演技と思っていたが、剣道部がないため難しいと考え、映像を見せようということで、AとBの比較映像を見せました。スローでやっていく内に言葉が出てきたので、スローにしてみても良かったと思っています。

学習言葉を用いた練習では今日の学習言葉を具体的にどうするかが生徒の口からできていました。一時間の中で、始まったときと終わったときをくらべると良くなった気がしています。子どもたちがきちんと学習言葉を理解し、練習の中で活用できた証拠だと思う。

判定試合にも楽しんで取り組んでいたと思います。これまでも授業の後半ではゲーム感覚の判定試合を毎時間やっていました。次はどうやったら勝てるのか、うまくなるのかと考えることで、思考も高まっていくのではないかと思います。感想では、アドバイスをもらえたことを喜ぶ声もあったし、次回の授業にいかしたいと言っていたので、思考も高まりを感じました。

### ○質疑応答

Q. ICT活用についてです。映像がすごくわかりやすくて良かった。もともとあったのか撮影されたのか。どんな風に準備し

たか。

【北田】

事前研のときに映像があった方が良くというアドバイスをもらって作り始めました。菊池郡市の若い先生方であつまってビデオ撮影をしています。悪い例をとって動画編集ソフトでスローに編集しました。

Q. 水泳帽子、面付けの工夫と竹刀のテープなどの狙いや工夫について

【北田】

面や防具を着けるのに時間がかかります。本当は面タオルが理想だが面付けだけで一時間が過ぎることもあります。水泳帽子が全員持っているので衛生的だし時間短縮にもなると思い、使用しました。面ひもはしっかり結んでいればそのまま外してまたつけられるので、時間短縮にもなりました。

竹刀の目印は一足一刀の間合いを意識しています。先生方と話し合い、間合い大事にするため目に見えるものということで印をつけました。

Q. 自分も剣道専門だが、面打ちには小さくと大きくがある。スキルウォーミングアップ、練習での面、小さく打ったが、大きく打つことと両方扱っているのか意図があつて小さくしているのか。

【北田】

手と足を合わせるのに小さく打ったほうが合いやすいと思います。スキルウォーミングアップも手をそのまま前にやった方がやりやすいので小さくさせています。面ぬき胴も小さい方が実戦的だしタイミングを合わせやすいので、意図的に小さく

面のみ学習させています。

## ○研究協議

【平田（武道部会チーフ）】

・学習言葉について

面抜き胴の学習言葉を何にするか部会で話し合いました。剣道専門の先生方が多いのでいろんな意見が出ました。

実際の応じ技は、相手を引き出して打つことが大事ということがでたが体育の授業の中でそうするのは難しいと思います。打ち方にこだわろうって指導しようということになりました。

最初は「Uの字で打とう」という言葉でしたが、技能習得のためだけ言葉でいいのか、「Uの字」だと、抜き胴ではなく胴うちではないのか、という意見が出て変わりました。

次は「バーンという音を出そう」というかという意見が出ました。しかし、思考が広がりすぎたり足の動きに着目しなかったりするのでは、ということでこれもやめました。

やはり抜き胴なのでタイミング、そのためには竹刀の上がり初めを狙おう、体の動かし方では、右足の出し方、ということになった。

【参加者】

・映像について、今日のようにスローモーションにすることでタイミングを確認することができた。

・自分がダンスの授業をした時に、生徒が動きが覚えられず、「自分の前の子のまねをするとわかりやすかった」と言っていた。

・今回の映像も自分の視点や背中からの映

像だともっとわかりやすいと思った。

【菊池郡市】

・撮影する角度については色々考え、面にカメラをつけようかとも思ったが、難しかったです。悪い打ち方がどういう風に示すことが難しかったです。私たち剣道経験者はなんとなく打つが、実際にスローにしてみても動き出すタイミングが分かりました。とってみて良かったと思います。

・菊池郡市ではかつて木刀による基本技稽古法も撮ったことがあるが市販されているものもあるのでそれを使うことの方が多かったです。

・今後は、今日のようにタブレットをつかって判定試合の時に視点を与えることなどに使いたいと思います。小手抜き面などの応じ技などでタイミングをつかませるのに使っていきたい。

## ○指導助言

【平木指導主事】

素晴らしい授業提案ありがとうございます。今日に至るまでに数回にわたる授業研究会をおこなってきました。感謝申し上げますと思います。

本日のオリエンテーションでもあったとおり、楽しさと喜びを味わい自主的に取り組む体育の授業づくり、思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりについて研究を進めてきました。「1指導過程」と「2言語活動」です。

1について、一時のオリエンテーションの工夫については、武道必修化においてもとても大事です。判定試合など、段階的な指

導により初めてでも楽しめる工夫があった  
と思います。スキルウォーミングアップは、  
基本技能の定着を目指して考えてありまし  
た。今日はスキップ・すり足・手刀での面  
があり、面は大きい方が良いのかどうかと  
いう質問に対して、踏み込みのタイミング  
のための小さくさせてあるという回答があ  
りました。

2の言語活動について、共同的な学習や  
教え合いのための学習言葉ですが、たくさ  
んの事前研の中で直前まで考えられていま  
す。本時は、“タイミング”と“右足”でし  
たが、ICTを使って、子どもたちが如何  
にして気づくか教え合いのためのキーワ  
ードとしての学習言葉だったと思います。

教具資料の活用では、自分の動きが分か  
らない生徒への手立てとしての映像資料が  
あり、子どもたちもわかりやすかったのも  
のではないかと思います。映像の角度につい  
てありがたい意見でした。今後も撮影を考  
えていきたいと思います。今日の映像配付  
してありますので、活用ください。

最後に、今日に至るまでに3年間を費や  
し、素晴らしい時間となりました。関係の  
先生方にお礼申し上げ、まとめの言葉とさ  
せていただきます。

## 6 郡市活動報告

### 玉名荒尾中体研

理事長 酒井 剛

#### 1 はじめに

玉名荒尾中体研は、杉本三郎校長（荒尾第四中学校）を中心に玉名13校、荒尾3校の体育担当者で組織されている。本年度の研究テーマは、「積極的に運動に親しみ、活力のある児童生徒を育成する保健体育学習のあり方」～体力・運動面での小・中の滑らかな接続をめざして～とし、今年度は、小学校と連携し、9年間を見通したバランスの良い体力づくりのための取り組みを行った。

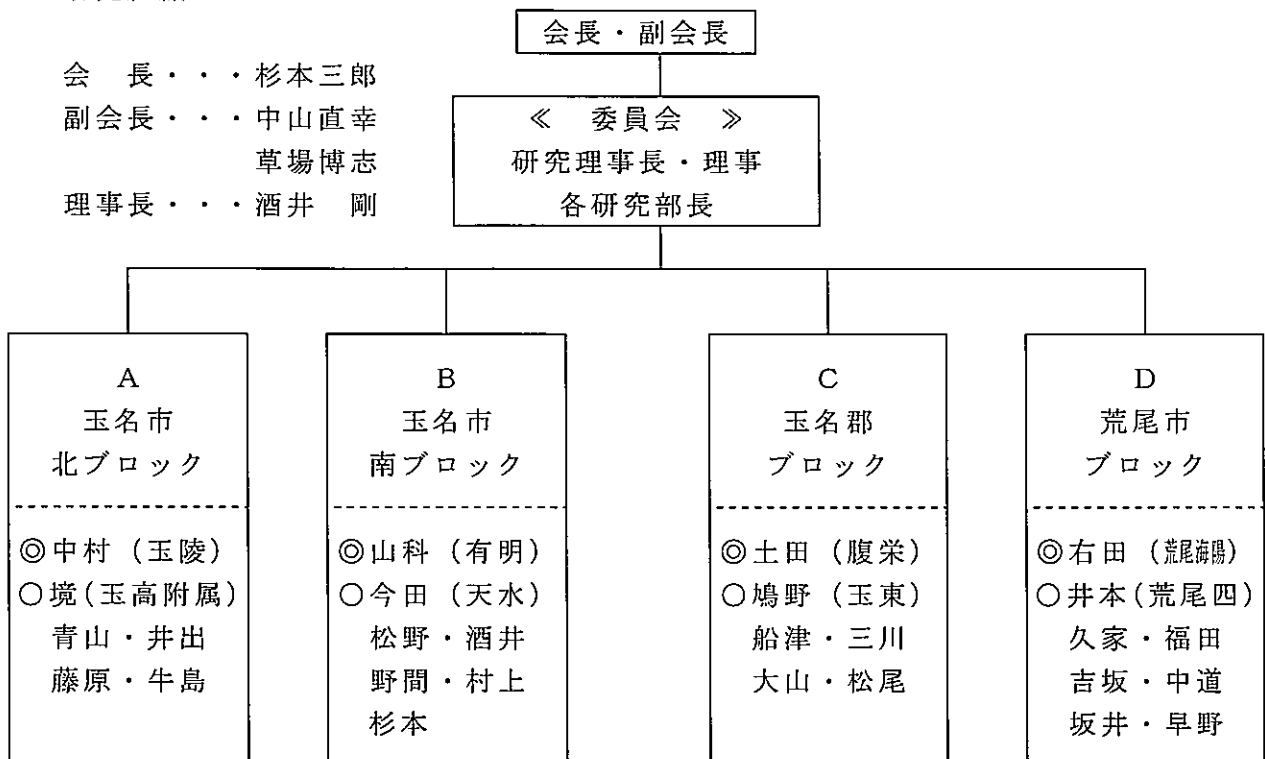
#### 2 研究テーマ

「積極的に運動に親しみ、活力のある児童生徒を育成する保健体育学習のあり方」  
～体力・運動面での小・中の滑らかな接続をめざして～

#### 3 研究内容

- 各校区で体力に関する実態調査
- 各校区での小・中連携協議の実施
- 体力向上のための教材・教具の開発
- 実技研修会の実施
- 授業研究会の実施

#### 4 研究組織



## 5 活動状況

- ◎ 4月28日(木) 【教育会教科等全体会(中学校保健体育)】  
《内容》 研究テーマの確認及び年間計画、各グループの活動・研究内容検討
- ◎ 7月27日(水) 【第1回研究委員会】  
《内容》 各グループの進捗状況確認及び教科等研修会の内容についての検討
- ◎ 7月29日(金) 【県中体研夏期研修会】(菊陽町) ※1名参加
- ◎ 8月24日(水) 【第1回教科等研修会(半日研)】  
《内容》 講話・実技「コーディネーショントレーニング」:天水中学校多目的ホール  
講師:熊本健康・体力づくりセンター 大崎 暢夫 さん  
※ 熊本機能病院熊本健康・体力づくりセンター健康科学トレーナーである大崎暢夫さんにコーディネーショントレーニングの基礎や中学生期の傷害の防止について講習をしていただいた。座学、実技ととても有意義な講習であった。
- ◎ 11月10日(木) 【第2回委員会】  
《内容》 第2回教科等研修会(半日研) 内容確認及び指導案検討会
- ◎ 11月22日(火) 【第2回教科等研修会(半日研)】  
《内容》 公開授業 球技 ゴール型「タグラグビー」 会場:荒尾第四中学校  
授業者:荒尾第四中学校 井本 賢吾 教諭  
  
授業研究会・研究協議  
※ 3年生球技選択「タグラグビー」の授業を公開していただいた。2019年W杯熊本県開催、荒尾市の地域性を踏まえ、他校ではほとんど実施していない種目に挑戦していただき、大変参考になるものだった。男女共習で球技が苦手な生徒への配慮もされており、活動している生徒は和気藹々とした雰囲気だった。授業研究会ではワークショップ形式を取り入れ、より活発な協議となった。
- ◎ 11月25日(金)【熊本県学校体育研究大会】(菊池市) ※15名参加  
《内容》 研究発表、講演、公開授業、授業研究会

## 6 まとめ

近年、中学生の大きな課題であると感じていた新入生の体力や基礎技能について、各中学校区で小中連携しての協議や実践を行ったことで、教員の体力向上に対する意識が向上した。さらに、小中連携を深めるため、互いの実技研修会に参加し交流することができた。来年度は、さらにこの取り組みを進め、9年間を見通した適切な運動の量と質を考えていきたい。そのためにはまず、体力テストを各校区毎にしっかり分析し、経年変化を調べ、成果と課題の検証が必要である。

## 1 はじめに

山鹿市は、松永会長（米野岳中学校長）を中心に、6校16名の保健体育担当で研究を進めている。授業、生徒指導、校務、部活動など毎日多忙ではあるが、日頃の授業の質を高めるために、「学習内容の明確化」「学び合いの充実」「振り返りの時間の確保」をキーワードとして捉え、生徒たちが自主的に学習に取り組んでいくような姿を追求している。

山鹿市は少ない会員であるが、指導経験豊富な先生方の力を集結して、そのノウハウを共有化できるような取組と、山鹿型授業（山鹿スタイル）の確立を推進できればと考えているところである。

## 2 研究テーマ

## (1) 研究テーマ

『学び合いの中で学習意欲を高め、自主的に保健学習に取り組む生徒の育成』

～山鹿型授業の確立を目指して～

## (2) 本年度研究テーマの具現化に向けた努力点

- ①学習内容を明確にし、指導と評価の一体化を図る（山鹿型授業）
- ②学び合い、アクティブラーニングなどの学習形態の工夫により、自ら学ぶ姿勢を育てる
- ③体力の向上（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）を図り、仲間とかかわり合うチームワーク、連帯感等を味わうことができる授業展開の工夫
- ④県・都市と連携を図った研究の推進
- ⑤次期学習指導要領完全実施に伴う研修
- ⑥各種研究大会・実技研修への積極的参加体制の確立

## 3 研究組織

○会 長	松永 博文（米野岳）	○副理事長	西浦 伸一（鹿 北）
○理 事 長	丸山 喜寛（鹿 本）	○研究理事	内田 正典（山 鹿）

## 4 活動状況

## (1) 【5月6日（金） 山鹿市教育会研究会 半日研修（山鹿小学校）】

①前年度の反省 ②役員選出 ③市研究テーマ、サブテーマの検討 ④年間計画作成

## (2) 【7月25日（月） 山鹿市教育会夏季研修会 終日研修（米野岳中学校）】

午前：講師招聘（講師：F F C熊本 西岡 学 様）

「頑張る体育教師へ」（食生活と健康について）

午後：実技研修（講師：鹿北中学校 那須 法寿 教諭）

「体づくり運動の有効な活用方法」

- ・1学期の授業実践の情報交換会
- ・データベースの分析と活用方法の検討

## (3) 【10月6日（木） 山鹿市教育会研究会 半日研修（山鹿中学校）】

## ①公開授業

単 元 「E 球技」 ア ゴール型 ハンドボール



授業者 内田 正典 教諭 (山鹿中学校)

②授業研究会 (山鹿型授業の検証)

- (4) 【11月17日(木)～18日(金)九州学校体育研究発表大会(沖縄大会)視察研修】
- (5) 【11月25日(金)熊本県学校体育研究発表大会への参加(10名参加)】
- (6) 【1月22日(金)山鹿市教育会研究会 半日研修 (米野岳中学校)】

研修1「今年度の反省と次年度への志向」

- ・今年度の取組の振り返り ・県学体研報道
- ・次年度への志向

研修2「班別協議～アクティブラーニングの授業改善～」

- ・共通課題・共通実践していくことの検討
- ・授業づくり(略案作成)

○中体連等より今後の連絡と共通実践事項の確認

5 研究の概要

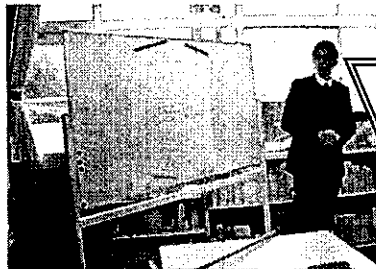
(1) 研究授業(山鹿型授業の検証)

山鹿市6校全ての学校でハンドボールを履修しており、山鹿型授業の一つのモデルとして研究授業を行った。それぞれの学校での実践と照らし合わせて研究協議を行うことができた。地域密着型のスポーツとしても大きな意義を持っており、改めてハンドボールの良さに気づくことができた。



(2) 班別協議～アクティブラーニングの授業改善～

現在の研究テーマに沿って研究を進めて4年目になる。色々な場面で、「学び合い」とは何か、体育における「学び合い」とは何かを考えながら研修を行うことができた。アクティブラーニングの視点から、互いの実践を振り返りながら授業改善に努めることができた。



Handwritten notes in Japanese, including phrases like '学び合い', '共通課題', and '共通実践'. The notes are written in a cursive style on a piece of paper that is part of a larger graphic element.

6 まとめ

保健体育科の教師は、保健体育科のプロである。そこに専門種目はない。プロである以上全ての領域にとってのプロである。体育分野だけに限らず、保健分野にも同じことが言えることを再確認する必要がある。保健体育科としてのプロ意識を持って、各学校での実践を積み重ね、より山鹿型授業を創っていきたい。

# 菊池郡市中体研

研究理事長 津留 知子

## 1 はじめに

菊池郡市では、岩下会長（泗水中学校）を中心に、12校34名の保健体育担当  
者で研究を進めている。研究テーマを「楽しさと喜びを実感し、自主的に運動に取  
り組む生徒の育成」と設定し、「思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり」を  
めざして研究を進めている。

研究発表大会に向けて、会員全員が一丸となって取り組むことができた。身に付  
けさせたい知識・技能を明確にしなが、より活発な言語活動を促すための学習言  
葉の精選、ICT機器の効果的な活用方法、等について協議を重ねてきた。球技部会、  
武道部会それぞれにおいて、個に応じた指導方法の工夫、協働的な学習活動の充実  
を図っていけるように、取り組んできた。

## 2 研究テーマ

**楽しさと喜びを実感し、自主的に運動に取り組む生徒の育成**  
～思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりを通して～

## 3 研究組織

中学体育部会長	
事務局	
研究推進委員会	
会長・事務局・研究部チーフ・各部チーフ	
球技研究部会	武道研究部会
主・高橋誉(西合志南)	主・平田憲利(菊池南)
副・井川雄一(大津)	副・山下勝之(合志)
【七城】有江一矢 【旭志】田邊景星 【泗水】若杉新策 【合志】山崎香織、澤田和宏、佐藤達朗 【西合志】佐藤省吾、吉村貴文 【西合志南】益田誠悟 【大津】田島信哉 【大津北】本郷浩一、大谷浩介、甲斐典子 【菊陽】塚純、小野寿大、三川了大 【武蔵ヶ丘】古閑広憲、稲浦貴紀	【菊池北】緒方晃市 【菊池南】高宮博隆 【泗水】坂田浩一、米田輝彦 【合志】坂本健志朗 【西合志南】岩谷寛、泉恭子、北田勇正 【大津】米田豊和 【武蔵ヶ丘】梅北嘉郎、内田智久

#### 4 活動状況

- (1) 第1回一斉研修会【5月24日(金) 菊陽中部小学校】 半日研：参加者34名  
○平成27年度事業報告及び決算報告  
○平成28年度事業計画及び予算案審議、役員選出
- (2) 第2回一斉研修会【8月1日(月) 泗水中学校】 参加者33名  
〈午前〉全体研修  
・研究の進捗状況について  
・模擬授業(球技研究部会、武道研究部会から)  
〈午後〉領域別研修(球技研究部会、武道研究部会、実態調査分析部会、総務部会)  
・単元計画、学習カード、掲示物等の作成と見直し  
・実態調査分析、結果報告のまとめ  
・研究発表大会の実施要項確認
- (3) 第45回熊本県中学校保健体育研究発表大会(菊池大会)【11月25日(金)】  
○公開授業1「球技(サッカー)」2年生 授業者 菊陽中学校 教諭 小野寿大  
○公開授業2「武道(剣道)」2年生 授業者 西合志南中学校 教諭 北田勇正  
○特別講演 「スポーツ指導に生かすスポーツビジョンーその理論と実践ー」  
講師 大阪府立大学高等教育推進機構健康科学 准教授 吉井 泉 氏
- (4) 第3回研修会【1月16日(月) 武蔵ヶ丘中学校】 半日研：参加者33名  
○研究発表大会の総括、各領域からの反省  
○次年度からの方向性

#### 5 反省と課題

今年度は、熊本県中学校体育研究大会を本都市で開催した。平成27年度から「学習指導過程の工夫」と「言語活動の工夫」の2つの視点から授業づくりを行い、専門性を持った体育担当者が多い「サッカー」と「剣道」を核として研究に取り組んできた。専門性を最大限に生かしながら、誰でも実践できる授業づくりをめざして、学習内容の精選、身に付けさせる技能の確実な定着のための手立て、学習言葉の検討等、協議を重ねてきたことを熊本県内の先生方に提案することができた。開催にあたって、熊本県教育委員会、菊池教育事務所、菊池郡市各教育委員会、熊本県体育研究会の方々にも多くのご助言をいただくことができ、本都市の体育担当者にとっても実り多き大会となった。

これまでの研究実践からの成果とともに新たな課題も見えてきた。実践を積み重ねてきたものの、改善までいたらなかった課題も残されている。今後も、「今日は何ができるのだろうか。」と目を輝かせながら授業に参加する生徒を育てることができるよう努めていきたい。

# 阿蘇郡市中体研

理事長 林 剛史

## 1 はじめに

これまで阿蘇郡市は、坂梨正文校長（南阿蘇中学校）を中心に10校14名の保健体育科担当で研究を進めてきた。今年度は運動の特性を機能的特性、構造的特性、効果的特性の3つに整理し、授業づくりに組み込み、検証した。今後はその取り組みを土台として、平成31年度の熊本県中学校体育研究会の阿蘇大会へ向け、より現実的な実践を行い、研究を進めていきたい。

## 2 研究テーマ

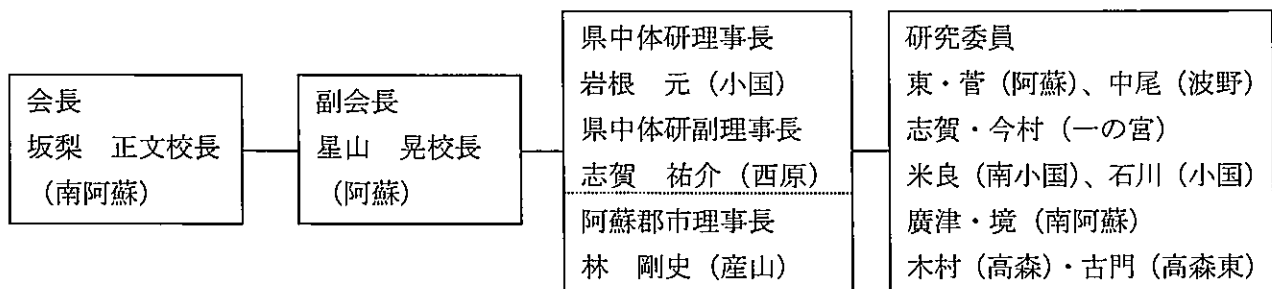
阿蘇郡市 平成28年度

「自ら運動の喜びや楽しさを求め、

生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健体育学習の在り方」

～「分かって できる」「できて 分かる」結びつきを大切にしたい授業を目指して～

## 3 研究組織

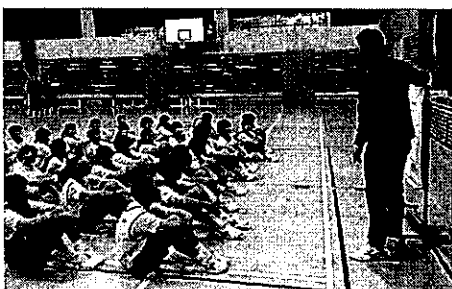


## 4 活動状況

会議	期日	内容
1 中体連評議委員・体育担当者会	4月15日(金)	H28年度組織決定 授業者決定 (南小国中：米良教諭)
2 第1回阿蘇郡市教育研究会総会	5月31日(木)	昨年度の実践の報告・まとめ 研究テーマ・組織・方向性検討
3 熊本県学校体育研究発表大会	11月25日(金)	菊池郡市 会場：旭志中学校 他
4 第2回阿蘇郡市教育研究会 中学校体育保健体育部会	12月13日(火)	公開授業及び授業研究会 ※次年度以降の研究授業検討
5 阿蘇郡市中体連・中体研反省	2月23日(木)	年間活動の反省 来年度への志向

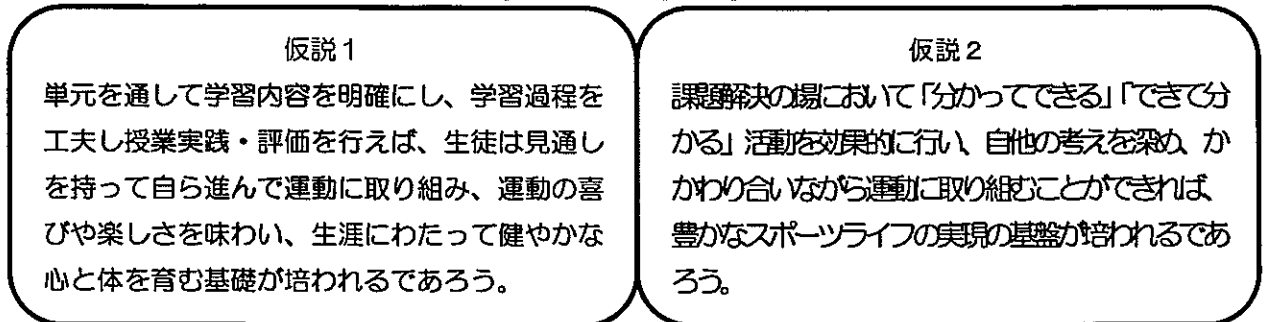
《公開授業及び授業研究会》

授業者 米良 瑛彦 教諭 (南小国中学校) 球技「バスケットボール」

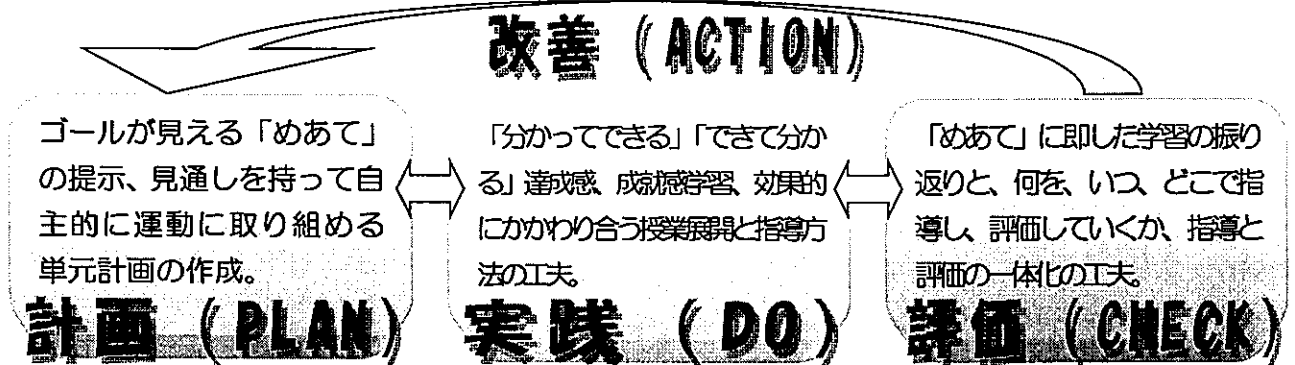


5 研究の概要

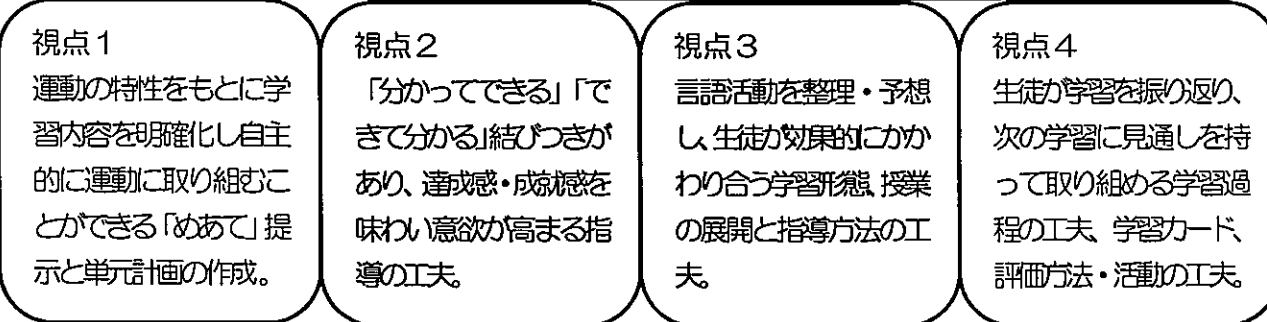
## 研究の仮説



### 研究の内容



### 具体的な研究の内容



6 まとめ

今年度12月13日に研究授業、授業検討会を行った。授業においては視点を「言語活動」、「達成感・成就感を味わわせる指導の工夫」の2点に絞ったことで、班別協議などで様々な意見が交わされ、今後へと繋がるものとなった。

今回挙げられた課題は「運動の特性を理解した授業の構築」である。教師側が運動の特性をしっかりと理解することで、「生徒に身に付けたい力」や「本時は何を目標にしているのか」を明確にさせることができ、そのことが具体的で明確な「めあての提示」、「振り返り」に繋がってくると感じられた。

授業では日常からの教師と生徒の良好な信頼関係が見え、活発で意欲的な活動が見られた。研究の成果と課題を検証し、今後もこの研究、実践が生徒や保護者そして地域の方々に返せる研究となるようにしていきたい。

1 はじめに

上益城郡は、河田知治会長（清和中学校）を中心に、8校16名の研究員で構成され、教科等研究会を活動の中心として研究を進めた。本年度は、昨年度に引き続き、体力づくりの意欲を高めるためには、授業にどのような工夫が必要になってくるのか、研究授業を中心に研究を進める計画だったが、熊本地震が発生し、ほとんどの学校が大きな被害を受け、授業もままならない状況になってしまった。地震の影響がどこまで続くのか予想が立たない中で計画を立て直し、小学校とも連携しながら本年度できることをやっということになった。このような状況だったため、研究授業を例年2本実施していたが、本年度は1本に絞り、夏期実技研修会も中止せざるを得なかった。被害が大きかった学校では、各町の小学校と協力し空き教室を貸し借りしながら授業を進め、体育実技では体育館が使用できないため屋外でできる種目に変更し授業を進めた。

2 研究テーマ

一人一人が意欲的に取り組む保健体育学習の創造  
～体力づくりの意欲を高める授業を目指して～

3 研究組織

- 会長 河田 知治（清和）
- 理事長 板床 龍哉（蘇陽）
- 部会及び研究員

部会	夏期実技研修部会	授業研究部会	意識調査部会
重点事項	実技研修の充実 ・実技研修会の提案 ・講師、内容の確認 ・日程、役割の確認 ・実践レポート研修会	意欲的に取り組む授業づくり ・研究授業の提案 ・事前研究会の充実 ・教材教具の提案 ・評価の実際	実践レポート報告会 ・実践レポートの提案 ・生徒の意識調査の実施 ・新体力テスト分析 ・次年度へつなぐ取組
チーフ	岩田 聡（木山）	板床 龍哉（蘇陽）	倉岡 武（御船）
研究員	顧問：服部起明（甲佐） 黒川克己（木山） 藤野博文（甲佐） 服部起明（甲佐） 藤原一也（矢部）	顧問：岩田雅子（清和） 田上大太朗（益城） 佐伯美早（嘉島） 松本 巧（益城） 松尾成也（益城）	村上伸一郎（御船） 武田 雅裕（清和）

#### 4 活動状況及び予定

(1) 5月26日(木) 【郡教科等研究会 半日研修(甲佐中学校)】

①役員選出 ②研究テーマ、サブテーマの検討 ③年間計画作成

(2) 7月29日(金) 【熊本県中体研夏期研修会・体育実技講習会 終日研修】

熊本地震のため中止

(3) 8月 【郡教科等研究会 実技講習会 半日研修】

熊本地震のため中止

(4) 11月22日(火) 【郡教科等研究会 熊本県小学校体育研究発表大会(益城町)】

会員全員で公開授業、授業研究会、講演会への参加

(5) 11月25日(金) 【熊本県中学校体育研究発表大会(菊池郡市)】

本郡市より4名参加

(6) 1月27日(金) 【郡教科等研究会 レポート研 年間反省等 半日研修(御船中学校)】

研究授業 単元:球技・ゴール型「サッカー」

指導者:倉岡 武 教諭(御船中)



一人一人が意欲的に取り組む保健体育学習の創造  
～体力づくりの意欲を高める授業を目指して～

上記のテーマのもと女子のサッカーの提案授業を行って  
もらい授業研究を行った。



スキルウォームアップもサッカーの基礎であるドリブルや  
パスをしながら楽しく取り組める内容であり意欲を高めた状態  
で主運動に入ることができた。主運動に入ってから教師主導  
の授業ではなく各チームで作戦を考えながら課題に迫るもの  
で、活動をしていく中で課題が解決されるような内容であっ  
た。女子クラスの授業ではあったが大きな声がたくさん出  
ておりテーマに迫る提案授業になった。

#### 5 おわりに

本年度は、4月の熊本地震により体育館やグラウンドも使用  
できない期間が続いた。郡中体研の予定も変更せざるを得ず、当  
初は2本の予定だった研究授業も、ようやく1本実施できたよう  
な状態である。しかし、本年度はこれまでなかなかできなかった  
小中連携に取り組むことができ、小学校の研究会に参加させて  
いただくことができたことは収穫であった。



学校を含めた郡内の体育施設の復旧にはまだ時間がかかるよう  
で、完全ではない環境での授業が続くことになるが、お互いに  
協力し合いできることから研究を進めていきたい。

1 はじめに

熊本市中学校体育研究会では、研究テーマを『自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方』とし、県中体研・市教育委員会（子どもの体づくり推進委員会）との連携を図りながら授業実践を行ってきた。今年度は九州学校体育研究発表大会に向けた教育課程の編成や実施上の課題、学習指導の改善と工夫及び充実を図る取組を行ってきた。また「学びわくわく中学校授業研究会」（熊本市教育委員会・各教科研究会主催）では熊本市内の中学校を東西南北の4ブロックに分け、ブロックごとに研究を推進した。また九州学校体育研究発表大会の公開授業のための研究会も行った。さらに熊本市養護教諭部会と連携をとり養護教諭とのTT授業も積極的に取り入れ、より専門性に高い保健授業の展開を目指した。

2 研究テーマ

自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習のあり方  
～転移する知識・技能を活用し、探求していくグループ活動の構築を目指して～

3 研究組織

- 会長 新垣 力（天明）
- 副会長 大園 隆明（龍田） 諏訪園 勉（江原） 金森 勲（北部） 香山 悟（東町）  
海津 英孝（武蔵）
- 顧問 木村 光利（健康教育課）
- 理事長 田中 省三（白川）
- 副理事長 廣瀬 弘忠（武蔵） 一安晋太郎（鹿南） 竹上明日香（西山） 船津一真（植木北）

	校 名	理 事	副理事
東	白川・湖東・帯山・東野・錦ヶ丘・二岡・東部・西原・東町・長嶺・桜木	青木久美子（帯山）	西野聡一朗（西原）
西	藤園・花陵・京陵・西山・江南・三和・城西・井芹・芳野・河内・熊大附属	松田直浩（藤園）	松村 誠（芳野）
南	出水・城南・江原・託麻・出水南・飽田・天明・力合・日吉・富合・下益城城南	岩崎佳奈（出水）	鐘ヶ江康裕（出水）
北	竜南・桜山・楠・武蔵・清水・北部・龍田・鹿南・五霊・植木北	船津一真（植木北）	嶽本光貴（五霊）

4 活動状況

活 動	月	内 容
○総会準備委員会 ○市中体連・中体研総会	4月	本年度の活動計画・予算案作成・ブロック理事選考 年度初めの総会、本年度の計画（天明中）
○県中体連・中体研第1回評議委員会 県中体研推薦委員会・理事長会	5月	県活動計画・確認（東町中） 推薦委員会（長嶺中）
○市中体研評議員・理事合同会議 県中体連総務委員会 熊本市子どもの体づくり推進委員会	6月	本年度の研究会計画（環境センター） 研修・検討・講話（市教育センター）
○県中体研理事長会 ○熊本市教育課程研究協議会 ○熊本市子どもの体づくり推進委員会	7月	チーフ会確認（菊池北中） 授業実践発表・講話・模擬授業（環境センター） 研修・検討・講話（市教育センター）
○県中体研実行委員会	8月	指導案の確認、日程、指導助言者との打ち合わせ確認、会場設営等（旭志中）



○学びわくわく中学校授業研事前研究会 ○学体研実行委員会	9月	指導案の確認、日程、指導助言者との打ち合わせ確認、会場設営等（白川中）
○学びわくわく中学校授業研究会 ○県中体研第2回実行委員会	10月	東部・井芹・下益城城南・鹿南 大会事前打ち合わせ（西合志南中）
○学体研実行委員会 ○県学校体育研究発表大会	11月	（旭志中）
○熊本市子どもの体づくり推進委員会	1月	研修・検討・発表（市教育センター）
○学校体育功労賞受賞祝賀会 ○学びわくわく指導案集の作成	2月	（熊本テルサ） 編集、印刷、冊子づくり
○学びわくわく担当者会 ○熊本市子どもの体づくり推進委員会	3月	1年間のまとめと来年度に向けて 研修・検討・発表・講話（市教育センター）

## 5 研究の概要

### (1) 研究の方法

- ・学びわくわく中学校授業研究会の授業研究・準備・運営・参加・まとめ
- ・県中学校体育研究発表大会の授業研究・準備・運営・参加

### (2) 研究の柱「学習内容を明確にした指導と評価の一体化」

- 研究の視点
- 視点1 「3年間を見通した具体的評価規準」の検証
  - 視点2 基礎・基本の習得→活用力育成→自ら学び考える力の育成
  - 視点3 言語活動を重視した取組
  - 視点4 健康の保持増進と体力の向上

熊本市授業づくり5つの視点

- 学びわくわく中学校授業研究会 10月13日 《 授業内容 ・ 授業者 》
- <東> 1年『保健（心身の機能の発達と心の健康）』 授業者 東部中 上村 和彦  
木下 雅子
  - <西> 3年『球 技<ネット型>（バドミントン）』 授業者 井芹中 高塚 純子
  - <南> 1年『球 技<ゴール型>（バスケットボール）』 授業者 下益城城南中  
藤野有美子
  - <北> 3年『陸上競技（ハードル走）』 授業者 鹿南中 一安晋太郎

- 県中体研理事長会 2月23日
- 3年『球 技<ゴール型>（バスケットボール）』 授業者 西山中 竹上明日香

## 6 まとめ

本年度は昨年度行われた学校体育研究発表大会の反省より授業研究を中心に体育領域・保健領域の授業研究・実践を行ってきた。これまでの取組から学習内容の明確化や3年間を見通した授業づくりと熊本市体育研究会の「4つの視点」が定着し内容も充実し、今年度は熊本市教育委員会の「授業改善5つの視点」も取り入れた実践に取り組んだ。また、各保健体育授業研究会では、授業を作り上げていく中で「自ら進んで取り組む体力の向上」と「楽しさを感じる保健体育授業」の2点を中心に研究を行い、熊本市の先生方の意識や研究心も高まった。

保健領域では、養護教諭との積極的なTT授業を推進し、学びわくわく授業研究会にて提案授業を行うことができた。

今後更に本会の先生方の資質向上と指導力を磨き、県中体研と連携を図りながら来年度行われる九州学校体育研究発表大会に向け、熊本市の体育研究を推進していきたい。

### 1 はじめに

宇城中学校体育研究会は中島仙一郎会長（鶴城中学校）を中心に11校の体育担当者20名で組織されており、11校中8校は体育担当者が1名の小規模校である。

そのような中、各学校の体育担当で平成26年度の県大会発表の成果や課題をもとに発展的な研究を進めている。

「スキルウォームアップ」「見通しと振り返りを持たせる工夫」「言語活動」「グループ学習」を効果的に行うことを継続し、さらに研究を深めていった。

### 2 研究テーマ

「自ら運動の喜びや楽しさを求め、

生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」

～ 転移する知識・技能を活用し、探求していくグループ学習の構築をめざして ～

### 3 研究組織

○会長 中島仙一郎（鶴城）

○協力者 岩村 龍児（住吉） 川端 保成（豊野）

○理事長 井上 淳一（三角）

○副理事長 齋藤 達也（砥用） 杉野 弘樹（住吉）

\*全会員が三部会（研究授業・スキルウォームアップ・学習カード）に分かれて研究を進める。

### 4 活動状況

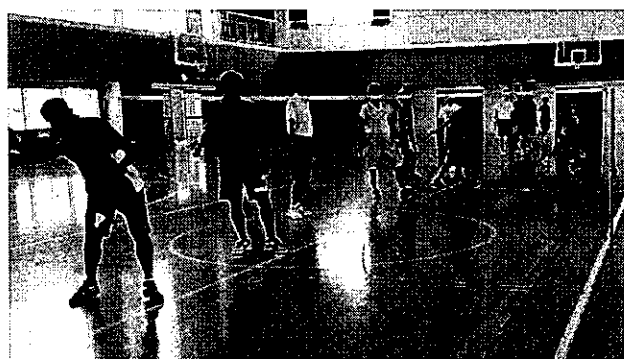
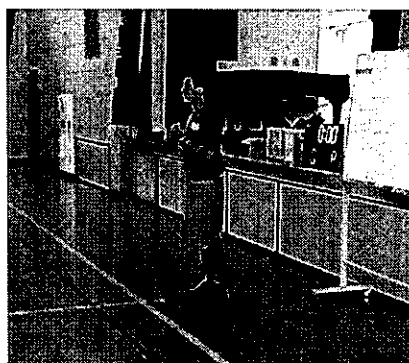
(1) 第1回教科等研 平成28年 5月18日（水） 鶴城中学校

・会員確認 ・研究組織編成 ・役員選出 ・テーマ決定 ・年間計画

(2) 第2回教科等研 平成28年 7月21日（木） 不知火中学校

・バドミントン実技講習会

講師 中本 武蔵 教諭(不知火中学校)



・年間計画に基づいた活動の実施

(3) 授業研指導案検討会

平成28年11月 8日(火) 松橋中学校

(4) 第3回教科等研

平成28年11月17日(木) 砥用中学校

授業者 齋藤 達也 教諭(砥用中学校) 「ハードル走」



(5) 熊本県学校体育研究発表大会(菊池郡市)

平成28年11月25日(金) 菊池市立旭志中学校

特別講演 演題「スポーツ指導に生かすスポーツビジョン ～その理論と実践～」

講師 吉井 泉 氏(大阪府立大学高等教育推進機構健康科学 准教授)

公開授業 球技「サッカー」、武道「剣道」

## 5 研究の概要

宇城郡市では昨年度まで研究を続けてきた「スキルウォームアップ」「言語活動」「指導と評価の一体化」に加えて、「見通しと振り返りを持たせる工夫」「グループ学習」を研究していくことが重要と考え、実践を深めてきた。スキルウォームアップでは技能の基礎・基本を高めることはもちろんのこと、体力の向上を図るようにした。

また技能習得につながる「言語活動」や「グループ学習」が活発になるような工夫を行った。さらに「思考力・判断力・表現力」はぐくむために有効な見通しの持たせ方、振り返りの時間の充実を図るようにした。

学習カードの活用、掲示資料などを工夫することで、生徒の意欲喚起につなげられるようにした。

## 6 まとめ

一昨年度、宇城郡市で開催させていただいた熊本県中学校保健体育研究発表大会の研究内容をより深めていくことで、教師が各領域における授業作りに見通しを持って展開を考えたり、指導と評価をスムーズに進めることができるようになってきている。

また教具の工夫・改善、グループ学習を活性化するために必要なアドバイスポイントを意識させるための工夫についても研究を深めることができた。

今後も体力向上はもちろんのこと、保健体育の授業に高い関心・意欲を持ち、めあてを持って積極的に活動できる生徒の育成をしていくことを意識し、授業の工夫・改善を継続していきたい。

## 1 はじめに

八代中体研は、塚副徹会長（第一中学校）のもと18校、計32名で研究を進めている。今年度も「豊かななかかわり合いの中で、主体的に運動に取り組む生徒」を育成していくために、授業研究会や実技研修会、日頃の情報交換等を通して「運動の楽しさが広がる単元づくり」や「効果的なかかわり合いを促す教師の働きかけ」等について協議しながら、授業実践力向上に努めている。

## 2 研究テーマ

「豊かななかかわり合いの中で、主体的に運動に取り組む生徒の育成」

## 3 研究組織

会 長 塚副 徹（第一）  
副 会 長 田上義明（鏡）  
理 事 長 星田章広（第一）  
副理事長 高松明美（千丁） 久保田義久（第五）  
書 記 土綿康宏（坂本）  
会 計 上田隆弘（第一）

## 4 活動状況

### 4月 臨時研究委員会

【会 場】 第一中学校

【内容等】 研究組織作り 年間計画立案 等

※熊本地震の影響により全体での研究会が中止となったため、臨時的に開催

### 5月 臨時教育研究会

【会 場】 第一中学校

【内容等】 今年度の活動方針について

### 10月 授業研究会内容検討会

【会 場】 第一中学校

【内容等】 八代教育研究会中学校保健体育部会の授業内容検討

### 11月 授業研究会指導案検討会

【会 場】 第一中学校

【内容等】 八代教育研究会中学校保健体育部会の指導案検討

### 11月 熊本県中学校保健体育研究発表会

【会 場】 菊池市立旭志中学校及び旭志体育館

【内容等】 公開授業，講演

1 2月 八代教育研究会中学校保健体育部会

【会 場】 第一中学校

【内容等】 研究授業「3年生 陸上競技（長距離走）」

授業者 第一中学校 上田隆弘 教諭



走っている仲間に声をかける



話し合いながらカードを記入

2月 八代教育研究会中学校保健体育部会（実技講習）

【会 場】 鏡中学校

【内容等】 「バレーボール」

提案者 鏡中学校 前田卓也 教諭

年間反省と来年度の指向

## 5 研究の概要

主体的に運動に取り組んでいく生徒を育成していくために、八代中体研ではここ数年「豊かなかわり合い」に焦点を当てて研究に取り組んでいる。12月に行った研究授業においては、個別に取り組みがちの長距離走においても、多くのアドバイスや声掛け等の関わり合いがみられた。

## 6 まとめ

第一中学校の上田教諭が行った長距離走の授業研究会では、生徒が主体的に運動に取り組んでいくための手立てについて活発な議論がなされた。

- 単元計画を工夫し、タイムトライアルに向けて意欲的に活動する手立て
- 複数のコースを設定し、自分に合ったコースで練習に取り組む
- ペア学習を行い、ペアへの声掛けやアドバイスを積極的に取り入れる

生徒の実態を把握しながら教師が適切な内容を組み立てていくことは当然のことだが、生徒同士のかわり合いを活発にしていく手立てについて議論を深めていくことができた。また経験が豊富な先輩方からも多くのアドバイスをいただき、参加者全員の授業実践力向上につながった。

2月に行った実技研修会では、講師として鏡中学校の前田教諭がバレーボールを題材に研修を行った。

八代中体研では今後も授業研究会だけではなく、日頃の情報交換も密に行いながら、八代全体の中学生が主体的に運動に取り組み、なおかつ生涯にわたって豊かなスポーツライフを過ごしていくための実践力の育成につなげていきたい。

# 球磨人吉郡市中体研

研究理事長 久間 章弘

## 1 はじめに

人吉球磨中体研は、田代修会長を中心に体育担当者19名で活動を行っている。生徒数は各学校とも減少傾向にあり、12校中7校は体育担当者が1名の小規模校である。

昨年度までの取組で、実践的指導力の向上のために「学習カード」、「指導ことば」、「スキルウォームアップ」について研究を重ねてきた。今年度は、人吉球磨の実態や課題を踏まえ、「体力向上」を意識した授業づくりの工夫について、実践と振り返りを行った。

## 2 研究テーマ

人吉球磨体育研究会研究主題

「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」  
～「体力向上につながる学習展開の工夫をとおして～」

## 3 本年度の活動について

- (活動内容)
- ① 小中連携の研究授業を行う。(今年度は小学校担当)
  - ② 体力向上につながる授業づくりの工夫を計画し、実践する。
  - ③ 各学校の取組について、実践報告と協議を行う。

(活動の詳細) ① 隔年で小学校と中学校が研究授業を行っているが、今年度は小学校担当である。中学校の先生方にも積極的に参観してもらい、小学校での授業づくりの現状や小中連携についての意見交換の場となるようにする。

- ② 体力向上を最終的な目標にしたり、そこを目指す学習ではなく、学習展開を工夫することで、自然に体力を高めることができる取組に視点を当て、授業づくりを進める。体力向上のための実践が「苦しい」や「きつい」だけのものにならないよう、授業の目標を達成するための手だてとして、スムーズに主活動につなげられる実践を心がける。

- ③ 各学校で今年度取り組んだ授業実践についてレポートにまとめ、実践報告と協議を行う。地域の実態や学校規模に応じた取組の工夫など、成果と課題を出し合い、情報交換することで、今後の授業づくりを改善し、指導力の向上を図る。

(実際の活動)

### ○ 第1回研究会

- 【期 日】 6月6日(月) 14:00～  
【会 場】 人吉市立第一中学校  
【内 容】 ① 平成27年度事業報告  
② 研究組織・テーマについて  
③ 今後の研究推進について  
④ 指導助言

○ 第2回研究会(小中合同授業研究会)

【期 日】 11月16日(水) 13:30~

【会 場】 多良木町立多良木小学校

【内 容】 ① 研究授業

6年生

器械運動「マトリンピック」

授業者：山下 翠 教諭(多良木小学校)

② 授業研究会

小中学校の連携について

③ 指導助言

○ 第3回研究会

【期 日】 1月25日(水) 14:00~

【会 場】 あさぎり町生涯学習センター

【内 容】 ① 研究テーマについて

② 各学校の実践報告(班別協議、全体協議)

③ 研究のまとめと今後の研究について

④ 指導助言

#### 4 まとめ

現行の学習指導要領が全面実施となり、人吉球磨中学校体育研究会では、これまで自主研修会を実施し、趣旨や要点についてまとめ、体育分野と保健分野の単元計画構造図の作成してきた。そして、さらなる指導力の向上を目指して「学習カード」「指導ことば」「スキルウォームアップ」について研究を深めてきた。

今年度は、体力向上につながる学習展開の工夫について授業づくりの実践を重ね、まとめと振り返りを行った。各学校の実態に応じて、たくさんのアイデアや工夫した実践が行われ、情報を共有することができた。各学校の実践を通して見えてきた成果として、継続して実践できる環境作りが大事であることが挙げられる。体力向上の取組は、一朝一夕で成果を出せるものではなく、地道な取組が必要である。また、その内容が強制的であったり、自ら進んで取り組もうとする意志が十分でない場合、継続が難しいだけでなく、成果も挙がらない。大切なのは、主活動との関わりを通じた取組の工夫や、競争の原理や目標値を具現化させるなど、さまざまな手だての工夫である。それにより、一生懸命に体を動かすことが「おもしろい」と感じたり、自然と意欲的に取り組むことができるようになると思う。また、課題として環境や道具の問題、主活動とのバランスなどについても考える機会となった。授業以外の体力向上の実践についても情報交換できたので、各学校においては、次年度への参考になった。

小中連携の研究授業では、体育が専門でない女性教諭の授業実践を見せていただき、小学校の指導の現状を見ることができた。授業研究会では、小学校で意識して教えていることや、小中学校の連携に必要なことについて意見交換することができた。

今後は、次期学習指導要領への移行を視野に入れた研究に積極的に取り組み、指導力の一層の向上を目指していきたい。

1 はじめに

芦北水俣郡市中体研は、今年度から稲岡博信会長を中心に学校数8校、体育担当者10名で活動を行っている。8校中6校が体育担当者が1名ということで、小規模学校の割合が高い状況である。日頃の保健体育学習指導における各学校の課題や悩みについて意見交換できる場として、研究会の時間が価値あるものとなっている。本年度も少ない人数ではあるが、次の研究テーマのもと研究を深めている。

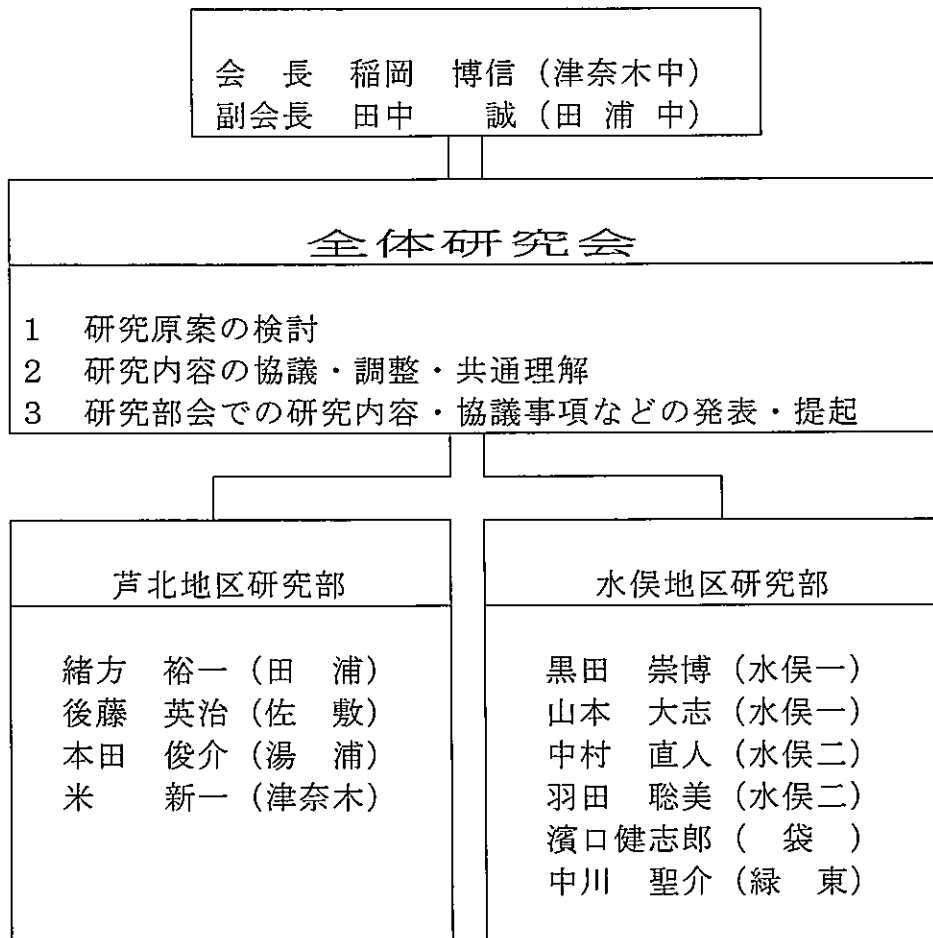
2 テーマ

「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり

健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」

～転移する知識・技能を活用し、探求していくグループ学習の構築をめざして～

3 活動組織





#### 4 本年度の活動計画

- 【会場】 津奈木中学校  
【内容】 (1) 役員選出 (2) 研究主題設定 (3) 年間研究計画の立案  
(4) 授業者決定

##### 《第2回研究会》

- 【期 日】 8月5日(金)  
【会 場】 田浦中学校  
【内 容】 (1) 講話  
「～転移する知識・技能を活用し、  
探求していくグループ学習の構築をめざして～」  
小国町立小国中学校 岩根 元 教諭

協議・質疑応答

- (2) 指導案検討(球技)  
(水俣市立袋一中学校 濱口 健志郎 教諭)  
(3) 体育実技講習会(13:30～16:00)  
\*ゴール型:米(津奈木中)

##### 《第3回研究会》

- 【期 日】 11月18日(金)  
【会 場】 袋中学校  
【内 容】 (1) 研究授業  
第3学年 球技「ゴール型」(サッカー)  
授業者:濱口 健志郎 教諭(水俣市立袋中学校)  
(2) 授業研究会  
(3) まとめ

##### 《平成28年度熊本県中学校保健体育研究発表大会への参加》

- 【期 日】 11月25日(金)  
【会 場】 菊池市立旭志中学校  
\*公開授業、分科会  
【内 容】 研究授業、授業研究会、特別講演

#### 5 まとめ

今年度も新学習指導要領に基づいた学習指導の研究を行ってきた。特に、第2回研究会では、熊本県中学校体育研究会理事長岩根先生より「～転移する知識・技能を活用し、探求していくグループ学習の構築をめざして～」という演題で、今年度の熊本県中学校体育研究会の方向性について説明をいただいた。

第3回研究会では、球技「ゴール型」サッカーを行い、準備運動では様々なボールタッチを行い、体をほぐすと同時にボール操作を高めるための運動も取り入れられていた。また、技能の習得については、サッカー部が模範演技を見せたり、兄弟班を作り、互いの活動状況を教え合うなど、学習形態に工夫が見られた。今後は、女子のグループにはサッカー経験者を入れて活動を行ったり、ICT等を効果的に活用し細かい動きを確認したりして、技能習得に寄り効果的な学習活動を取り入れて行きたい。

## 1 はじめに

天草郡市中体研は、20校・25名の保健体育担当教師で構成され、小・中学校体育授業研究大会や小・中学校体育実技研修会を柱に小体研と連携した活動を進めてきた。天草教育研究所体育部門と郡市中体研の活動を平行しながら研究活動を推進している。

## 2 研究テーマ

### 研究主題

「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育む保健体育授業の在り方を目指して」

～できる、かかわる、伸びる楽しさを味わえる保健体育の授業づくりを通して～

## 3 研究組織

### <天草教育研究所>

- 体育部門会長（川崎 卓中体研会長：阿村中）
- 体育部門副会長（平田 直小体研会長：佐伊津小）
- 体育部門研究委員
  - ・中体研理事（平田徳保：新和中）・中体研副理事（森 健一：牛深中）

### <天草郡市中体研研究組織>◎・・・チーフ

- 会 長 川崎 卓（阿村中）
- 副 会 長 田中新作（大矢野中） 桑野 和久（倉岳中）
- 授業研究部（授業研究会・体育実技講習会など）
  - ◎平田徳保（新和中）、梅北 勇樹（稜南中）、金子 大（稜南中）
- 評価研究部（評価規準・小中合同実技研修会など）
  - ◎矢住征規（苓北中）、永野 勝也（姫戸中）、大田 侑典（河浦中）

## 4 活動状況

- 5 / 2 第1回県評議員会及び第1回県理事長会
- 5 / 6 第1回郡市評議員会及び第1回中体研総務理事会
- 5 / 30 第2回郡市中体研総務理事会
- 7 / 29 県中体研理事長会及び研修会
- 8 / 25 第4回郡市中体研総務理事会（県中体研理事長会報道）
- 11 / 15 第2回天草郡市小中合同体育研究会（大会日程等の検討）
- 11 / 25 熊本県学校体育研究発表大会（7名参加）
- 12 / 27 小学校指導案検討（小中合同での検討会を実施）
  - 1 / 27 平成28年度 天草教育研究所「体育部門」授業研究会（20名参加）  
授業者：瀧上 佑紀 学校：志岐小学校教諭 器械運動：マット運動
- 2 / 17 第2回天草郡市評議員会（年間反省及び次年度への展望）

## 5 研究の概要

＜平成30年度 熊本県中学校保健体育研究発表大会天草大会に向けて＞

天草の実態を把握するために、平成27年度・平成28年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査を天草郡内全ての中学校からデータを収集し分析を行っている。「運動に対する意識」と「体力の関係」や「体育の授業」についての関連性などクロス集計を行い、様々な視点から実態を把握し天草の課題を絞り込む研究を行っている。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の報告書を読み込み、データの活用方法や改善のためのアイデアを学び、研究構想に役立てたいと考えている。定期的に同様の調査を行い、修正しながら研究の実践を積んでいきたい。

＜平成28年度 天草教育研究所「体育部門」授業研究会＞

天草教育研究所の体育部門では、小学校と中学校の体育研究会を合同で運営しており、通常は交互に授業研究会を行っている。（合同発表の年もある）本年度は小学校が担当の年で、5年生の器械運動（マット運動）の授業研究会が実施された。小中合同で行うため、小学校から中学校への接続について連携を深めることができている。また、指導案の検討の段階から小中合同で行い、異校種ならではの幅広い視点から授業作りが行われている。発表会当日も、単元のゴールの設定の仕方や交流の場を確保するための評価セッションの設定について議論がなされた。

### ○ その他の研究活動

- (1) 指導案検討会の実施
- (2) 小体研との連携強化
- (3) 熊本県版資料掲載「保健体育実技の本」「保健体育ノート」の購入と活用を推進
- (4) 天草保健体育サークルの推進
  - ・事務局：平田徳保（新和中）※メールで連絡
  - ・毎月2回（基本：第1・3水曜日）夏時間 20:00～冬時間 19:30～ 稜南中にて
  - ・内容（中体研活動、保健体育授業全般、指導案検討、体育的行事、部活動など）

## 6 まとめ

本研究会では、平成30年度の熊本県中学校保健体育研究発表大会天草大会の開催に向け準備を進めている。次年度から研究実践に移るため、研究構想や研究組織作りなどの最終段階を調整している。天草は小規模校が多く、学校によってはその年ごとに子ども達の実態が大きく異なることがあり、研究仮設の設定に時間がかかっている。発表のための研究ではなく、研究の成果が誰にでも活用できるような発表会を目指している。この発表会をよい機会と捉え、天草の保健体育教師の技量が向上し、天草の生徒がより豊かな授業を受け、将来につなげていくためにも、これからも「天草は一つ」を合言葉に、保健体育担当者の授業に対する熱意を結集して、研究テーマを具現化できる授業づくりに取り組んでいきたいと思う。

## 7 熊本県中学校体育研究会のあゆみ

### 熊本県中学校体育研究会沿革の概要

H29.3 作成

年 月 日	沿 革 の 概 要
37.	第一回 九州中体研・研究発表会 於熊本商科大学（小・中・高合同）
39. 1.	熊本県中体研・研究発表大会 於熊本市立京陵中学校
39. 2.	同 上 於山鹿市立山鹿中学校
40. 12.	同 上 於熊本市立竜南中学校（小・中・高合同）
41. 1. 19 20	熊本県中体研・研究発表大会 於八代市立第三中学校 研究主題「小学校・中学校・高等学校の関連の上において体育の技能を高めるにはどうしたらよいか」 公開授業 器 械分科会 八代小学校 授業者 田原 道德教諭（八代四中） 球 技分科会 八代三中 “ 高野寿賀雄教諭（八代三中） リズム分科会 八代一中 “ 有田 栄子教諭（八代三中） 研究発表 北部地区 玉名郡長洲中学校 中島正土教諭「砲丸投げの効果的指導法について」 中部地区 熊本市立江原中学校 上野虎幸教諭 「格技における剣道の効果的指導はどのようにしたらよいか」 八代地区 八代郡中央中学校 木山知一教諭「自由時における体力づくり」 南部地区 水俣市立水俣第一中学校 中元敏行教諭「トレーニングの効果と問題点」 講演：東京教育大 宇土 正彦教諭 「幼・小・中学校における系統的な指導はどのように考えたらよいか」
42. 12.	熊本県中体研・研究発表大会 於熊本市立湖東中学校 研究主題「中学校における体育計画と運営管理はどのようにすればよいか」
43. 12.	熊本県中体研・研究発表大会 於熊本市立湖東中学校（小・中・高合同）
44. 11.	九州中体研・研究発表大会 於熊本市立湖東中学校
45. 10. 28	県中体研・研究発表大会 於鹿本大道中学校 研究主題「全体計画の確立と自主性を高めるための学習指導」 研究授業 バスケットボール 児玉 光明教諭（菊鹿城北中） 器 械 運 動 国友 直教諭（菊鹿内田中）
45. 10. 28	研究発表 「全体計画の管理と運営」倉光 松男教諭（菊池合志中） 「健康安全生活の習慣化と体位・体力の向上のために「体育」の全体計画や指導はどのようにすればよいか」 栄永 賢一教諭（水俣一中） 「体育の全体計画と運営～特に全校体育から～」田尻 浩教諭（熊本帯山中）

年 月 日	沿 革 の 概 要																
46. 10. 20	<p>熊本県中体研・研究発表会 於小川町立益南中学校</p> <p>研究主題「自主性を高めるための効果的学習指導」</p> <p>研究授業</p> <table border="0"> <tr> <td>保健</td> <td>2年安全な生活</td> <td>山下</td> <td>一教諭 (小川益南中)</td> </tr> <tr> <td>体育</td> <td>2男器械運動・体操</td> <td>吉田</td> <td>正教諭 ( " )</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>2女バスケットボール・体操</td> <td>平井</td> <td>徳子教諭 ( " )</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>1男陸上競技・体操</td> <td>橋本</td> <td>寿一教諭 ( " )</td> </tr> </table> <p>研究発表</p> <p>「陸上競技の効果的指導」 里木 茂教諭 (八代三中)</p> <p>「移行措置をふまえた効果的なサッカー指導」中尾 昭南教諭 (天草本渡中)</p> <p>「移行期における保健学習の取扱についての一考察」 内田 隆教諭 (上益城甲佐中)</p> <p>講演 熊大教養部 西岡 寅雄教授</p> <p>「体育学習上の問題点」</p>	保健	2年安全な生活	山下	一教諭 (小川益南中)	体育	2男器械運動・体操	吉田	正教諭 ( " )	"	2女バスケットボール・体操	平井	徳子教諭 ( " )	"	1男陸上競技・体操	橋本	寿一教諭 ( " )
保健	2年安全な生活	山下	一教諭 (小川益南中)														
体育	2男器械運動・体操	吉田	正教諭 ( " )														
"	2女バスケットボール・体操	平井	徳子教諭 ( " )														
"	1男陸上競技・体操	橋本	寿一教諭 ( " )														
47. 10. 17 18	<p>熊本県中体研・研究発表大会 於熊本市錦ヶ丘中学校 (小・中・高合同)</p> <p>研究主題「効果的な保健体育の学習指導」</p> <p>研究授業</p> <table border="0"> <tr> <td>体操・器械運動 (マット・とび箱運動)</td> <td>許田 重治教諭 (熊本錦ヶ丘中)</td> </tr> <tr> <td>保健・環境の衛生 (飲料水と水の浄化法)</td> <td>赤崎 輝男教諭 ( " )</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール・体操</td> <td>太田黒征支教諭 ( " )</td> </tr> </table> <p>研究発表</p> <p>「体操の効果的指導はどのようにすればいいか」 都筑慶二郎教諭 (熊本城南中)</p> <p>「体操の効果的指導はどのようにすればいいか」 馬淵 陸輝教諭 (飽託北部中)</p> <p>「保健学習における実践実習の効果的な指導」</p> <p>講演 順天堂大学 太田 哲男教授</p> <p>「自主性を高める体育学習の指導」</p>	体操・器械運動 (マット・とび箱運動)	許田 重治教諭 (熊本錦ヶ丘中)	保健・環境の衛生 (飲料水と水の浄化法)	赤崎 輝男教諭 ( " )	バスケットボール・体操	太田黒征支教諭 ( " )										
体操・器械運動 (マット・とび箱運動)	許田 重治教諭 (熊本錦ヶ丘中)																
保健・環境の衛生 (飲料水と水の浄化法)	赤崎 輝男教諭 ( " )																
バスケットボール・体操	太田黒征支教諭 ( " )																
48. 10. 24	<p>熊本県中体研・研究発表大会 於菊池市立菊池北中学校</p> <p>研究主題「効果的な保健体育の学習指導」</p> <p>副 題「自主性を伸ばす学習指導はどのように進めたらよいか」</p> <p>(イ) グループ学習の進め方</p> <p>(ロ) 教育器材 (教材教具) の使い方利用法</p> <p>(ハ) 一人ひとりを伸ばす学習の進め方</p> <p>研究授業</p> <table border="0"> <tr> <td>バスケットボール</td> <td>古田 憲雄教諭 (菊池北中)</td> </tr> <tr> <td>陸 上 競 技</td> <td>高野 勝子教諭 ( " )</td> </tr> <tr> <td>保 健</td> <td>山下 桂一教諭 ( " )</td> </tr> </table> <p>研究発表</p> <p>「バレーボール指導の一考察」 橋本 尚教諭 (阿蘇長陽中)</p> <p>「主体性を伸ばすバレーボールの指導」 赤峰 洋次教諭 (菊池泗水中)</p> <p>「性に関する保健学習 (内分泌腺) の指導」 本山 健一教諭 (玉名南関北中)</p>	バスケットボール	古田 憲雄教諭 (菊池北中)	陸 上 競 技	高野 勝子教諭 ( " )	保 健	山下 桂一教諭 ( " )										
バスケットボール	古田 憲雄教諭 (菊池北中)																
陸 上 競 技	高野 勝子教諭 ( " )																
保 健	山下 桂一教諭 ( " )																

年 月 日	沿 革 の 概 要
48. 10. 24	講演 熊大教養部 西岡 寅雄教諭 「中学校期における体育の生理的効果について」
49. 12. 6 7	熊本県中体研・研究発表大会 於本渡市立本渡中学校 研究主題「効果的な保健体育の指導法」 副 題「進んで考え実践する学習を求めて」 研究授業 ジャズ体操 国松 順子教諭（天草下浦中） 器械体操 小林 伸一教諭（天草亀川中） 陸上競技 高橋 忠男教諭（天草本渡中） 保 健 岡部久仁子教諭（天草本渡中） 研究発表 「陸上競技の効果的指導の一考察」 奥村 治郎教諭（大多尾中） 「陸上競技の効果的な指導法」 上水富美雄教諭（津奈木中） 講演 文部省教科調査官 山川岩之助
50. 12. 10	熊本県中体研・研究発表大会 於飽託郡北部中学校（小・中・高合同） 研究主題「効果的な保健体育の学習指導」 研究授業 柔道・剣道 立山 靖夫教諭（飽託北部中） 器械運動（平均台） 土山美智子教諭（飽託北部中） 研究発表 水 泳 井形 端教諭（熊本帯山中） バスケットボール 許田 重治教諭（熊本錦ヶ丘中） 講演 熊大教育学部 金守 新一教授
51. 11. 2	熊本県中体研・研究発表大会 於阿蘇郡一の宮中学校 研究主題「進んで実践する学習をめざして」 研究授業 陸上競技（障害走） 松野 孝雄教諭（阿蘇久木野中） 格 技（剣 道） 藤本 正則教諭（阿蘇高森中） 球技（バスケットボール） 佐藤 安生教諭（阿蘇波野中） 保健（国民の健康） 河津 詔子教諭（阿蘇小国中） 研究発表 「楽しいバレーボールの指導」 田原 貞彦教諭（玉名南関北中） 「生活化をめざした長距離走の指導」 相馬 将末教諭（菊池菊陽中） 「進んで実践する剣道学習をめざして」 福永 浩平教諭（鹿本菊鹿中） 分科会提案者 陸上分科会 南部 康雄教諭（荒尾二中） 格技分科会 有働 忠教諭（鹿本五霊中） 球技分科会 松尾 元史教諭（玉名南関南中） 保健分科会 山下 桂一教諭（菊池北中）

年 月 日	沿 革 の 概 要
51. 11. 2	講演 東京学芸大学 矢野 久英教授 「すすんで実践する体育学習をめざして」
52. 11. 29 30	第 16 回全国学校体育研究大会 於熊本市 錦ヶ丘中・出水中・湖東中・白川中 城南中・西山中 研究主題「進んで実践する体育学習をめざして」 研究授業 錦ヶ丘中 器械運動 許田 重治教諭（錦ヶ丘中） 出水中 バレーボール 田中 司教諭（出水中） 湖東中 バasketボール 岡田 克之教諭（湖東中） 白川中 ダンス 高野登美子教諭（白川中） 城南中 陸上競技 上野 長利教諭（城南中） 西山中 サッカー 藤野 健一教諭（西山中） 研究提案 「マット運動の連続技作りを通して」 大島雄二郎教諭（鹿本中） 「ゲームにつながるパス指導」 前田 司教諭（大豊中） 「興味を持ってBasketボールに取り組む意識向上をはかる基礎技術与え方」 「動きの多様性を知らせるためにはどのような指導をしたらよいか」 楠 都美子教諭（八代四中） 「一人ひとりの能力をいかすりレー学習について」 岡部 富雄教諭（有明西中） 「みんなで協力してボールを運びあうサッカーをめざして」 遠山 和美教諭（泉 中） 講演 広島大学 飯島 宗一教授 「体育と文化」 九州各県研究発表 「楽しいバレーボールの授業を目指して」 福岡県 柳田 勝美教諭 「全体体育における体力づくりのあり方を求めて」 長崎県 米田礼次郎教諭 「一人ひとりが自ら進んで学習に取り組みより確かな学習成果を得るためにどのような手立てがなされるべきか」 鹿児島県 早田 克彦教諭 「グループ学習を通して意欲を高め生活化をめざしたBasketボール学習の一考察」 熊本県 佐藤 安生教諭
53. 11. 2	熊本県中体研・研究発表大会 於宇土郡三角町立青海中学校 研修主題 「進んで実践する体育学習をめざして」 副 題 「体力作りの自主的実践活動をどのよう高めるか」 公開授業 学級指導 私の体力づくり 小山 英昭教諭（青海中）

年 月 日	沿 革 の 概 要
53. 11. 2	<p>学級指導 私の体力づくり 山口 圭子教諭 (青海中)</p> <p>体 育 陸 上 競 技 上野 篤弥教諭 ( " )</p> <p>体 育 バスケットボール 寺川 揖子教諭 ( " )</p> <p>学級会活動 全校体育について考えよう 千葉崎圀児教諭 ( " )</p> <p>学級指導 全校体育について考えよう 宮本 幸吉教諭 ( " )</p> <p>研究発表</p> <p>「体力づくりの自主的実践活動をどのように高めるか」</p> <p style="text-align: center;">上川 隆雄教諭 上野 篤弥教諭 (青海中)</p> <p>「持ち点制による保健体育の効果的指導」 入江 正明教諭 (住吉中)</p> <p>「体力差に応じた短距離走指導の一考察」 小田 定則教諭 (湯前中)</p> <p>「水泳の初心者指導について」 千原 功一教諭 (湯出中)</p> <p>「一人ひとりが楽しんで参加する授業をめざして」 (紙面発表)</p> <p style="text-align: right;">坂井公一郎教諭 (白糸中)</p> <p>講演 学研編集長 南 治夫</p> <p>「指導要領の改訂と移行措置」</p>
54. 11. 6	<p>熊本県中体研・研究発表大会 於玉名郡岱明町立岱明中学校</p> <p>研究主題 「進んで実践する体育学習をめざして」</p> <p>公開授業</p> <p>保 健 大跡 弘道教諭 (岱明中)</p> <p>陸上競技 松尾 修教諭 ( " )</p> <p>ダンス 真田 晴美教諭 ( " )</p> <p>研究発表</p> <p>「バレーボールにおける技能を高めるための指導方法」</p> <p style="text-align: right;">田島 光枝教諭 (荒尾二中)</p> <p>「シュートに結びつくサッカーを目指して」 前川 隆道教諭 (山鹿中)</p> <p>「楽しいマット運動をめざして」 米良 隆夫教諭 (菊陽中)</p> <p>「三種競技を生かした陸上競技の指導」 光永 功教諭 (阿蘇中)</p> <p>特別講演</p> <p>「生涯スポーツとのかかわりをふまえて」</p> <p>講師 大阪教育大学教授 島崎 仁</p> <p>11. 18 第 18 回九州地区学校体育研究発表会 (鹿児島大会)</p> <p>～19 口頭発表</p> <p>「シュートに結びつくサッカーを目指して」 前川 隆道教諭 (山鹿中)</p>
55. 10. 28 29	<p>(第 5 回)</p> <p>熊本県学体研・研究発表大会 於熊本市立帯山中学校、全体会、県立図書館</p> <p>研究主題 「主体的に創造し、自主的に実践する体育学習をめざして」</p> <p>副 題 ～すすんで実践する体育学習～</p> <p>公開授業</p> <p>柔 道 城 英志教諭 (帯山中)</p>



年 月 日	沿 革 の 概 要
55. 10. 28 29	<p>ダンス 中学校体育女子部会 器械運動 井形 靖教諭 (帯山中)</p> <p>研究発表 「すすんで実践する柔道の指導をめざして」 菅野 哲雄教諭 (京陵中) 「誰にでもできるダンスの指導」 田中 和子教諭 (三和中) 大寫エイ子教諭 (出水中) 「側転を中心としてマット運動の連続技づくり」 長野 寛教諭 (楠 中)</p> <p>全体会研究発表会 「長距離走における一人ひとりの能力を伸長するための一考察」 荒木 茂教諭 (本渡中)</p> <p>講演「体育教師に期待するもの」 講師 東京農工大教授 武笠 康雄</p>
56. 11. 17	<p>熊本県中体研・研究発表大会 於人吉市立第一中学校 研究主題「すすんで実践する体育学習をめざして」 公開授業 陸上競技 杉元 覚教諭 (人吉一中) 体 操 廣田 高光教諭 (人吉二中) ダンス 野田 春美教諭 (錦 中)</p> <p>研究発表 「走り高跳びの安全且つ、効果的な指導はどのようにしたらよいか」 ～ 背面跳びについて考える ～ 福海 正隆教諭 (砥用東中) 「陸上競技における障害走の効果的な指導の一考察」 ～ グループ活動を通しての実践 ～ 本田 邦生教諭 (津奈木中) 「剣道の特性に基づく小道具を使った効果的な学習指導について」 松岡 洋典教諭 (坂本中)</p>
57. 11. 19	<p>熊本県中体研・研究発表大会 於山鹿市立山鹿中学校 研究主題「進んで実践する体育学習をめざして」 公開授業 剣 道 福永 浩平教諭 (鹿北中) 陸上競技 徳本 則康教諭 (山鹿中) バスケットボール 皆本秀一郎教諭 (鹿南中)</p> <p>研究発表 「柔道の初歩的段階で安全面に重点をおき、楽しい学習をさせるには、どうしたらよいか」 高木 英俊教諭 (長洲中) 「バトンパスの技能を高め合うための指導」 東 隆正教諭 (菊池北中) 「バスケットボール (ショット) の効果的な指導について」 吉岡 道男教諭 (阿蘇中)</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
57. 11. 19	<p>「楽しい柔道の授業をめざして（1年生）」紙上発表  西山 邦彦教諭（荒尾四中）</p> <p>講演  「生涯体育の中での中学校体育の在り方について」  講 師 筑波大学助教授 佐伯 聡夫</p>
58. 10. 27 28	<p>熊本県学体研・研究発表大会 全体会 熊本県庁地下大会議室  分科会 御船町立御船中学校</p> <p>研究主題 「主体的に創造し、自主的に実践する体育学習」  副 題 ～すすんで実践する体育学習～</p> <p>公開授業  陸上競技 本田 英躬教諭（甲佐中）  柔 道 豊田 修治教諭（浜町中）  保 健 岡田みつよ教諭（木山中）</p> <p>研究発表 楽しさをめざすバレーボールの授業 木元一幸教諭（鏡中）  グループ学習を通して生徒が取り組む問題解決の学習はどのようにすればよいか  ～バスケットボールを通して～ 皆本秀一郎教諭（鹿南中）</p>
59. 11. 2	<p>熊本県中体連・研究発表 於荒尾市立第二中学校</p> <p>研究主題 「主体的に創造し、自主的に実践する体育学習をめざして」  副 題 「課題をもち、すすんで実践する体育学習」</p> <p>研究発表  「障害走を段階的に目標設定し、生徒が意欲的に取り組む効果的な指導法と工夫」  下城 基宏教諭（小国中）  「集団的スポーツ領域における教授プログラムの検討」  佐藤不二夫教諭（西合志中）  「資料を効果的に活用した保健学習の研究」 鎌田のり子教諭（長洲中）  「グループ学習を通して、生徒が主体的に創造的に取り組む問題解決の学習はどのよ  うにすればよいか」 皆本秀一郎教諭（鹿南中）</p> <p>公開授業と授業者  陸上競技 中村 武雄教諭（荒尾二中）  球技（バスケットボール） 田島 光枝教諭（荒尾三中）  保 健 徳永 迪子教諭（荒尾五中）</p> <p>特別講演 「そだてる」  講 師  國學院高校教諭、全日本体操協会ジュニア競技会常務理事 荒川みゆき</p>
60. 11. 1	<p>熊本県中体研・研究発表大会 於熊本市立西山中学校</p> <p>研究主題 「生涯教育を指向し、自主的に実践する体育学習をめざして」  副 題 「課題をもち、意欲的に実践する体育学習をめざして」  陸上競技 課題をもち、意欲的に実践する陸上競技をめざして  上妻 正義教諭（城南中）</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
60. 11. 1	<p>球 技 課題をもって楽しく取り組むバスケットボールの授業を求めて 千原 功一教諭 (楠 中)</p> <p>ダンス 課題をもって楽しく取り組むバスケットボールの授業を求めて 植田 鷹子教諭 (楠 中) 古城 啓子教諭 (三和中)</p> <p>特別講演 「課題をもち、意欲的に実践する体育学習をめざして」 講 師 山口大学教授 中村 敏雄</p> <p>公開授業 陸上競技 (走り高跳び) 畠山 篤教諭 (西山中) 球 技 (バスケット) 土田 好次教諭 ( " )</p>
61. 11. 6 7	<p>第 25 回九州地区学校体育研究発表大会 於熊本市立楠中学校・熊本市市民会館</p> <p>研究主題 「生涯教育を指向し、自主的に実践する体育学習をめざして」 副 題 「課題をもち、意欲的に実践する体育学習をめざして」</p> <p>公開授業 ダンス 植田 鷹子教諭 (楠 中) バスケットボール 千原 功一教諭 ( " )</p> <p>研究発表 ○自主的、意欲的に学習に取り組む生徒の育成 ～集団スポーツ (バレーボール) の指導をとおして～ 横尾 嘉憲 (佐賀県大楠中)</p> <p>○中学校における望ましい格技 (剣道) 指導はどうあればよいか ～一人ひとりの意欲を高める学習を求めて～ 衛藤 憲司 (大分県大野中)</p> <p>○生涯体育を指向し、自主的に実践する体育学習をめざして ～水泳の授業をとおして～ 宮田 育俊 (宮崎県広瀬中)</p> <p>○生徒が意欲的、主体的に取り組む学習指導 ～陸上競技の種目内選択制授業を中心にして～ 比嘉 秀勝 (沖縄県安慶田中)</p> <p>特別講演 耐えて勝つ私の野球人生 講 師 元広島東洋カープ監督 古葉 竹識</p>
62. 10. 29	<p>熊本県中体研・研究発表 於芦北佐敷中学校 佐敷町社会教育会館</p> <p>研究主題 「生涯教育を指向し、自主的に実践する体育学習をめざして」 副 題 「課題をもち意欲的に実践する体育学習をめざして」</p> <p>研究発表 陸上競技 一人ひとりが課題を見つけ、自主的に解決していくための学習指導と評価 はどうあるべきか ～障害走を通して～ 人吉三中 西 龍三郎教諭</p> <p>格 技 柔道学習の意欲を高めさせる手だて 八代一中 麦田 康利教諭</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
62. 10. 29	<p>保 健 健康と公害の関わりを知り、私たちの生活を考える保健学習 千丁中 小松富美子</p> <p>特別講演 「スポーツの魅力とは」 講 師 鹿屋体育大学講師 田口 信教</p> <p>公開授業 陸上競技(障害走) 宮田 薫教諭(佐敷中) 格 技(柔 道) 田中 誠也教諭(田浦中) 保 健(病気とその予防) 徳淵 盛也教諭(袋 中)</p>
63. 10. 20	<p>熊本県中体研・研究発表 於阿蘇郡一の宮中学校</p> <p>研究主題 「生涯体育を指向し豊かな人間性を育成する体育学習をめざして」 副 題 「一人ひとりが興味を持って意欲的に取り組む学習をめざして」</p> <p>研究発表 格 技 「意欲的に取り組む柔道学習をめざして」 玉名中 中尾 昭南教諭 陸 上 「効果的なバトンパスの手だてについて」 五霊中 豊田 修治教諭 保 健 「応急処置実習授業における教科教具の研究」 荒尾一中 村上 雅彦教諭 水 泳 「生涯一人ひとりが個人の能力に応じて意欲的に実践できる水泳指導について」(誌上) 菊阿中 井川 雄一教諭</p> <p>特別講演 「生涯スポーツを指向し、豊かな人間性を育成する体育学習」 講 師 東京学芸大学 永島 惇正</p> <p>公開授業 陸上競技(長距離走) 松野 孝雄教諭(白水中) 格 技(柔 道) 川口誠一郎教諭(西原中) 保 健(救急処置) 坂梨 正文教諭(阿蘇中)</p>
H1. 12. 7 8	<p>熊本県中体研・研究発表大会 7日 全体会場 県庁地下会議室 8日 中学部会 熊本市立井芹中学校</p> <p>研究主題 「生涯体育を指向し、発達段階に応じた体育学習の推進をめざして」 副 題 「わかる、できる、教え合う体育学習の推進をめざして」</p> <p>研究発表 全体 器 械 「わかる、できる、教え合うマット運動の授業の推進」 西原中 許田 重治教諭</p> <p>部会 バレーボール 「初歩的段階での集団技能習得のための具体的な手だて」 ～ホールディングバレーボール～ 京陵中 土田 好次教諭</p> <p>陸 上 「生徒が意欲的に取り組む障害走の効果的な指導法」 ～スピードを落とさず、リズムカルに生涯を通過するには 天明中 山本 信祐教諭</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
H1. 12. 7 8	特別講演 「新指導要領とその動向」 講 師 駿河台大学教授 梅本 二郎 公開授業 器械（マット運動） 松山 禎一教諭（井芹中）
2. 12. 5	熊本県中体研・研究発表大会 於八代第一中学校 研究発表 「生涯体育を指向し、豊かな人間性を育成する体育学習の推進をめざして」 副 題 「一人ひとりが喜び、楽しみ、高めあう保健体育学習をめざして」 研究発表 剣 道 「生徒自らが、意欲的に取り組む運動の学習指導とその評価はどうあるべきか」 桑原 弘幸（球磨中） 体力作り「自らすすんで体力づくりに励み、心身ともに健康な倉中生の育成」 境 吉親（倉岳中） 保 健 「生徒自ら意欲的に取り組む保健学習」 草場 博志（大矢野中） 岩村 龍児（小川中） 特別講演 「チャンピオンの条件」 講 師 全日本柔道監督 上村 春樹 公開授業 武 道（柔道） 上水富美雄教諭（八代四中） バレーボール 吉田 真弓教諭（八代一中） 保 健（健康と環境） 村橋 勝記教諭（八代二中）
3. 10. 23	第 29 回 熊本県中学校保健体育研究発表大会 於菊池郡七城町運動公園 研究主題 「生涯体育を指向し、豊かな人間性を育成する体育学習の推進をめざして」 副 題 「一人ひとりが課題意識を持ち、協力し、意欲的に高め合う保健体育学習をめざして」 研究主題 菊池郡市中学校体育研究会 誌上発表 「選択授業へ向けて」 荒尾一中教諭 西田 耕陽 「移行期における年間計画」 玉名中教諭 中山 直幸 「自ら進めるソフトボール学習」 鹿本郡市中学校体育研究会 「個人差を考えた、障害走の指導法」 波野中教諭 中尾 隆博 「発達段階に応じた技能で、自らめあてを持ち、班活動を通して自他の技術を高め、楽しくゲームをするバレーボールの学習をめざして」 菊池郡市中体研バレーボール研究班 「生徒一人ひとりが自ら生活行動の変容をめざす保健学習」 菊池郡市中体研保健学習研究班 特別講演 「新学習指導要領における具体的な展開のあり方」 講 師 東京都台東区御徒中学校校長 池田 漑 公開授業 「球技」ソフトボール・テニス 本山 雄治教諭（七城中） 「球技」卓球・バドミントン 内田 晴龍教諭（七城中）
3. 11. 7 8	第 30 回全国学校体育研究発表大会（大分県大会） 口頭発表 「陸上競技と器械運動の選択学習をどのようにすればよいか」 熊本市立東部中学校 教諭 古田 憲雄

年 月 日	沿 革 の 概 要
4. 11. 18 19	<p>第 8 回 熊本県学校体育研究発表大会 18 日 全体会場 県庁地下大会議室 19 日 公開授業 県立第二高校</p> <p>研究主題 「生涯体育を指向し、発達段階に応じて自主的に実践する体育学習を目指して」 副 題 「自ら課題に進んで取り組む体育学習 ～楽しさから充実～」 研究発表 「一人ひとりの活動を大切にし、確かな力が育つ体育実践」 ～体操領域の授業実践を通して～ 熊本市立慶徳小学校教諭 長野 了一 熊本市立砂取小学校教諭 稲津 悟 熊本市立井芹中学校教諭 松山 禎一</p> <p>「自ら課題に進んで取り組む体育学習」 ～楽しさから充実～ 熊本市中学校体育研究会サッカー部会代表 熊本市立花陵中学校教諭 宗村 晴夫</p> <p>特別講演 「生涯スポーツについて」 講 師 スポーツジャーナリスト 谷口源太郎氏 公開授業 「サッカー」 熊本市立東町中学校 1 年 1・2 組男子 3 4 名 指導者 秋野 慎一</p>
5. 10. 19	<p>第 30 回 熊本県中学校保健体育研究発表大会 於下益城郡松橋中学校</p> <p>研究主題 「生涯体育を指向し、豊かな人間性を育成する保健体育学習を目指して」 副 題 「生徒一人ひとりが課題を持ち、主体的に取り組む保健体育学習」 公開授業 「陸上競技」 下益城郡松橋中学校教諭 川端 保成 「器械運動」 " 古賀 義久 「球技」 " 浦塘 勝彦</p> <p>研究発表 「宇城中体研の取り組み」 下益城郡豊野中学校教諭 橋本 信二 「自発的・自主性を生かす選択授業のあり方」 上益城郡甲佐中学校教諭 内田 晴龍 " 山下 勝之</p> <p>誌上发表 「バレーボールにおける効果的な指導の一考察」 ～ソフトミニバレーを中心に～ 八代郡氷川中学校教諭 山代 隆夫 「小規模校における一人ひとりを伸ばす保健体育科の学習カードについて」 水俣市立湯出中学校教諭 田中 淳 " 久木野中学校教諭 中村 岳史</p> <p>特別講演 「生涯スポーツをめざす、新しい学力感に立った体育の学習指導」 講 師 岡山大学教育学部教授 團 琢磨</p>
6. 11. 10 11	<p>第 33 回 九州地区学校体育研究発表大会 於熊本県立劇場 熊本市立北部中学校</p> <p>研究主題 「21 世紀を志向し、心豊かにたくましく生きる人間を育成する学校体育の 推進をめざして」</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
6. 11. 10 11	<p>副 題 「生徒一人ひとりが課題をもち、意欲的に取り組む保健体育学習」 ～ 楽しさから充実へ ～</p> <p>公開授業 「サッカー」 日永 信夫 「球技・選択」 バドミントン・卓球 畠山 篤 バレーボール・ソフトテニス 榊田 穂浪</p> <p>研究発表 「生徒一人ひとりをいかす器械運動（マット運動）の授業に関する研究」 大森 靖雄教諭（福岡県足立中） 「気迫にちみ、思いやりの心を育てる武道指導」 野原 滋久教諭（長崎県三和中） 「目的意識を持って自発的に活動する学習指導方法の研究」 阿部 康夫教諭（鹿児島県鹿屋東中） 「自ら学び意欲を持って活動する生徒の育成をめざして」 ～ 武道指導を通して ～ 吉村 剛教諭（熊本県球磨中）</p> <p>特別講演 演 台 「生涯スポーツ時代に対応した体育学習の考え方」 講 師 文部省体育局 体育官 岡崎 助一</p>
7. 10. 25	<p>第 31 回 熊本県中学校保健体育研究発表大会 於玉名市立玉名中学校</p> <p>研究主題 「21 世紀を志向し、心豊かにたくましく生きる人間を育成する学校体育の 推進をめざして」</p> <p>副 題 「自ら学び、生涯体育を志向するこれからの体育指導はどのようにすればい いか」～学校規模別における選択制授業の研究～</p> <p>公開授業 球技選択 「ハンドボール」 玉名市立玉名中学校教諭 上田 聡一 「バスケットボール」 " 村上 浩之 「卓球」 " 黒木 雅隆 「ソフトテニス」 " 目久美和美</p> <p>研究発表 「玉名郡市中体研の取り組み」 玉名郡三加和中学校教諭 中山 直幸</p> <p>誌上発表 「生徒一人ひとりが自ら課題を持って主体的・意欲的に取り組む保健体育学習」 ～選択制授業の取り組みを通して～ 荒尾市立荒尾第四中学校教諭 永尾 信次 「自発性・自主性を生かし一人ひとりを伸ばす学習指導と評価をどのように 工夫すればよいか」 ～選択制授業の取り組みを通して～ 鹿本郡菊鹿町立菊鹿中学校教諭 岩谷 寛 「選択制授業の実践と考察」 ～平成 3 年度研究発表後の授業実践による課題解決～ 菊池郡市中体研</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
7. 10. 25	<p>「新学力観の視点をあてた学習資料の作成と活用の提案」            ～学習状況把握のための評価基準案作成と評価結果の集計と活用～            阿蘇郡産山村立産山中学校教諭 井芹 昌文</p> <p>特別講演 演題 「生涯にわたる健康管理のポイントと盲点」            講師 熊本昨日病院附属熊本体力研究所研究主任 井本 岳秋先生</p>
8. 11. 29	<p>第 32 回 熊本県中学校保健体位研究発表大会 於八代郡鏡中学校            鏡町農村環境改善センター</p> <p>研究主題 「21 世紀を志向し、心豊かにたくましく生きる人間を育成する学校体育の            推進をめざして」</p> <p>副 題 「新学力観に基づき、生涯体育・スポーツを志向し、自ら意欲的に学ぶ学習            の指導はどうあればよいか」</p> <p>公開授業 「球 技」 竜北町立竜北中学校教諭 田代秀一郎            「器械運動」 鏡町立鏡中学校教諭 前田 浩代            「陸上競技」 東陽村立東陽中学校 赤星 稔</p> <p>研究発表 「八代郡中体研の取り組み」            八代郡千丁町立千丁中学校教諭 押方 信博            「生徒一人ひとりが意欲的に取り組む選択制授業のあり方について」            球磨郡湯前町立湯前中学校教諭 岩崎 久典</p> <p>誌上发表 「一人ひとりを伸ばす学習指導と評価の工夫（水泳）」            上益城郡中体研            「生徒一人ひとりが自ら進んで学び            主体的に活動できる授業について」            ～陸上競技における選択授業（混成競技）の取り組み～            葦北郡芦北町立吉尾中学校教諭 日當 健二</p> <p>特別競演 演題 「21 世紀の学校体育を考える」            ～体育の役割～            講師 熊本大学教育学部附属養護学校校長 川崎順一郎先生</p>
8. 11. 14 ～15	<p>第 35 回 九州地区学校体育研究発表大会（宮崎）            口頭発表 「より自発性を高める選択制体育の学習をめざして」            宮原町及び八代市中学校組合立氷川中学校教諭 久保 明博</p>
9. 11. 27 28	<p>第 10 回 熊本県学校体育研究発表大会 27 日全体会場メルパルク            28 日中学部会 熊本市立京陵中学校</p> <p>研究主題 「21 世紀を生き抜く、生涯体育・スポーツの進化を図る体育学習のあり方            をもとめて」</p> <p>副 題 「生涯体育・スポーツの実践者として、自ら選択し意欲的に取り組む体育学習」</p> <p>全体会 シンポジウム「生きる力」を体育でどう育てていくか            ・コーディネーター 千丁町立千丁小学校教頭 吉永 順一            ・シンポジウム 熊本市立清水小学校教諭 中村 好郎            熊本市立清水中学校教諭 長野 寛</p>



年 月 日	沿 革 の 概 要
<p>9. 11. 27 28</p> <p>9. 11. 13 ～14</p>	<p style="text-align: center;">熊本市立商業高等学校教諭 西村 博生</p> <p>中学部会 研究発表 「生涯体育・スポーツの実践者として自ら選択し、意欲的に取り組む体育学習を求めて」</p> <p style="text-align: center;">熊本大学教育学部附属中学校教諭 池田今朝清</p> <p>公開授業 「陸上競技」 熊本市立京陵中学校教諭 櫻井 一郎</p> <p style="text-align: center;">〃 〃 〃 〃 〃 〃</p> <p style="text-align: center;">〃 〃 〃 〃 〃 〃</p> <p>〃 〃 〃 〃 〃 〃</p> <p>〃 〃 〃 〃 〃 〃</p> <p>〃 〃 〃 〃 〃 〃</p> <p>特別講演 演題 「21世紀に向けた体育の在り方」</p> <p style="text-align: center;">～今、学校体育に求められているもの～</p> <p>講師 東京学芸大学教授 細江 文利</p> <p>第36回 九地区学校体育研究発表大会（佐賀）</p> <p>誌上発表 「選択制における自己評価をとおして、体育的活動を支援する方法の工夫」</p> <p style="text-align: center;">球磨郡岡原村立岡原中学校教諭 高田 哲弘</p>
<p>10. 11. 16</p> <p>10. 11. 18 ～19</p>	<p>第33回 熊本県中学校保健体育研究発表大会 於山鹿市立山鹿中学校</p> <p>研究主題 「運動に親しみ、心豊かにたくましく生きる人間を育てる学校体育のあり方」</p> <p>公開授業 球技選択</p> <p>全体会 「サッカー」「ハンドボール」</p> <p style="text-align: center;">山鹿市立山鹿中学校教諭 浦塘 勝彦</p> <p style="text-align: center;">「バレーボール」「バドミントン」</p> <p style="text-align: center;">菊鹿町立菊鹿中学校教諭 青山 賢治</p> <p>研究発表 「鹿本郡市中体研の取り組み」</p> <p style="text-align: center;">鹿央町山鹿市中学校組合米野岳中学校教諭 山口 裕人</p> <p style="text-align: center;">「コース制を取り入れた選択制授業の5時間の変遷」</p> <p style="text-align: center;">荒尾市立荒尾第一中学校教諭 本郷 浩一</p> <p>誌上発表 「自ら学び、生涯体育を志向するこれからの学校体育はどのようにすればよいか」</p> <p style="text-align: center;">岱明町立岱明中学校教諭 船津 清</p> <p style="text-align: center;">「生涯が本来持っている活動・表現の欲求を生き生きと表現しようとするダンスの授業をどのように工夫すればよいか」</p> <p style="text-align: center;">七城町立七城中学校教諭 梅田 和広</p> <p style="text-align: center;">「教え合い学習の中で、自発的に学び合い、自主的に高め合う生徒を育成するにはどのように工夫すればよいか」</p> <p style="text-align: center;">長陽村立長陽中学校教諭 坂本 昌彦</p> <p>特別講演 演題 「私とスポーツ」</p> <p>講師 熊本機能病院主任ソーシャルワーカー 山本 行文先生</p> <p>第37回 九州地区学校体育研究発表大会（長崎）</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
10. 11. 18 ～19	口頭発表 「生徒一人ひとりが意欲を持ち、自ら課題を追求していく保健体育学習」 鹿央町山鹿市中学校組合立米野岳中学校教諭 山口 裕人
11. 11. 29	第34回 熊本県中学校保健体育研究発表大会 於 本渡市立稜南中学校 研究主題 「運動に親しみ、心豊かにたくましく生きる人間を育てる学校体育のあり方」 副 題 「生徒が課題を持って主体的に取り組む学習指導の改善と評価の工夫について」 公開授業 「ソフトテニス」「ソフトボール」 本渡市立本渡中学校教諭 田中 貴 「長距離走」 本渡市立本町中学校教諭 岩谷 寛 「マット」「跳び箱」「平均台」 五和町立五和西中学校教諭 瑞穂 良頭 全体会 研究発表 「天草郡市中体研の取り組み」 本渡市立稜南中学校教諭 川崎 卓 誌上発表 「自ら見つめ、主体的に活動する生徒の育成」 宇土市立宇土鶴城中学校教諭 上村 一浩 「一人ひとりが意欲を持ち、主体的に活動する選択制授業の展開には何を工夫すればよいか」 八代市立八代第二中学校教諭 田北佳一郎 「生きる力を育み、生涯体育を志向する保健体育科の授業をめざして」 水俣市立湯出中学校教諭 大槻 義浩 「自ら考え意欲的に取り組む授業の工夫」 人吉市立人吉第二中学校教諭 米田 豊和 特別講演 演題 「新教育課程の考え方と今後の体育の方向」 講師 筑波大学教授 佐伯 聡夫 先生
12. 11. 29 ～30	第10回 熊本県学校体育研究発表大会 29日 全体会 メルパルク 30日 中学部会 熊本商業高等学校 県庁地下大会議室 研究主題 「主体的に運動に取り組む、心豊かなたくましい人間を育てる学校体育のあり方」 全体会 特別講演 演題 「生きる力を育む学校体育のあり方を求めて」 ～小・中・高等学校の連携を通して～ 講師 国士舘大学教授 杉山 重利 氏 研究発表 「スポーツライフを実現をめざし、生徒自ら取り組む体育学習のあり方」 ～種目・コース選択の授業を通して～ 熊本市立東部中学校教諭 池田今朝清 中学校部会 公開授業 「球技」領域内選択 「バスケットボール」熊本市立出水中学校教諭 本郷 司 「サッカー」 " 中野 浩 「バレーボール」 " 小西 俊郎 第39回 九州地区学校体育研究発表大会（沖縄）
12. 11. 16 ～17	口頭発表 「スポーツライフの実現をめざし、生徒自ら取り組む体育学習のあり方」 ～種目・コース選択の授業を通して 熊本市立東部中学校教諭 池田今朝清

年 月 日	沿 革 の 概 要
13. 11. 20	<p>第 35 回 熊本市中学校保健体育研究発表大会 於荒尾第一中学校</p> <p>研究主題 「スポーツライフの基礎を培い、主体的に取り組む保健体育学習のあり方」 荒尾市研究主題 「基礎的な力を高め、生きる力を育む体育学習をめざして」 ～陸上競技・球技を通して～</p> <p>研究発表 荒尾市中学校体育研究会理事長 森川 孝巳</p> <p>特別講演 「駅伝と私」 大牟田高等学校 駅伝部監督 大見 治夫 氏</p> <p>公開授業 「球技」 バスケットボール・サッカー</p> <p>荒尾市立荒尾第一中学校 教諭 永尾 信次・坂本華里奈</p> <p>「陸上競技」 短距離走・ハードル走・走り幅跳び・砲丸投げ</p> <p>荒尾市立荒尾第三中学校 教諭 高松 孝夫・中道 豪</p> <p>誌上発表 「体力向上を図り、生涯体育につながる体育学習のあり方」 玉名市立玉名中学校 教諭 松野 保生</p> <p>「自ら課題を追求し、主体的に活動する保健体育学習をめざして」 山鹿市立山中学校 教諭 野田 歩</p> <p>「意欲を持って運動に取り組み、自ら課題を解決していこうとする体育学習 をめざして」</p> <p>菊池市立菊池南中学校 教諭 桐 陽介</p> <p>「指示的雰囲気を土壌に主体的に運動に取り組む生徒の育成」 阿蘇町立阿蘇北中学校 教諭 境 恵司</p>
14. 11. 28	<p>第 36 回 熊本市中学校保健体育研究発表大会 於水俣市立水俣第三中学校 水俣市立総合体育館</p> <p>研究主題 「スポーツライフの基礎を培い、主体的に取り組む保健体育学習のあり方」 芦北水俣郡市研究主題</p> <p>「自ら考え、主体的に取り組む保健体育科の学習」</p> <p>研究発表 芦北水俣郡市中学校体育研究会理事長 淵田 尚史</p> <p>特別講演 「これからの指導と評価のあり方」 東京女子体育大学教授 本村 清人 氏</p> <p>公開授業 「器械運動」 跳び箱運動、マット運動</p> <p>水俣市立水俣第三中学校 教諭 古田 利也</p> <p>「陸上競技」 短距離走、長距離走、ハードル走</p> <p>水俣市立久木野中学校 教諭 田原 正和</p> <p>「球 技」 バレーボール</p> <p>水俣市立水俣第二中学校 教諭 有村 実泰</p> <p>誌上発表 「生徒自ら取り組む保健体育学習のあり方」 ～バレーボールの授業を通して～</p> <p>御船町立七滝中学校 教諭 山科 貴裕</p> <p>「生涯スポーツを指向した水泳指導のあり方」 ～泳力を高め、自ら主体的に取り組む水泳指導の工夫～</p> <p>中央町立中央中学校 教諭 福岡 貞行</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
14. 11. 18	<p>「主体性・創造性をはぐくむ体育授業のあり方」  ～ダンス学習のあり方を通して～  千丁町立千丁中学校 教諭 松田 直子</p> <p>「自ら考え、主体的に取り組む体づくり運動の学習」  八代市立第三中学校 教諭 久保 郁夫</p> <p>「生徒自ら課題を持ち、主体的に活動する保健体育学習を目指して」  須恵村立須恵中学校 教諭 森田 琢二  深田村立深田中学校 教諭 熊 俊晴</p> <p>「たくましく生きるための健康や体力」  ～体力の向上・運動に親しむ態度の育成～  大矢野町立大矢野中学校 教諭 清水 龍一</p>
15. 11. 28	<p>第 37 回 熊本県中学校保健体育研究発表大会 於長陽村立長陽中学校  長陽村立体育館</p> <p>研究主題 「豊かなスポーツライフを実現する力を育てる保健体育学習のあり方」  ～仲間と共に高め合う学習を通して～</p> <p>研究発表 阿蘇郡中学校体育研究会理事長 岩根 元</p> <p>特別講演 「人生こだわりと執念」  学校剣道連盟会長・前蘇陽高等学校校長 泉 勝壽 氏</p> <p>公開授業 〈体育分野〉「球技」バスケットボール・バドミントン  白水村立白水中学校 教諭 中尾 隆博  「ダンス」現代的なリズムダンス・創作ダンス  長陽村立長陽中学校 教諭 三根 涼子  〈保健分野〉「人との関わり」「自分らしさ」「欲求やストレスへの対処」  阿蘇町立阿蘇北中学校 教諭 井芹 昌文・西村 幸洋  養護助教諭 野元 香子</p> <p>誌上发表 「自主的・自発的活動の支援を行い、自ら考え工夫する体育学習指導のあり方」  ～陸上競技の授業を通して～  荒尾市立荒尾第三中学校 教諭 中道 豪</p> <p>「確かな学力の向上を目指す指導と評価のあり方」  ～基礎・基本の充実と主体性を育てる指導と評価の工夫～  岱明町立岱明中学校 教諭 青山 賢治</p> <p>「学ぶ楽しさを実感し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」  ～学校体育を核とした能動型教育の実践を通して～  山鹿市立山鹿中学校 教諭 平山 圭子</p> <p>「確かな学力をめざす保健体育学習のあり方」  ～保健学習の実践を通して～  西合志町立西合志中学校 教諭 岩谷 寛</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
<p>16. 11. 25 ～26</p>	<p>第 43 回 九州地区学校体育研究発表体育 於熊本市市民会館 熊本県立第一高等学校</p> <p>研究主題 「豊かなスポーツライフの実現及び生涯にわたり 健康で安全な生活を送るための実践力を育てる保健体育学習の在り方」 ～自己を高め、仲間と共にかかわり合う評価の工夫～</p> <p>公開授業 〈体育分野〉「球技」(バスケットボール・バドミントン選択) 熊本市立武蔵中学校 教諭 大園 隆明 〈保健分野「心身の機能の発達と心の健康」(欲求やストレスへの対処) 熊本市立桜山中学校 教諭 香山 悟</p> <p>研究発表 「たくましく生きるための体力豊かな人間性を育む体育・保健の指導は どうあればよいか」 大分県大分市立坂ノ市中学校 教諭 平倉 崇 「お互いに認め合い、意欲的に活動する生徒の育成」 佐賀県巖木町立巖木中学校 教諭 宮原 照幸 「生徒自ら主体的に取り組み、 たくましく生き抜く力を身に付ける保健体育学習」 宮崎県えびの市立飯野中学校 教諭 肝付 正籍 「基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り自ら学び考え、 自ら行動する力を育成するためにはどうすればよいか」 沖縄県城辺町立西城中学校 教諭 那覇 史人</p> <p>誌上発表 「豊かなスポーツライフの基礎を培う保健体育学習のあり方」 ～仲間と共により高め合う学習を通して～ 熊本県阿蘇郡中学校体育研究会</p> <p>特別講演 「ストレスと健康」 九州大学健康科学センター教授 橋本 公雄 氏</p>
<p>17. 11. 22</p>	<p>第 38 回 熊本県中学校保健体育研究発表大会 於人吉カルチャーパレス・人吉第一中学校・錦中学校・岡原中学校</p> <p>研究主題 「豊かなスポーツライフの実現及び生涯にわたり 健康で安全な生活を送るための実践力を育てる保健体育学習の在り方」 ～自己を高め、仲間と共にかかわり合う評価の工夫～</p> <p>人吉球磨体育研究会の主題 「豊かなスポーツライフの実現に向けた保健体育学習の在り方」 ～仲間とかがわり、共に高め合う学習活動の工夫～</p> <p>研究発表 人吉球磨体育研究会研究部長 岩崎 久典</p> <p>特別講演 「スポーツと出会い」 元松橋中学校教諭 平井 徳一 氏</p> <p>公開授業 「陸上競技」長距離走 人吉市立第一中学校 教諭 山本 祥博 「球技」バレーボール あさぎり町立岡原中学校 教諭 橋本 卓也 「武道」剣道 錦町立錦中学校 教諭 熊 俊晴</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
17. 11. 22	<p>誌上発表 「一人ひとりの生徒の確かな学力の向上と、個に応じた評価の工夫改善」  ～形成的評価活動（1分間泳）を取り入れた水泳授業の取組～  甲佐町立甲佐中学校 教諭 黒木 克昭</p> <p>「自ら課題を持ち、主体的に活動する体育学習を目指して」  ～陸上競技「ハードル走」の実践を通して～  城南町立下益城城南中学校 教諭 安方 史宜</p> <p>「自ら考え主体的に活動する生徒の育成」  ～学校水泳の授業を通して～  八代市立東陽中学校 教諭 杉野 弘樹</p> <p>「体育学習における指導と評価の一体化を目指して」  ～バレーボールの学習における評価の工夫を中心に～  八代市立第二中学校 教諭 吉崎 孝明</p> <p>「個に応じた指導と評価の工夫改善の取組」  ～バレーボール学習における毎時間の評価活動を通して～  芦北町立湯浦中学校 教諭 山本 栄司</p> <p>「種目の特性にふれさせる体育指導の在り方について」  ～陸上競技（長距離）の授業を通して～  有明町立有明中学校 教諭 黒川 雅弘</p>
17. 10. 25	<p>第44回九州地区学校体育研究発表大会（佐賀大会）  口頭発表 「自己を高め、仲間と共にかかわり合う評価の工夫」  ～球技（バスケットボール・バドミントン選択）の授業を通して～  熊本市立武蔵中学校 教諭 大園 隆明</p>
18. 11. 28 ～29	<p>第13回 熊本県学校体育研究発表大会 於熊本市立必由館高等学校  学体研研究主題  「豊かなスポーツライフの実現に向けた体育学習の創造」  中学校体育研究会研究主題  「豊かなスポーツライフの実現及び、生涯にわたり  健康で安全な生活を送るための実践力を育てる保健体育学習のあり方」  ～学習内容を明確にした指導と評価の一体化を通して～</p> <p>特別講演 演題 「変わる・変える」  熊本県体育協会副会長 井 薫 氏</p> <p>研究発表 「豊かなスポーツライフの実現に向けた保健体育学習のあり方」  ～仲間とかかわり、共に高め合う学習活動の工夫～  人吉球磨体育研究会 人吉市立人吉第二中学校 教諭 湊田 尚史</p> <p>公開授業 「保健」 心身の発達と心の健康  熊本市立藤園中学校 教諭 福富 和博</p> <p>「球技」 ハンドボール  熊本市立東部中学校 教諭 山隈 修</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
18. 11. 26 ～27	<p>第 45 回九州地区学校体育研究発表大会誌上発表</p> <p>「豊かなスポーツライフの実現に向けた保健体育学習のあり方」</p> <p>～仲間とかかわり、共に高め合う学習活動の工夫～</p> <p>人吉球磨体育研究会研究部長 球磨村立球磨中学校 教諭 岩崎 久典</p>
19. 11. 22	<p>第 39 回熊本県中学校保健体育研究発表大会 於合志市総合センター「ヴィーブル」</p> <p>研究主題 「豊かなスポーツライフの実現及び、生涯にわたり 健康で安全な生活を送るための実践力を育てる保健体育学習のあり方」</p> <p>～学習内容を明確にした指導と評価の一体化を通して～</p> <p>菊池郡市中体研の研究主題</p> <p>「楽しさや喜びを実感し、仲間と共に高め合う保健体育学習」</p> <p>～課題解決能力の育成と学び合いの場の工夫を通して～</p> <p>特別講演 「新しい学校体育の方向性」</p> <p>日本体育大学大学院教授 筑波大学名誉教授 高橋 健夫氏</p> <p>公開授業 「器械運動」 マット運動 合志市立西合志南中学校 教諭 大谷 浩介 「球技」 バレーボール 大津町立大津北中学校 教諭 佐藤 省吾 「球技」 バasketボール 大津町立大津北中学校 教諭 久米野千晶</p> <p>誌上発表 「豊かなスポーツライフの実現に向けた保健体育学習のあり方」</p> <p>～自己の課題設定とグループ学習活動の工夫～</p> <p>荒尾市立第一中学校 教諭 永井千寿子</p> <p>「持久走の指導について」</p> <p>～新体力テストや体格の変化から指導の在り方を考える～</p> <p>和泉町立菊水中学校 教諭 大山 道弘</p> <p>「バスケットボールの授業充実をめざして」</p> <p>～基礎・基本の徹底と学び高め合う学習を通して～</p> <p>南阿蘇村立長陽中学校 教諭 駒澤 伸寿</p> <p>「運動に親しむ資質や能力及び健康の保持増進のための実践力を身に付け、 体力向上を図るための学習指導の工夫」</p> <p>～陸上競技の実践を通して～</p> <p>山鹿市立鶴城中学校 教諭 丸山 喜寛</p>
19. 10. 25 ～26	<p>第 47 回九州地区学校体育研究発表会</p> <p>口頭発表 「学習内容を明確にした指導と評価の一体化を目指して」</p> <p>～球技（ハンドボール）の授業を通して～</p> <p>熊本市立東部中学校 教諭 山隈 修</p>
20. 11. 20	<p>第 40 回熊本県中学校体育研究発表大会 於益城町総合体育館及び益城町陸上競技場</p> <p>研修主題 「豊かなスポーツライフの実現及び、生涯にわたり 健康で安全な生活を送るための実践力を育てる保健体育学習のあり方」</p> <p>～学習内容を明確にした指導と評価の一体化を目指して～</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
20. 11. 20	<p>上益城郡中学校体育研究主題  「魅力ある保健体育学習の創造」  ～意欲的に取り組む体力づくりの工夫～</p> <p>特別講演 演題 「新学習指導要領を踏まえた教科体育の在り方」  講師 筑波大学 体育科学系 准教授 尾 縣 貢 先生</p> <p>公開授業 球技（サッカー） 益城町立益城中学校 教諭 藤野 博文  器械運動（跳び箱運動） 山都町立蘇陽中学校 教諭 東 克彦</p> <p>誌上発表 宇城郡市「『到達目標』を基盤として体育授業に関する実践」  ～水泳における学習指導～  宇土市立宇土鶴城中学校 教諭 斉藤 達也</p> <p>八代「生徒が自ら考え取り組む体育活動の推進と、  体力向上を図るための取組について」  ～体育的行事と陸上競技を通して～  八代市立八代第四中学校 教諭 久保田義久</p> <p>人吉球磨郡市「運動技能の習得を図り、仲間と関わり合いながら  主体的に取り組むための指導と評価について」  ～剣道の授業を通して～  錦町立錦中学校 教諭 熊 俊晴</p> <p>芦北水俣郡市「課題解決能力を育むバレーボールの学習」  ～「する」「ささえる」視点を通して～  芦北町立大野中学校 教諭 真野 良一</p> <p>天草郡市「豊かなスポーツライフの実現及び生涯にわたり、健康で安全な  生活を送るための実践力を育てる保健体育学習の在り方」  ～学び合い、高め合い、喜び合える保健体育学習を目指して～  天草市立倉岳中学校 教諭 淀川 一哉</p>
20. 11. 5 6	<p>日本中体連研究発表大会（北海道）  口頭発表 「熊本県における運動部活動の現状と健康管理」  南小国町立南小国中学校 教諭 奥村真太郎</p>
20. 11. 5 6	<p>第47回九州地区学校体育研究発表大会（沖縄）  誌上発表 「楽しさや喜びを実感し、仲間と共に高め合う保健体育学習」  ～課題解決能力の育成と学び合いの場の工夫を通して～  菊池市立菊池南中学校 教諭 米田 豊和</p>
21. 2. 7	<p>熊本県中学校体育連盟創立60周年記念式典 会場 全日空ホテルニュースカイ  学校体育功労者受賞祝賀会 会場 全日空ホテルニュースカイ</p>
21. 10. 29 ～30	<p>第48九州地区学校体育研究発表大会 於 全体会 熊本県立第二高等学校  研究発表会 熊本県立盲学校  授業研究会 熊本市立東町中学校</p>



年 月 日	沿 革 の 概 要
21. 10. 29 ～30	<p>研究主題</p> <p>熊本県学校体育研究会  「運動の楽しさや喜びを味わい、健やかな心と体を育む体育学習の在り方」</p> <p>熊本県中学校体育研究会  「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育む体育学習の在り方」</p> <p>～学習内容を明確にした指導と評価の一体化を目指して～</p> <p>特別講演 演題 「生命科学の視点から考える子どもの教育」  講師 中九州学園理事長 元鹿児島大学農学部教授  後藤 和文 先生</p> <p>公開授業 陸上競技（ハードル走） 熊本市立東町中学校 教諭 沢田 修</p> <p>口頭発表 上益城郡「魅力ある保健体育学習の創造」  ～意欲的に取り組む体力づくりの工夫～  山都町立蘇陽中学校 教諭 東 克彦</p>
22. 11. 26	<p>第 41 回熊本県中学校保健体育研究発表大会 於 玉名市立天水中学校  玉名市天水体育館</p> <p>研究主題</p> <p>熊本県中学校体育研究会  「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育む体育学習の在り方」</p> <p>～学習内容を明確にした指導と評価の一体化を目指して～</p> <p>玉名荒尾中学校体育研究会  「積極的に運動に親しみ、明るく豊かで活力のある保健体育学習の在り方」</p> <p>～準備運動と学び方を工夫した授業の充実を目指して～</p> <p>特別講演 演題 「サービス業に従事して」  講師 グリーンランドリゾート社長 江里口俊文 氏</p> <p>公開授業 球技（バスケットボール） 長洲町立腹栄中学校 教諭 村上 浩之  武道（柔道） 南関町立南関中学校 教諭 藤原 光史</p> <p>誌上発表</p> <p>〈山鹿市〉「自ら考え、主体的に学習する生徒の育成」  ～地域の武道指導者を活動した個に応じた学習指導を通して～  山鹿市立鶴城中学校 教諭 丸山 喜寛</p> <p>〈菊池〉「自ら進んで学習し、仲間と共に体力を高め合う保健体育学習の在り方」  ～「体づくり運動」の実践を通して～  菊池市立七城中学校 教諭 森 健一</p> <p>〈阿蘇〉「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育む保健体育学習の在り方」  ～体づくり運動の実践を通して  産山村立産山中学校 教諭 村上 弦大</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
22. 11. 26	<p>〈上益城〉「魅力ある保健体育学習の創造」            ～課題解決場面での言語活動の充実と体力づくりの工夫を視点に～            山都町立蘇陽中学校 教諭 東 克彦</p>
23. 11. 16	<p>第 50 回九州地区学校体育研究発表大会（鹿児島大会）            誌上発表 「積極的に運動に親しみ、明るく豊かで活力のある保健体育学習の在り方」            ～生徒の学び方を高める授業の充実を目指して～            玉名市立玉陵中学校 教諭 井手 信幸</p>
23. 11. 25	<p>第 42 回熊本県中学校保健体育研究発表大会 於八代市立鏡中学校            八代市鏡文化センター</p> <p>研究主題            熊本県中学校体育研究会            「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育む体育学習の在り方」            ～学習内容を明確にした指導と評価の一体化を目指して～            八代中学校体育研究会            「豊かなかかわり合いの中で、主体的に運動に取り組む生徒の育成」            ～コミュニケーション活動の充実を中心として～</p> <p>特別講演 演題 「新学習指導要領で保健体育科に何が求められているのか」            講師 鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学            教授 佐藤 豊 氏            （前文部科学省教科調査官、学習指導要領改訂担当者）</p> <p>公開授業 ダンス（創作ダンス） 八代市立鏡中学校 教諭 土綿 康宏            球技（ソフトボール） 八代市立第七中学校 教諭 三浦 稔継</p> <p>誌上発表            〈宇 城〉「基礎的な体力や知識を身に付け、互いに学び合い、            高め合う保健体育の学習を目指して」            ～宇城郡市中学校体育研究会の取組～            宇城市立宇土鶴城中学校 教諭 鋤崎 良二            〈人吉球磨〉「体力の大切さを感じ、体力向上に向けて、            自ら進んで運動へ取り組む生徒の育成」            ～新体力テストの結果を活用した取組を通して～            五木村立五木中学校 教諭 有村 重幸            〈芦北水俣〉「自ら運動の喜びや楽しさを求め活力のある保健体育学習を目指して」            ～球技「ソフトボール」の授業を通して～            水俣市立水俣第二中学校 教諭 後藤 英治            〈天 草〉「自ら運動の喜びや楽しさを求め、            健やかな心と体を育む保健体育学習の在り方」            ～学び合い・高め合い・喜び合える水泳（平泳ぎ）の授業づくりを通して～            天草市立天草中学校 教諭 黒川 雅弘</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
24. 11. 15	<p>第 51 九州地区学校体育研究発表大会（宮崎大会）</p> <p>口頭発表 「豊かなかかわり合いの中で主体的に運動に取り組む生徒の育成」 ～コミュニケーション活動の充実を中心として～</p> <p>八代市立第一中学校 教諭 馬淵 隆幸</p>
24. 11. 21 ～22	<p>第 15 回熊本県学校体育研究大会 於熊本県立熊本商業高等学校</p> <p>研究主題</p> <p>学体研主題 「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実」 ～授業から日常へ、授業から未来へ～</p> <p>熊本県中学校体育研究会主題 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」 ～学習内容を明確にした指導と評価の一体化をめざして～</p> <p>特別講演 演題 「体育授業の過去、現在、そして未来」 ～より良いボールゲームの授業づくりに向けて～</p> <p>講師 早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授 吉永 武史 氏</p> <p>研究発表 「『わかるとできた・できるとわかった』 生涯につながる豊かな心と体を育む保健体育学習」</p> <p>公開授業 球技：ゴール方（ハンドボール） 熊本市立楠中学校 教諭 山隈 修</p> <p>体育理論 「スポーツの効果と安全」 熊本市立京陵中学校 教諭 南 弘一</p>
25. 11. 27	<p>第 43 回熊本県中学校保健体育研究発表大会 於 山鹿市菊鹿町あんずの丘多目的体育館グリーンパルス</p> <p>研究主題</p> <p>熊本県中学校体育研究会主題 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」 ～学習内容を明確にした指導と評価の一体化をめざして～</p> <p>山鹿市中学校体育研究会主題 「学び合いの中で学習意欲を高め、 自主的に保健体育学習に取り組む生徒の育成」 ～学習内容を明確にした指導法の工夫～</p> <p>特別講演 演題 「チームづくりは人づくり」 講師 (株) オムロン ハンドボール部 GM 代行 西窪 勝広 氏</p> <p>研究発表 「学び合いの中で学習意欲を高め、 自主的に保健体育学習に取り組む生徒の育成」 ～学習内容を明確にした指導法の工夫～</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
25. 11. 27	<p>公開授業 球技「ハンドボール」 山鹿市鶴城中学校 教諭 丸山 喜寛 保健「健康な生活と疾病の予防」 山鹿市山鹿中学校 教諭 東 克彦</p> <p>誌上発表  (玉名荒尾)「積極的に運動に親しみ、  明るく豊かで活力のある保健体育学習の在り方」  ～効果的な学習カードの工夫と活用～  玉名市立玉名中学校 教諭 久家 弘樹  (菊 池)「運動の楽しさを知り、主体的に体力の向上を目指す生徒の育成」  ～菊陽中学校における体力向上の取組～  菊陽町立菊陽中学校 教諭 堺 純  (阿 蘇)「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健体育学習の在り方」  ～主体的に取組、達成感・成就感を味わうことができる授業を目指して～  阿蘇市立阿蘇中学校 教諭 高宮さつき  (上益城)「魅力ある保健体育学習の創造」  ～体の動かし方や運動の仕方がわかる授業を目指して～  山都町立蘇陽中学校 教諭 有働 秀樹</p>
26. 11. 27	<p>第 44 回熊本県中学校保健体育研究発表大会 於宇土市民会館 宇土市運動公園グラウンド 宇土市民体育館</p> <p>研究主題  熊本県中学校体育研究会主題  「自ら運動の喜びや楽しさを求め、  生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」  ～学習内容を明確にした指導と評価の一体化をめざして～  宇城郡市中学校体育研究会主題  「基本的な知識や身体技能を身に付け、  互いに学び合い、高め合う生徒の育成」  ～自ら進んで運動に取り組むための授業づくりを目指して～</p> <p>特別講演 演題 「体罰や暴力のない指導とは？」  ～一人ひとりの生徒が輝く体育スポーツ指導を目指して～  講師 筑波大学スポーツ健康システム・マネジメント専攻長  菊 幸一(きく こういち) 氏</p> <p>研究発表 「基本的な知識や身体技能を身に付け、  互いに学び合い、高め合う生徒の育成」  ～自ら進んで運動に取り組むための授業づくりを目指して～</p> <p>公開授業 球技(サッカー) 宇土市立宇土鶴城中学校 教諭 澤田 和宏  武道(剣道) 宇土市立豊野中学校 教諭 松川 紘士</p>

年 月 日	沿 革 の 概 要
26. 11. 27	<p>誌上発表</p> <p>&lt;八 代&gt; 「豊かなかわり合いの中で、 主体的に運動に取り組む生徒の育成」 ～仲間とともに技能や体力を向上させる授業を目指して～ 八代市立第一中学校 教諭 星田 章広</p> <p>&lt;人吉球磨&gt; 「運動やスポーツのよさや楽しさを実感し、 興味・関心を高める保健体育学習」 ～習得した知識を活用する授業実践を通して～ 人吉市立第三中学校 教諭 有村 重幸</p> <p>&lt;芦北水俣&gt; 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」 ～田浦中学校における保健体育学習の取組をとおして～ 芦北町立田浦中学校 教諭 本田 俊介</p> <p>&lt;天 草&gt; 「自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり 健やかな心と体を育む保健体育学習の在り方を目指して」 ～できる・かかわる・伸びる楽しさを味わえる球技 (ネット型：バレーボール) の授業づくりを通じて～ 天草市立新和中学校 教諭 平田 徳保</p>
27. 11. 19 ～20	<p>第16回熊本県学校体育研究発表大会</p> <p>於 熊本県立農業高等学校</p> <p>小学校・・・熊本市北部東小学校 中学校・・・熊本県立熊本農業高等学校 高等学校・・・熊本県立熊本農業高等学校 特別支援学校・・・熊本県黒石原支援学校</p> <p>研究主題</p> <p>学体研主題 「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実」 ～ 授業から日常へ、授業から未来へ ～</p> <p>熊本県中学校体育研究会主題 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」 ～学習内容を明確にした指導と評価の一体化をめざして～</p> <p>特別講演 演題 「教師と狂思(きょうし)の間で半世紀」 講師 熊本中央高等学校バドミントン部顧問・熊本県バドミントン協会副会長 工藤 勇参(くどう たけちか) 氏</p> <p>研究発表 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」 ～学習内容を明確にした指導と評価の一体化をめざして～</p> <p>公開授業 体づくり運動 熊本市立出水中学校 教諭 岩崎 佳奈 保健(医療機関と医薬品の有効活用) 熊本市立花陵中学校 教諭 竹本 浩人(T1) 養護教諭 前田 弥生(T2)</p>

28. 11.25	<p>第45回熊本県中学校保健体育研究発表大会 於 菊池市立旭志中学校 菊池市旭志体育館 菊池市旭志公民館</p> <p>研究主題 熊本県中学校体育研究会主題 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方」 ～転移する知識・技能を活用し、探求していくグループ学習の構築をめざして～</p> <p>菊池郡市中学校体育研究会主題 「楽しさと喜びを実感し、自主的に運動に取り組む生徒の育成」 ～思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりを通して～</p> <p>特別講演 演題 「スポーツ指導に生かすスポーツビジョン ～その理論と実践～」 講師 大阪府立大学高等教育推進機構健康科学 准教授 吉井 泉（よしい いずみ） 氏</p> <p>公開授業 球技（サッカー） 菊陽町立菊陽中学校 教諭 小野 寿大 武道（剣道） 合志市立西合志南中学校 教諭 北田 勇正</p> <p>誌上発表 ◇第55回九州地区学校体育研究発表大会誌上発表 「思考力をはぐくむ話し合い活動」 ～思考様式を活用した戦術の話し合い活動を通して～ 小国町立小国中学校 教諭 岩根 元</p>
-----------	--

## 8 平成28年度熊本県中学校体育研究会・中学校体育連盟役員一覧

役職	熊本県中学校体育研究会		熊本県中学校体育連盟	
	氏名	勤務校	氏名	勤務校
会長	楠木 正昭	熊・長 嶺	楠木 正昭	熊・長 嶺
副会長(県北)	岩下 昭彦	菊・泗 水	岩下 昭彦	菊・泗 水
副会長(県央)	新垣 力	熊・天 明	新垣 力	熊・天 明
副会長(県南)	川崎 卓	天・阿 村	川崎 卓	天・阿 村
副会長	香山 悟	熊・東 町	香山 悟	熊・東 町
監事	中山 直幸	荒玉・南 関	中山 直幸	荒玉・南 関
監事	中島仙一郎	宇・宇土鶴城	中島仙一郎	宇・宇土鶴城
理事長	岩根 元	阿・小 国	奥村真太朗	熊・東 町
副理事長(県北)	丸山 喜寛	山・鹿 本	大谷 浩介	菊・大津北
副理事長(県央)	田中 省三	熊・白 川	安方 史宜	熊・東 野
副理事長(県南)	井上 淳一	宇・三 角	中村 直人	芦水・水俣二
副理事長(事務局)	志賀 祐介	阿・西 原	松田 直浩	熊・藤 園
県教委	久米野千晶	体育保健課	久米野千晶	体育保健課

### 各郡市会長・理事長一覧

郡市名	各郡市会長		各郡市中体研理事長		各郡市中体連理事長	
	氏名	勤務校	氏名	勤務校	氏名	勤務校
玉名荒尾	中山 直幸	南関	酒井 剛	玉南	青山 賢治	玉名
山鹿市	松永 博文	米野岳	丸山 喜寛	鹿本	北本 憲仁	山鹿
菊池	岩下 昭彦	泗水	津留 知子	武蔵ヶ丘	大谷 浩介	大津北
阿蘇	坂梨 正文	南阿蘇	林 剛史	産山	木村 勝範	高森
上益城	河田 知治	清和	板床 龍哉	蘇陽	藤野 博文	甲佐
熊本市	新垣 力	天明	田中 省三	白川	安方 史宜	東野
宇城	中島仙一郎	宇土鶴城	井上 淳一	三角	杉野 朋之	宇土鶴城
八代	塚副 徹	八代一	星田 章広	八代一	吉崎 孝明	八代一
球磨人吉	田代 修	あさぎり	久間 章弘	湯前	村山 茂	多良木
芦北水俣	稲岡 博信	津奈木	米 新一	津奈木	中村 直人	水俣二
天草	川崎 卓	阿村	平田 徳保	新和	池田 信敏	天草

### 県中体研領域別担当者

領域	担当者(チーフ◎)	領域	担当者(チーフ◎)
保体担当者名簿	◎米(津奈木)	授業研究	◎田中(白川)、丸山(鹿本)
県版体育実技	◎久間(湯前)	会誌編集	◎林(産山)、志賀(西原)
県版保体ノート	◎星田(八代一)、酒井(玉南) 平田(新和)	夏期研修会	◎田中(白川)
体育実技講習会	◎井上(三角)	部活動研究	◎板床(蘇陽)、丸山(鹿本) 井上(三角)
研究発表大会	◎津留(武蔵ヶ丘)		

8 (2) 歴代熊本県中体連・中体研会長・理事長名

年度	会長名	当時の勤務校	中体連理事長名	当時の勤務校	中体研理事長名	当時の勤務校
昭和23	宮本 勝	桜木中	城 清	江原中		
昭和24	〃	〃	木原 辰雄	白川中		
昭和25	〃	〃	〃	〃		
昭和26	坂本 勝蔵	出水中	〃	〃		
昭和27	〃	京陵中	〃	〃		
昭和28	〃	〃	〃	〃		
昭和29	中原 芳治	藤園中	城 清	京陵中		
昭和30	岩代 吉親	〃	〃	〃		
昭和31	堀田 豊	白川中	〃	〃		
昭和32	〃	〃	〃	〃		
昭和33	西岡 寛	藤園中	〃	〃		
昭和34	〃	〃	〃	〃		
昭和35	〃	〃	〃	〃		
昭和36	〃	〃	〃	〃		
昭和37	今村 俊男	京陵中	〃	〃		
昭和38	〃	〃	〃	〃		
昭和39	〃	出水中	宮永 優	出水中		
昭和40	〃	〃	〃	〃	坂田 光人	京陵中
昭和41	〃	〃	〃	〃	高木 正義	湖東中
昭和42	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和43	小栗 常寿	山鹿中	北村 直孝	花陵中	〃	〃
昭和44	鳥山 正治	江原中	〃	〃	〃	〃
昭和45	〃	京陵中	〃	京陵中	〃	〃
昭和46	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和47	〃	〃	〃	〃	〃	桜木中
昭和48	湯浅 恒俊	御船中	竹永 好男	竜南中	〃	〃
昭和49	大塚 一男	阿蘇北中	〃	〃	〃	〃
昭和50	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和51	鶴田 英基	帯山中	〃	〃	〃	〃
昭和52	〃	〃	〃	〃	東 良一	錦ヶ丘中
昭和53	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和54	高野 正勝	〃	〃	帯山中	島 榮三郎	飽田中
昭和55	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和56	郷 愛明	錦ヶ丘中	東 良一	白川中	〃	〃
昭和57	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和58	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和59	重本 雄介	八代第四中	藤野 健一	熊・錦ヶ丘	上田 長利	熊・帯山中
昭和60	〃	八代第二中	〃	〃	〃	〃
昭和61	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭和62	〃	〃	松本 英隆	熊・白川中	〃	〃
昭和63	下川 和幸	熊・西原中	〃	〃	〃	〃



年度	会長名	当時の勤務校	中体連理事長名	当時の勤務校	中体研理事長名	当時の勤務校
平成元	下川 和幸	熊・西原中	松本 英隆	熊・白川中	上田 長利	熊・帯山中
平成2	下川 和幸 森口 尉典	熊・西原中 熊・東野中	前川 隆道	熊・西原中	上妻 正義	熊・帯城南中
平成3	中元 敏行	水・水俣一中	〃	〃	〃	熊・清水中
平成4	東 良一	熊・湖東中	〃	〃	〃	〃
平成5	西山 富男	天・本渡東中	〃	〃	〃	〃
平成6	〃	〃	坂井公一郎	〃	〃	〃
平成7	高山 優二	飽田中	〃	熊・東町中	〃	〃
平成8	岡田 克之	熊・西原中	千原 功一	〃	松山 禎一	熊・桜木中
平成9	〃	〃	〃	〃	〃	〃
平成10	藤野 健一	熊・東野中	日永 信夫	〃	〃	〃
平成11	入江 正明	宇土鶴城中	〃	〃	本郷 司	熊・出水中
平成12	松本 英隆	熊・三和中	〃	〃	〃	〃
平成13	〃	玉・玉東中	楠木 正昭	〃	〃	〃
平成14	〃	〃	〃	〃	〃	熊・楠中
平成15	〃	熊・長嶺中	服部 起明	〃	池田今朝清	熊・東部中
平成16	〃	〃	〃	〃	〃	熊・長嶺中
平成17	〃	〃	〃	〃	〃	〃
平成18	坂井公一郎	熊・出水中	海津 英孝	〃	香山 悟	熊・桜山中
平成19	〃	〃	〃	〃	大園 隆明	熊・武蔵中
平成20	前川 隆道	熊・桜木中	古賀 義久	〃	〃	熊・力合中
平成21	境 孝治	宇・松橋中	〃	〃	〃	〃
平成22	〃	〃	〃	〃	山隈 修	熊・楠中
平成23	上原 明德	熊・桜木中	清水宏一郎	〃	〃	〃
平成24	加藤 敬之	上・御船中	〃	〃	〃	〃
平成25	〃	〃	〃	〃	福永 純一	上・益城中
平成26	〃	上・甲佐中	〃	〃	星田 正治	熊・下城南中
平成27	楠木 正昭	熊・江原	〃	〃	堺 純	菊・菊陽
平成28	〃	熊・長嶺	奥村真太朗	〃	岩根 元	阿・小国

8 (3) 熊本県中学校体育連盟・研究会歴代役員、各郡市歴代会長氏名一覽

H 2 9 . 3 県中体連事務局作成

役職名	52	53	54	55	56	57	58	59
会 長	鶴田英基 (帯山)	" ( " )	高野正勝 (帯山)	" ( " )	郷愛明 (錦ヶ丘)	" ( " )	" ( " )	重本雄介 (八代四)
副 会 長	佐々木真喜 (泗水)	箕田速 (荒尾三)	田上時雄 (阿蘇北)	田上時雄 (阿蘇北)	安見豊 (七城)	" (西合志南)	" ( " )	" ( " )
	栗田秋生 (青海)	" ( " )	坂本春雄 (嘉島)	重本雄介 (八代六)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	西宮智香志 (佐敷)
	徳丸信夫 (鹿北)	郷愛明 (錦ヶ丘)	重本雄介 (八代八)	松山秀則 (荒尾五)	吉永時男 (城南)	三浦孝之 (宇・鶴城)	石川親弘 (菊鹿)	上野虎幸 (錦ヶ丘)
監 事	星子駿一郎 (腹栄)	泉田正純 (鹿南)	橋本公 (南小国)	安見豊 (七城)	平野宙郎 (鹿本)	石川親弘 (菊鹿)	塚本武美 (一の宮)	石川親弘 (菊鹿)
	和泉忠幸 (河内)	" ( " )	" ( " )	白田学 (飽田)	" ( " )	田代義修 (飽田)	吉永時男 (城南)	田代義修 (飽田)
	坂本春雄 (嘉島)	" ( " )	渡辺誠一 (小川)	" ( " )	西田豊 (東陽)	" ( " )	" ( " )	" (八代六)
中体連理事長	竹永好男 (竜南)	" ( " )	" (帯山)	" ( " )	東良一 (白川)	" ( " )	" ( " )	藤野健一 (錦ヶ丘)
中 体 連 副 理 事 長	鶴田良介 (花陵)	" ( " )	" (出水)	" ( " )	" ( " )	吉田豊 (松橋)	山口幸喜 (菊池南)	堤田謹吾 (本渡)
	上田博澄 (山鹿)	築田智行 (帯山)	貞永茂 (八代一)	松尾昌 (荒尾五)	岡田克之 (楠)	" ( " )	大田黒征支 (江南)	" (出水)
			藤野健一 (西山)		" (錦ヶ丘)	" ( " )	" ( " )	松本英隆 (白川)
中体研理事長	東良一 (錦ヶ丘)	" ( " )	島榮三郎 (飽田)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	" ( " )	上田長利 (帯山)
中 体 研 副 理 事 長	穴戸幸一 (楠)	" (東野)	都筑慶二郎 (竜南)	" ( " )	宮川克之 (免田)	原訓史 (菊鹿)	宮田忠亮 (荒尾三)	佐藤安生 (産山)
	島榮三郎 (飽田)	" ( " )	松田耕平 (北部)	相馬将末 (菊陽)	" (武蔵ヶ丘)	田原道徳 (八代二)	立山靖夫 (芳野)	長野寛 (楠)
	門久末治 (吉尾)	山下一 (宇・鶴城)	木下智 (有明)	宮本英利 (松橋)	" ( " )		" ( " )	金田道博 (小川)
県教委	高木正義	"	"	野中哲昭	"	"	"	"
荒尾市	福永敏憲 (荒尾一)	箕田速 (荒尾三)	平川幸雄 (荒尾五)	松山秀則 (荒尾五)	" ( " )	" ( " )	坂本猛 (荒尾五)	" ( " )
玉名郡市	星子駿一郎 (腹栄)	関良孝 (菊水)	田上時雄 (南関)	" ( " )	小山弘則 (天水)	" ( " )	" ( " )	倉光菊生 (菊水)
鹿本郡市	徳丸信夫 (鹿北)	泉田正純 (鹿南)	" ( " )	平野宙郎 (五霊)	" (鹿本)	石川親弘 (菊鹿)	" ( " )	" ( " )
菊池郡市	佐々木真喜 (泗水)	高宗健一 (菊池東)	" ( " )	安見豊 (七城)	" ( " )	" (西合志南)	" ( " )	" ( " )
阿蘇郡	橋本公 (小国)	" (南小国)	" ( " )	東義光 (阿蘇)	桐原義尚 (高森)	浅尾猛 (阿蘇)	坂本武美 (一の宮)	" ( " )
熊本市	郷愛明 (錦ヶ丘)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	吉永時男 (城南)	" ( " )	" ( " )	上野虎幸 (錦ヶ丘)
飽託郡	和泉忠幸 (河内)	" ( " )	" ( " )	白田学 (飽田)	" ( " )	田代義修 (飽田)	" ( " )	" ( " )
上益城郡	坂本春雄 (嘉島)	" ( " )	" ( " )	富島勉 (浜町)	" ( " )	坂本正徳 (益城)	小田正也 (木山)	" ( " )
宇土郡市	栗田秋生 (青海)	" ( " )	三浦孝之 (宇・鶴城)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	福岡正吾 (青海)	" ( " )
下益城群	小野正一 (砥用西)	渡辺誠一 (小川)	" ( " )	" ( " )	森本博憲 (中央)	" (豊野)	" ( " )	増田長生 (富合)
八代郡	遠山勢一 (氷川)	" ( " )	岡村肇 (東陽)	" ( " )	西田豊 (東陽)	" ( " )	" ( " )	久保次明 (千丁)
八代市	重本雄介 (八代八)	" ( " )	" ( " )	" (八代六)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	" (八代四) 西田豊 (八代六)
球磨人吉	福永忍 (山江)	" ( " )	" ( " )	田爪正記 (多良木)	福永忍 (山江)	" ( " )	中原弘之 (錦)	広永清一 (人吉二)
葦北郡	四宮光晴 (佐敷)	" ( " )	" ( " )	明石輝雄 (湯浦)	" ( " )	" ( " )	西宮智香志 (佐敷)	" ( " )
水俣市	小木力 (水俣三)	" ( " )	" ( " )	岡本肇 (袋)	" ( " )	林田昭春 (水俣二)	" ( " )	" ( " )
天草郡市	塩田久仁夫 (有明東)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	" ( " )	小島昌夫 (佐伊津)	" ( " )	" ( " )

役職名	60	61	62	63	平成元	2	3	4
会長	重本雄介 (八代二)	"	"	下川和幸 (西原)	"	下川和幸(西原) 森口尉則(東野)	中元敏行 (水俣一)	東良一 (湖東)
副会長	安見豊 (西合志南)	坂本武美 (一の宮)	"	本田一郎 (白水)	木村孝昭 (菊鹿)	渡亮三 (七城)	"	"
	西宮智香志 (佐敷)	小田正也 (木山)	貞永茂 (八代一)	西田豊 (八代三)	"	河部博典 (天明)	東良一 (湖東)	島榮三郎 (芳野)
	上野虎幸 (錦ヶ丘)	"	下川和幸 (西原)	森川健祐 (錦ヶ丘)	森口尉則 (東野)	中元敏行 (水俣一)	西山富男 (本渡東)	"
監事	坂本猛 (荒尾五)	倉光菊生 (菊水)	木村孝昭 (菊鹿)	"	青木藤則 (南小国)	瀧川武弘 (植木北)	中島正士 (玉陵)	"
	田代義修 (飽田)	上田敬安 (飽田)	"	河部博典 (天明)	"	中山保 (網田)	黒木茂 (日奈久)	"
	西田豊 (八代六)	"	吉田昭造 (千丁)	今村次雄 (網田)	山下一 (小川)	"	"	"
中体連 理事長	藤野健一 (錦ヶ丘)	"	松本英隆 (白川)	"	"	前川隆道 (西原)	"	"
中体連 副理事長	井村穂助 (八代二)	"	"	"	"	小川謹也 (鹿本)	"	島田令司 (南関)
	伊豆丸幹生 (西原)	"	"	"	速水弘智 (江原)	"	"	三原悟 (城南)
	松本英隆 (白川)	"	前川隆道 (帯山)	"	"	塚野孝昭 (御船)	"	桑原秀文 (八代三)
	伊藤祐紀 (菊阿)	光永功 (草部北)	"	大跡弘道 (玉東)	"	坂井公一郎 (託麻)	"	"
中体研理事長	上田長利 (帯山)	"	川上一也 (東町)	"	"	加藤敬之 (河内)	"	"
中体研 副理事長	佐藤安生 (彦山)	富田忠亮 (荒尾三)	高木英俊 (玉名)	"	"	上田聡一 (荒尾四)	岩下昭彦 (菊池南)	西田耕陽 (荒尾一)
	長野寛 (楠)	"	上妻正義 (城南)	"	"	福地理 (出水)	"	"
	金田道博 (小川)	"	"	山下武 (千丁)	"	"	"	"
県教委	江原良一	"	藤野健一	"	"	荒木茂	"	"
荒尾市	坂本猛 (荒尾五)	"	"	浦田英之 (荒尾二)	相浦傳生 (荒尾三)	"	森高青 (荒尾二)	大江田鋪生 (荒尾五)
玉名郡市	倉光菊生 (菊水)	"	"	高村正矢 (岱明)	"	芦村寿 (有明)	中島正士 (玉陵)	"
鹿本郡市	石川親弘 (菊鹿)	木村孝昭 (菊鹿)	"	"	"	瀧川武弘 (植木北)	瀧川武弘 (鹿北)	"
菊池郡市	安見豊 (西合志南)	北村典 (七城)	"	渡亮三 (西合志南)	"	"	"	"
阿蘇郡	坂本武美 (一の宮)	"	"	本田一郎 (白水)	青木藤則 (南小国)	永田英雄 (蘇陽)	井芹徹也 (阿蘇北)	"
熊本市	上野虎幸 (錦ヶ丘)	"	下川和幸 (西原)	森川健祐 (錦ヶ丘)	森口尉則 (東野)	"	東良一 (湖東)	島榮三郎 (芳野)
飽託郡	田代義修 (飽田)	上田敬安 (飽田)	"	河部博典 (天明)	"	"	"	"
上益城郡	小田正也 (木山)	"	中尾増美 (七滝)	"	須佐美朋紀 (中島)	"	深見正義 (甲佐)	"
宇土郡市	福岡正吾 (青海)	"	今村次雄 (網田)	"	中山保 (網田)	"	宇城 高田幸也 (砥用)	宇城 "
下益城群	増田長生 (富合)	平田久嘉 (中央)	山下一 (小川)	"	"	"	"	"
八代郡	吉田昭造 (千丁)	"	"	瀧本康男 (東陽)	"	矢野敏之 (竜北)	"	"
八代市	重本雄介 (八代四) 西田豊 (八代六)	"	貞永茂 (八代一)	西田豊 (八代三)	"	里木茂 (日奈久)	"	"
球磨人吉	広永清一 (人吉二)	恒松敏幸 (人吉二)	"	"	"	塩本成行 (錦)	"	前田昭親 (人吉二)
葦北郡	西宮智香志 (佐敷)	門久末治 (吉尾)	"	藤田亨 (津奈木)	小野田稔 (佐敷)	山本茂夫 (津奈木)	"	門久末治 (佐敷)
水俣市	林田昭春 (水俣二)	田中佐市 (水俣二)	本山巖 (水俣二)	"	中元敏行 (水俣一)	"	"	溝下隆昌 (水俣一)
天草郡市	小島昌夫 (佐伊津)	山下昭男 (大矢野)	"	"	"	西山富男 (本渡東)	"	"

役職名	平成5	6	7	8	9	10	11	12
会長	西山富男 (本渡東)	" ( " )	高山優二 (鮑田)	岡田克之 (西原)	" ( " )	藤野健一 (東野)	入江正明 (宇・鶴城)	松本英隆 (三和)
副会長	中島正士 (玉陵)	井芹徹也 (阿蘇北)	大塚新也 (泗水)	山口幸喜 (旭志)	" ( " )	本山健一 (南関)	藤本正則 (長陽)	伊東祐紀 (大津)
	高山優二 (北部)	" ( " )	岡田克之 (城西)	藤野健一 (東野)	" ( " )	相馬將末 (菊陽)	松本英隆 (三和)	松田耕平 (河内)
	高田幸也 (砥用)	" ( " )	松尾昌 (荒尾二)	大浦徳義 (鏡)	" ( " )	松本英隆 (三和)	井上博之 (水俣三)	" ( " )
	/	渡邊信一 (中島)	" ( " )	/	/	入江正明 (宇・鶴城)	/	/
監事	井芹徹也 (阿蘇北)	大塚新也 (泗水)	福田洋史 (米野岳)	前田司 (長洲)	" ( " )	濱口護 (八代三)	松尾修一 (荒尾一)	松尾修一 (荒尾一)
	門久末治 (佐敷)	" ( " )	大浦徳義 (鏡)	小車睦男 (上村)	濱口護 (八代八)	藤本正則 (長陽)	馬淵睦揮 (八代二)	木下博信 (網田)
中体連理事長	前川隆道 (西原)	坂井公一郎 (西原)	" (東町)	千原攻一 (東町)	千原攻一 (東町)	日永信夫 (東町)	" ( " )	" ( " )
中体連副理事長	島田令司 (南関)	井野英利 (七城)	黒木雅隆 (玉名)	岩下昭彦 (大津)	" ( " )	" ( " )	岩下昭彦 (東町)	田上榮一 (荒尾一)
	三原悟 (城南)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	杉山哲 (城南)	" (錦ヶ丘)	日置大介 (楠)	日置大介 (楠)
	桑原秀文 (八代三)	" ( " )	前野謙紀 (松橋)	服部起明 (御船)	" ( " )	小野龍男 (鏡)	中島仙一郎 (松橋)	中島仙一郎 (松橋)
	坂井公一郎 (託麻)	千原功一 (東町)	" ( " )	日永信夫 (清水)	日永信夫 (東町)	楠木正昭 (東町)	服部起明 (矢部)	楠木正昭 (東町)
	千原功一 (江南)	日永信夫 (北部)	" ( " )	楠木正昭 (東町)	" ( " )	服部起明 (矢部)	楠木正昭 (東町)	杉山哲 (錦ヶ丘)
中体研理事長	上妻正義 (清水)	" ( " )	" ( " )	松山禎一 (桜木)	松山禎一 (桜木)	" ( " )	本郷司 (出水)	" ( " )
中体研副理事長	吉川英之介 (三加和)	永尾信次 (荒尾四)	中山直幸 (三加和)	水田智英 (菊池南)	山口裕人 (鹿北)	" (米野岳)	等尾俊二 (荒尾四)	野間幸嗣 (有明)
	福地理 (江原)	" ( " )	" ( " )	" (湖東)	永井和彦 (三和)	" ( " )	永井和彦 (三和)	" ( " )
	山下武 (千丁)	草場博志 (大野)	楠木正昭 (本町)	那須法寿 (嘉島)	" ( " )	" ( " )	川崎卓 (綾南)	福岡貞行 (小川)
県教委	東隆正	"	前川隆道	加藤敬之	"	"	千原功一	"
荒尾市	大江田鋪生 (荒尾五)	松尾昌 (荒尾二)	" ( " )	松尾修一 (荒尾二)	" ( " )	" ( " )	" (荒尾一)	" ( " )
玉名郡市	中島正士 (玉陵)	村上淵介 (三加和)	前田司 (長洲)	" ( " )	" ( " )	本山健一 (南関)	熊谷正純 (南関)	" ( " )
鹿本郡市	福田洋史 (米野岳)	" ( " )	" ( " )	淵上義行 ( " )	淵上義行 (米野岳)	矢住俊一郎 (五霊)	" ( " )	木村親正 (山鹿鶴城)
菊池郡市	大塚新也 (菊阿)	" ( " )	" (泗水)	山口幸喜 (旭志)	" ( " )	相馬將末 (菊陽)	伊東祐紀 (大津)	" ( " )
阿蘇郡	井芹徹也 (阿蘇北)	" ( " )	藤本正則 (産山)	" ( " )	" ( " )	藤本正則 (長陽)	" ( " )	甲斐謙一郎 (一の宮)
熊本市	高山優二 (北部)	" (鮑田)	岡田克之 (城西)	藤野健一 (東野)	" ( " )	松本英隆 (三和)	" ( " )	松田耕平 (河内)
上益城郡	渡邊信一 (中島)	" ( " )	" ( " )	成松光規 (益城)	" ( " )	甲斐慶一 (清和)	" ( " )	吉岡完 (中島)
宇土郡市	高田幸也 (砥用)	" ( " )	宮本英利 (富合)	入江正明 ( " )	入江正明 (宇・鶴城)	入江正明 (宇・鶴城)	木下博信 (不知火)	" (網田)
八代郡	中田嘉美 (鏡)	" ( " )	大浦徳義 (鏡)	" ( " )	" ( " )	中村充 (東陽)	" ( " )	小松又男 (氷川)
八代市	小柳洋一 (八代一)	" ( " )	松尾允碩 (八代三)	濱口護 (八代八)	" ( " )	濱口護 (八代三)	馬淵睦揮 (八代二)	" ( " )
球磨人吉	前田昭親 (人吉二)	" ( " )	小車睦男 (上村)	" ( " )	" ( " )	宮川勝之 (人吉二)	東文明 (上村)	" (人吉二)
葦北郡	門久末治 (佐敷)	" ( " )	松村誠也 (大野)	野田浩次 (佐敷)	井上博之 (大野)	" ( " )	深水清裕 (佐敷)	井上博之 (水俣三)
水俣市	溝下隆昌 (水俣一)	" ( " )	宮島昭典 (水俣一)	" ( " )	三宅康道 (水俣三)	" ( " )	井上博之 (大野)	" (水俣三)
天草郡市	西山富男 (本渡東)	小松野啓介 (大矢野)	蓮田博光 (牛深)	岡部富雄 (五和西)	" ( " )	" ( " )	野田隆生 (佐伊津)	" ( " )

役職名	平成 13	14	15	16	17	18	19	20
会 長	松本英隆 (玉 東)	" ( " )	" (長 嶺)	" ( " )	" ( " )	松井公一郎 (出 水)	" ( " )	前川隆道 (桜 木)
副 会 長	伊東祐紀 (大 津)	中尾昭南 (玉 陵)	" (長 嶺)	吉岡道男 (高 森)	" ( " )	東 隆正 (大 津)	" ( " )	" ( " )
	上田長利 (東 町)	" ( " )	田川浩輔 (東 部)	" ( " )	松井公一郎 (出 水)	前川隆道 (桜 木)	" ( " )	菅野哲雄 (西 原)
	井上博之 (水俣一)	" ( " )	馬淵睦揮 (八代一)	吉田正範 (八代二)	吉岡 完 (嘉 島)	上水富美雄 (八代三)	境 孝治 (砥 用)	" ( " )
監 事	木下博信 (網 田)	下地哲雄 (荒尾三)	吉岡道男 (長 陽)	東 隆正 (菊池北)	戸越政幸 (荒尾四)	中川秀喜 (白 水)	佐伯省五 (阿 蘇)	松野孝雄 (阿蘇北)
	下地哲雄 (荒尾三)	吉岡 完 (嘉 島)	" ( " )	吉岡 完 (益 城)	森脇正信 ( 鏡 )	境 孝治 (砥 用)	加藤敬之 (益 城)	佐伯宗雄 (水俣二)
中体連 理 事 長	楠木正昭 (東 町)	" ( " )	服部起明 (東 町)	" ( " )	" ( " )	海津英孝 (東 町)	" ( " )	古賀義久 (東 町)
中 体 連 副 理 事 長	田上榮一 (荒尾一)	中山直幸 (三加和)	" (玉 名)	田中誠也 (菊 鹿)	森川孝巳 (荒尾四)	堤 浩利 (菊池北)	山代隆夫 (泗 水)	" ( " )
	新垣 力 (日 吉)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	金森 勲 (北 部)	" ( " )	" ( " )	瑞穂達也 (東 野)
	田中 貴 (本 渡)	" ( " )	" (五和東)	" ( " )	村上伸一郎 (甲 佐)	" ( " )	" ( " )	" ( " )
	堺 圭一 (東 町)	服部起明 (甲 佐)	堺 圭一 (東 町)	" ( " )	海津英孝 (帶 山)	清水宏一郎 (力 合)	" ( " )	" ( " )
	/	堺 圭一 (東 町)	海津英孝 (西 山)	" (帶 山)	/	/	/	/
中体研理事長	本郷 司 (出 水)	" ( 楠 )	池田今朝清 (東 部)	" (長 嶺)	" ( " )	香山 悟 (桜 山)	大園隆明 (武 蔵)	" (力 合)
中 体 研 副 理 事 長	野間幸嗣 (有 明)	" ( " )	" ( " )	松野保生 (有 明)	清藤誠也 (山 鹿)	" ( " )	船津 清 (米野岳)	" ( " )
	永井和彦 (三 和)	" ( " )	大園隆明 (武 蔵)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	星田正治 (熊大附屬)	" (江 原)
	福岡貞行 (中 央)	" ( " )	清水龍一 (大矢野)	" ( " )	淵田尚史 (人吉二)	板床龍哉 (湯 出)	福永純一 (木 山)	" (甲 佐)
	香山 悟 (熊大附屬)	" ( " )	" ( " )	香山 悟 (桜 山)	" ( " )	山隈 修 (東 部)	" ( " )	" ( " )
	池田今朝清 (東 部)	" ( " )	/	/	山隈 修 (東 部)	/	古賀義久 (長 嶺)	/
県 教 委	久保明博	"	本郷 司	"	"	"	香山 悟	"
荒尾市	下地哲雄 (荒尾三)	" ( " )	松本修一 (荒尾四)	古場 浩 (荒尾三)	戸越政幸 (荒尾四)	" ( " )	" ( " )	" ( " )
玉名郡市	荒木修太 (玉 南)	中尾昭南 (玉 陵)	" ( " )	下地哲雄 (菊 水)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	" ( " )
鹿本郡市	木村親王 (鹿 北)	福永浩平 (植木北)	" ( " )	" ( " )	原田憲一 (山 鹿)	切通孝幸 (植木北)	皆本秀一郎 (米野岳)	" (鹿 南)
菊池郡市	伊東祐紀 (大 津)	坂本俊徳 (菊池南)	" ( " )	東 隆正 (菊池北)	" ( " )	" (大 津)	" ( " )	松野孝雄 (阿蘇北)
阿 蘇 郡	甲斐謙一郎 (一の宮)	吉岡道男 (草 部)	吉岡道男 (長 陽)	" (高 森)	" ( " )	中川秀喜 (白 水)	佐伯省五 (阿 蘇)	菅野哲雄 (西 原)
熊 本 市	上田長利 (東 町)	" ( " )	田川浩輔 (東 部)	" ( " )	松井公一郎 (出 水)	前川隆道 (桜 木)	" ( " )	" (益 白)
上益城郡	吉岡 完 (嘉 島)	" ( " )	" ( " )	" (益 城)	" (矢 部)	内野 敦 (蘇 陽)	加藤敬之 (益 城)	" ( " )
宇城郡市	木下博信 (網 田)	荒木 茂 (松 橋)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	境 孝治 (砥 用)	" ( " )	" ( " )
八 代 郡	吉田晃克 (氷 川)	" ( " )	" ( " )	森脇正信 (千 丁)	森脇正信 ( 鏡 )	上水富美雄 (八代三)	太田篤洋 (八代二)	" (八代一)
八 代 市	馬淵睦揮 (八代二)	" (八代一)	" ( " )	吉田正範 (八代二)	上水富美雄 (八代三)	"	"	"
球磨人吉	東 文明 (上 村)	" ( " )	" (多良木)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	小田定則 (人吉二)	" ( " )
芦北水俣郡市	井上博之 (水俣一)	" ( " )	岩下健三郎 (佐 敷)	" ( " )	" (水俣三)	" ( " )	" (水俣一)	佐伯宗雄 (水俣二)
天草郡市	高橋忠男 (五和西)	" ( " )	" (新 和)	" (佐伊津)	" ( " )	松尾真映 (今 津)	" (龍ヶ岳)	" ( " )

役職名	平成 21	22	23	24	25	26	27	28
会 長	境 孝治 (松 橋)	" ( " )	上原明徳 (桜 木)	加藤敬之 (御 船)	" ( " )	" (甲 佐)	楠木正昭 (江 原)	" (長 嶺)
副 会 長	戸越政幸 (腹 栄)	" ( " )	田邊鶴芳 (高森東)	黒木雅隆 (菊 水)	井野英利 (菊池南)	岩下昭彦 (武蔵ヶ丘)	岩下昭彦 (武蔵ヶ丘)	" (泗 水)
	上原明徳 (桜 木)	" ( " )	皆本秀一郎 (植木北)	日置大介 (力 合)	" ( " )	日永信夫 (二 岡)	稲田奈保美 (城南)	新垣力 (天 明)
	太田篤洋 (八代一)	松尾真映 (大矢野)	" ( " )	堀内澄夫 (豊 野)	吉村幸男 (五 和)	" ( " )	松本秀一 (湯 浦)	川崎卓 (阿 村)
	/	/	前野講紀 (小 川)	/	/	赤星 稔 (氷 川)	坂梨正文 (小 国)	香山 悟 (東 町)
監 事	水田智英 (旭 志)	" ( " )	内藤訓光 (菊 池)	田邊鶴芳 (高森東)	松本秀一 (水俣二)	田邊鶴芳 (長 陽)	中山直幸 (南 関)	"
	松本弘二 (佐 敷)	前野講紀 (砥 用)	村橋勝記 (鏡 )	西 龍三郎 (錦 )	横田貞純 (天 水)	松本秀一 (湯 浦)	中島仙一郎 (宇土鶴城)	"
中体連 理 事 長	古賀義久 (東 町)	" ( " )	清水宏一郎 (東 町)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	"	奥村 真太郎 (東 町)
中 体 連 副 理 事 長	山代隆夫 (泗 水)	福永純一 (甲 佐)	" ( " )	" ( " )	大谷浩介 (大津北)	木村勝範 (高 森)	木村勝範 (高 森)	大谷浩介 (大津北)
	瑞穂達也 (東 野)	" ( " )	木村光利 (京 陵)	" ( " )	" ( " )	安方史宜 (東 野)	"	"
	上村一浩 (不知火)	" ( " )	池田信敏 (本 渡)	" ( " )	" ( " )	" (天 草)	"	中村直人 (水俣二)
	清水宏一郎 (東 町)	" ( " )	池松洋彦 (東 町)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	奥村真太郎 (東 町)	松田直浩 (藤 園)
	/	/	/	/	/	堺 純 (菊 陽)	/	/
中体研理事長	大園隆明 (力 合)	山隈 修 (楠 )	" ( " )	" ( " )	福永純一 (益 城)	星田正治 (下城南)	堺 純 (菊 陽)	岩根 元 (小 国)
中 体 研 副 理 事 長	井手信幸 (玉 名)	" ( " )	丸山喜寛 (鶴 城)	北本憲仁 (菊 鹿)	" ( " )	板床龍哉 (木 山)	志賀祐介 (小 国)	丸山喜寛 (鹿 本)
	星田正治 (江 原)	田中省三 (三 和)	" (白 川)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	"	"
	馬淵隆幸 (八代一)	" ( " )	" ( " )	後藤英治 (水俣二)	鋤崎良二 (宇・鶴城)	" (砥 用)	澤村英樹 (人吉一)	井上淳一 (三 角)
	山隈 修 (楠 )	星田正治 (江 原)	" ( " )	" ( " )	" (下城南)	岩根 元 (熊大附属)	岩根 元 (熊大附属)	志賀祐介 (西 原)
県 教 委	香山 悟	大園隆明	"	岩田雅子	"	"	久米野千晶	"
玉名荒尾	戸越政幸 (腹 栄)	" ( " )	黒木雅隆 (玉 南)	" (菊 水)	横田貞純 (天 水)	中山直幸 (荒尾四)	" (南 関)	"
山 鹿 市	皆本秀一郎 (鹿 南)	堀田浩一郎 (山 鹿)	" ( " )	" ( " )	佐藤 智 (鹿 本)	" ( " )	松永博文 (米野岳)	"
菊池郡市	水田智英 (旭 志)	" ( " )	内藤訓光 (菊 池)	" ( " )	井野英利 (菊池南)	岩下昭彦 (武蔵ヶ丘)	岩下昭彦 (武蔵ヶ丘)	" (泗 水)
阿蘇郡市	松野孝雄 (阿蘇北)	田邊鶴芳 (高森東)	" ( " )	" ( " )	" (長 陽)	" ( " )	坂梨正文 (小 国)	" (南阿蘇)
上益城郡	加藤敬之 (益 城)	" (御 船)	" ( " )	酒井博範 (益 城)	" ( " )	大竹紳一郎 (蘇 陽)	大竹紳一郎 (蘇 陽)	河田知治 (清 和)
熊 本 市	上原明徳 (桜 木)	" ( " )	皆本秀一郎 (植木北)	日置大介 (力 合)	" ( " )	日永信夫 (二 岡)	稲田奈保美 (城南)	新垣力 (天 明)
宇城郡市	前野講紀 (砥 用)	" ( " )	前野講紀 (小 川)	堀内澄夫 (豊 野)	中島仙一郎 (小 川)	" ( " )	中島仙一郎 (宇土鶴城)	"
八 代	太田篤洋 (八代一)	村橋勝記 (鏡 )	" ( " )	田上義明 (八代六)	赤星 稔 (八代六)	" (氷 川)	塚副徹 (八代一)	"
球磨人吉	小田定則 (人吉二)	西 龍三郎 (湯 前)	" (錦 )	" ( " )	米良隆夫 (水 上)	" ( " )	田代 修 (球 磨)	" (あさぎり)
芦北水俣	松本弘二 (佐 敷)	松本秀一 (水俣二)	" ( " )	" ( " )	" ( " )	松本秀一 (湯 浦)	松本秀一 (湯 浦)	稲岡博信 (津奈木)
天草郡市	松尾真映 (大矢野)	" ( " )	" ( " )	吉村幸男 (五 和)	" ( " )	" ( " )	川崎卓 (阿 村)	"

8 (4) 熊本県中学校体育研究会・各郡市歴代理事長氏名一覽

H29.3 県中体研事務局作成

郡市名	平成元年	2	3	4	5	6	7	8	9	10
荒尾市	西田 耕陽 (荒尾一)	西田 耕陽 (荒尾一)	西田 耕陽 (荒尾一)	永尾 信次 (荒尾四)	永尾 信次 (荒尾四)	寺尾 俊二 (荒尾四)	寺尾 俊二 (荒尾四)	寺尾 俊二 (荒尾四)	寺尾 俊二 (荒尾四)	寺尾 俊二 (荒尾四)
玉名郡市	高木 英俊 (玉陵)	小松 隆俊 (有明)	吉川 英之介 (三加和)	吉川 英之介 (三加和)	吉川 英之介 (三加和)	中山 直幸 (玉東)	中山 直幸 (三加和)	中山 直幸 (三加和)	中山 直幸 (三加和)	松永 光親 (長洲)
鹿本郡市	中嶋 純一 (米野岳)	皆本 秀一郎 (山鹿)	西川 高光 (菊鹿)	久保田 克裕 (鹿南)	豊田 修治 (鹿本)	山口 裕人 (鹿北)	山口 裕人 (鹿北)	山口 裕人 (鹿北)	山口 裕人 (鹿北)	山口 裕人 (米野岳)
菊池郡市	井野 英利 (菊陽)	井野 英利 (菊陽)	岩下 昭彦 (菊地南)	岩下 昭彦 (菊地南)	水田 智英 (合志)	水田 智英 (合志)	水田 智英 (合志)	水田 智英 (菊地南)	中尾 幸治 (菊阿)	中尾幸治 (大津北)
阿蘇郡	中川 秀喜 (長陽)	松野 孝雄 (白水)	松野 孝雄 (白水)	松崎 毅 (西原)	田邊 鶴芳 (南小国)	田邊 鶴芳 (南小国)	田邊 鶴芳 (南小国)	田邊 鶴芳 (南小国)	井芹 昌文 (南小国)	井芹 昌文 (南小国)
熊本市	上妻 正義 (城南)	福地理 (出水)	福地理 (出水)	福地理 (出水)	福地理 (出水)	福地理 (出水)	福地理 (出水)	福地理 (湖東)	永井 和彦 (三和)	永井 和彦 (三和)
上益城郡	本田 英 (益城)	本田 英 (益城)	木村 敏郎 (木山)	木村 敏郎 (木山)	那須 法寿 (嘉島)	那須 法寿 (嘉島)	那須 法寿 (嘉島)	那須 法寿 (嘉島)	那須 法寿 (嘉島)	内田 晴龍 (嘉島)
宇城郡市	田中繁藏(鶴城) 前野謙紀(鹿野)	田中繁藏(鶴城) 前野謙紀(鹿野)	前野 謙紀 (鹿用)	前野 謙紀 (小川)	前野 謙紀 (小川)	橋本 信二 (豊野)	橋本 信二 (中央)	諏訪園 勉 (富合)	諏訪園 勉 (富合)	福岡 貞行 (網田)
八代郡	山下 武 (千丁)	山下 武 (千丁)	山下 武 (千丁)	山下 武 (千丁)	山下 武 (千丁)	山下 武 (千丁)	押方 博信 (千丁)	押方 博信 (千丁)	押方 博信 (千丁)	前田 卓也 (鏡)
八代市	上水 富美雄 (八代四)	上水 富美雄 (八代四)	上水 富美雄 (八代四)	木本 一幸 (八代五)	木本 一幸 (八代五)	泉 清治 (二見)	塚副 徹 (二見)	塚副 徹 (二見)	福岡 博信 (八代一)	福岡 博信 (八代一)
球磨人吉	桑原 弘幸 (球磨)	桑原 弘幸 (球磨)	桑原 弘幸 (球磨)	桑原 弘幸 (球磨)	中村 和長 (上村)	中村 和長 (上村)	吉村 剛 (相良北)	吉村 剛 (相良北)	吉村 剛 (相良北)	瀧田 尚史 (相良南)
芦北郡	松本 秀一 (湯浦)	松本 秀一 (湯浦)	草場 博志 (大野)	草場 博志 (大野)	草場 博志 (大野)	草場 博志 (大野)	岩崎多喜男 (大野)	岩崎多喜男 (大野)	岩崎多喜男 (大野)	村上伸一郎 (田浦)
水俣市	田中 淳 (湯出)	田中 淳 (湯出)	田中 淳 (湯出)	田中 淳 (湯出)	中村 岳史 (久木野)	中村 岳史 (久木野)	中村 岳史 (久木野)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)
天草郡市	矢住 嘉幸 (佐伊津)	富崎 剛章 (苓北)	富崎 剛章 (苓北)	富崎 剛章 (苓北)	楠木 正昭 (本町)	楠木 正昭 (本町)	楠木 正昭 (本町)	川崎 卓 (稜南)	川崎 卓 (稜南)	川崎 卓 (稜南)

郡市名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
荒尾市	寺尾 俊二 (荒尾四)	森川 孝巳 (荒尾二)	森川 孝巳 (荒尾二)	松野 保生 (荒尾五)	松野 保生 (荒尾五)	松野 保生 (荒尾五)	山科 貴裕 (荒尾一)	山科 貴裕 (荒尾一)	山科 貴裕 (荒尾一)	松野 保生 (荒尾一)
玉名郡市	松永 光親 (長洲)	野間 幸嗣 (有明)	野間 幸嗣 (有明)	野間 幸嗣 (有明)	野間 幸嗣 (有明)	杉本 三郎 (玉陵)	村上 浩之 (腹榮)	村上 浩之 (腹榮)	中島 恒士 (菊水)	井手 信幸 (玉名)
鹿本郡市	若杉 幸生 (鹿北)	若杉 幸生 (鹿北)	若杉 幸生 (鹿北)	若杉 幸生 (鹿北)	若杉 幸生 (鹿北)	清藤 誠也 (山鹿)	清藤 誠也 (山鹿)	清藤 誠也 (山鹿)	船津 清 (米野岳)	船津 清 (米野岳)
菊池郡市	中尾 幸治 (大津北)	緒方昇一郎 (菊陽)	草場 博志 (泗水)	草場 博志 (西合志南)	高橋 啓 (西合志)	岩谷 寛 (西合志)	岩谷 寛 (西合志)	岩谷 寛 (西合志)	岩谷 寛 (西合志)	米田 豊和 (菊池南)
阿蘇郡	井芹 昌文 (南小国)	岩根 元 (高森東)	岩根 元 (高森東)	岩根 元 (高森東)	岩根 元 (高森東)	奥村 真太郎 (南小国)	奥村 真太郎 (南小国)	奥村 真太郎 (南小国)	奥村 真太郎 (南小国)	奥村 真太郎 (南小国)
熊本市	永井 和彦 (三和)	永井 和彦 (三和)	永井 和彦 (三和)	永井 和彦 (三和)	大園 隆明 (武蔵)	大園 隆明 (武蔵)	大園 隆明 (武蔵)	大園 隆明 (武蔵)	星田 正治 (武蔵)	星田 正治 (江原)
上益城郡	内田 晴龍 (嘉島)	内田 晴龍 (嘉島)	内田 晴龍 (嘉島)	松本 巧 (益城)	山科 貴裕 (七滝)	山科 貴裕 (七滝)	藤野 博文 (嘉島)	福永 純一 (木山)	福永 純一 (木山)	福永 純一 (木山)
宇城郡市	福岡 貞行 (網田)	福岡 貞行 (小川)	福岡 貞行 (中央)	福岡 貞行 (中央)	上村 一浩 (不知火)	上村 一浩 (不知火)	上村 一浩 (不知火)	上村 一浩 (不知火)	岩田 雅子 (下・城南)	岩田 雅子 (下・城南)
八代郡	前田 卓也 (鏡)	前田 卓也 (鏡)	前田 卓也 (鏡)	押方 博信 (氷川)	馬淵 隆幸 (坂本)	馬淵 隆幸 (坂本)	馬淵 隆幸 (坂本)	前田 卓也 (竜北)	馬淵 隆幸 (坂本)	馬淵 隆幸 (坂本)
八代市	福岡 博信 (八代一)	福岡 博信 (八代一)	福岡 博信 (八代一)	福岡 博信 (八代一)	中村 和也 (八代五)	中村 和也 (八代五)	中村 和也 (八代五)	中村 和也 (八代五)	中村 和也 (八代五)	中村 和也 (八代五)
球磨人吉	瀧田 尚史 (相良南)	瀧田 尚史 (相良南)	村山 茂 (山江)	村山 茂 (山江)	村山 茂 (山江)	瀧田尚史 (相良南)	瀧田 尚史 (相良南)	瀧田 尚史 (相良南)	橋本 卓也 (多良木)	橋本 卓也 (多良木)
芦北郡	村上伸一郎 (田浦)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	瀧田 尚史 (津奈木)	瀧田 尚史 (津奈木)	板床 龍哉 (湯出)	板床 龍哉 (湯出)	板床 龍哉 (湯出)	山田 哲郎 (葛渡)	真野 良一 (大野)
水俣市	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)	大槻 義浩 (湯出)
天草郡市	川崎 卓 (稜南)	清水 龍一 (大矢野)	清水 龍一 (大矢野)	清水 龍一 (大矢野)	森 健一 (佐伊津)	森 健一 (佐伊津)	森 健一 (佐伊津)	淀川 一哉 (倉岳)	淀川 一哉 (倉岳)	淀川 一哉 (倉岳)

郡市名	21	22	23	24	25	26	27	28
玉名荒尾	井手 信幸 (玉名)	井手 信幸 (玉名)	上原 泰 (荒尾海陽)	久家 博樹 (玉名)	久家 博樹 (玉名)	境 恵司 (天水)	境 恵司 (天水)	酒井 剛 (玉南)
山鹿市	北本 憲仁 (鹿南)	丸山 喜寛 (山・鶴城)	丸山 喜寛 (山・鶴城)	北本 憲仁 (菊鹿)	北本 憲仁 (菊鹿)	北本 憲仁 (菊鹿)	東 克彦 (菊鹿)	丸山 喜寛 (鹿本)
菊池郡市	米田 豊和 (菊楊)	米田 豊和 (菊楊)	堺 純 (菊楊)	堺 純 (菊楊)	堺 純 (菊楊)	堺 純 (菊楊)	津留 知子 (旭志)	津留 知子 (武蔵ヶ丘)
阿蘇郡	岩崎 佳奈 (久木野)	木村 勝範 (小国)	木村 勝範 (小国)	木村 勝範 (高森東)	志賀 貴文 (高森)	志賀 祐介 (小国)	志賀 祐介 (小国)	林 剛史 (蘆山)
熊本市	星田 正治 (江原)	田中 省三 (三和)	田中 省三 (白川)	田中 省三 (白川)	田中 省三 (白川)	田中 省三 (白川)	田中 省三 (白川)	田中 省三 (白川)
上益城郡	東 克彦 (蘇陽)	東 克彦 (蘇陽)	東 克彦 (蘇陽)	牛島 智博 (木山)	有働 秀樹 (蘇陽)	板床 龍哉 (木山)	板床 龍哉 (蘇陽)	板床 龍哉 (蘇陽)
宇城郡市	岩田 雅子 (宇・鶴城)	岩田 雅子 (宇・鶴城)	鋤崎 良二 (宇・鶴城)	鋤崎 良二 (宇・鶴城)	鋤崎 良二 (宇・鶴城)	鋤崎 良二 (宇・鶴城)	井上 淳一 (三角)	井上 淳一 (三角)
八代	馬淵 隆幸 (八代一)	馬淵 隆幸 (八代一)	馬淵 隆幸 (八代一)	馬淵 隆幸 (八代一)	吉崎 孝明 (二見)	吉崎 孝明 (二見)	星田 章広 (八代一)	星田 章広 (八代一)
人吉球磨	橋本 卓也 (多良木)	橋本 卓也 (多良木)	橋本 卓也 (多良木)	澤村 英樹 (人吉一)	澤村 英樹 (人吉一)	澤村 英樹 (人吉一)	澤村 英樹 (人吉一)	久間 章弘 (湯前)
芦北水俣	真野 良一 (大野)	真野 良一 (大野)	後藤 英治 (水俣二)	後藤 英治 (水俣二)	本田 俊介 (田浦)	本田 俊介 (田浦)	米 新一 (津奈木)	米 新一 (津奈木)
天草郡市	淀川 一哉 (倉岳)	淀川 一哉 (大矢野)	黒川 雅弘 (天草)	黒川 雅弘 (新和)	黒川 雅弘 (新和)	宮田 知政 (牛深東)	平田 徳保 (新和)	平田 徳保 (新和)



8 (5) 熊本県中学校体育連盟・各郡市歴代理事長、歴代専門部長氏名一覧

H 2 9 . 3 県中体連事務局作成

役職名	52	53	54	55	56	57	58	59
荒尾市	中尾英士 (荒尾一)	西山邦彦 (荒尾三)	松尾昌 (荒尾五)	"	"	"	南部康雄 (荒尾五)	"
玉名郡市	木下智 (横島)	" (有明)	"	田原貞彦 (腹栄)	"	"	"	" (岱明)
鹿本郡市	上田博澄 (山鹿)	"	"	"	淵上義行 (五霊)	有働忠 (米野岳)	原訓史 (菊鹿)	"
菊池郡市	橋本尊州 (菊池南)	"	"	"	大塚新也 (大津)	"	山口幸喜 (菊池南)	伊東祐紀 (菊阿)
阿蘇郡	斉藤功 (阿蘇北)	青紀藤則 (西原)	"	斉藤功 (阿蘇北)	"	"	"	" (一の宮)
熊本市	築田智行 (帯山)	"	岡田克之 (湖東)	"	鶴田良介 (出水)	"	大田黒征支 (江南)	" (出水)
飽託郡	島榮三郎 (飽田)	"	松田耕平 (北部)	"	"	"	"	"
上益城郡	増永信行 (御船)	"	"	宮西和義 (御船)	"	渡辺信一 (御船)	"	"
宇土郡市	平井光輝 (鶴城)	山下一 (鶴白)	入江正明 (住吉)	"	"	"	"	中川幸夫 (青海)
下益城群	須佐美朋紀 (砥用西)	吉田豊 (城南)	"	"	"	" (松橋)	長田政敏 (豊野)	石村達成 (松橋)
八代郡	山下武 (氷川)	高陽道生 (千丁)	"	藤本頼隆 (東陽)	"	遠山和美 (竜北)	"	"
八代市	貞永茂 (八代一)	"	"	井村穂助 (八代三)	"	"	"	" (多良木)
球磨人吉	蔵座要香 (錦)	"	脇章介 (球磨)	"	"	杉元覚 (人吉一)	"	" (多良木)
葦北郡	林田常義 (大野)	"	"	"	北村栄一郎 (佐敷)	楠原真幸 (湯浦)	" (佐敷)	"
水俣市	栄永健一 (水俣一)	井上博之 (水俣一)	"	"	"	森田幸治 (水俣二)	"	"
天草郡市	高村功 (本渡)	堤田謹吾 (本渡)	"	"	"	"	"	"
陸上競技	津志田司 (湖東)	"	"	"	"	"	"	" (熊・西原)
水泳競技	森川健祐 (藤園)	島崎紀雄 (東野)	"	"	" (湖東)	辛木秀子 (竜南)	"	"
体操競技	江崎三郎 (花陵)	"	"	田原道徳 (八代二)	"	"	"	"
	木庭順子 (藤園)	"	"	"	"	"	" (出水南)	"
バレーボール	速水弘智 (楠)	宍戸幸一 (東野)	"	"	田中苗正 (出水)	"	" (出水南)	"
バスケットボール	岡田克之 (湖東)	"	箕田照彦 (竜北)	皆本秀一郎 (鹿南)	桑原洋正 (天明)	"	吉岡道男 (阿蘇)	河津巖 (東町)
サッカー	藤野健一 (西山)	"	東茂春 (京陵)	"	"	"	"	"
ハンドボール	築田智行 (帯山)	"	"	"	"	平井徳一 (下城南)	"	"
軟式野球	片山一也 (東野)	"	"	西村誠 (荒尾一)	鬼塚将二 (白川)	川上一也 (錦ヶ丘)	" (東町)	"
ソフトボール	釘崎諭 (白川)	"	"	本山武士 (荒尾一)	釘崎諭 (京陵)	"	"	"
軟式庭球	南田五郎 (花陵)	"	"	中村汎 (東部)	"	"	"	"
卓球	渡辺澄 (錦ヶ丘)	"	"	高田徳昭 (荒尾一)	渡辺澄 (錦ヶ丘)	" (東町)	"	菊川保之 (八代一)
バドミントン	長野寛 (楠)	"	"	"	渡辺幸男 (楠)	"	"	"
柔道	荒木節夫 ( )	"	"	"	"	"	"	菅野哲雄 (京陵)
剣道	福永浩平 (菊鹿)	"	"	"	" (鹿北)	"	"	"
相撲	吉田正範 (八代三)	" (八代八)	"	"	"	"	"	田中健正 (河内)
駅伝競技	須佐美朋紀 (砥用西)	"	"	渡辺信一 (七滝)	"	長田政敏 (豊野)	"	福海正隆 (砥用)

役職名	60	61	62	63	平成元	2	3	4
荒尾市	南部康雄 (荒尾五)	中川英士 (荒尾一)	〃 (〃)	〃 (〃)	田上榮一 (荒尾三)	〃 (〃)	上田聡一 (荒尾二)	横田貞純 (荒尾五)
玉名郡市	田原貞彦 (腹栄)	大跡弘道 (玉東)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	島田令司 (南関)	〃 (〃)	〃 (〃)
鹿本郡市	原訓史 (菊鹿)	〃 (山鹿)	大島雄二郎 (鶴城)	小材謹也 (鹿本)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (山鹿)	原典史 (山鹿)
菊池郡市	伊東祐紀 (菊阿)	先成英明 (大津)	東隆正 (菊池北)	〃 (〃)	〃 (〃)	井野英利 (菊陽)	〃 (〃)	〃 (七城)
阿蘇郡	光永功 (草部北)	〃 (〃)	〃 (一の宮)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
熊本市	伊豆丸幹生 (西原)	〃 (〃)	〃 (〃)	速水弘智 (江原)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	三原悟 (城南)
飽託郡	松田耕平 (北部)	西田和子 (北部)	〃 (〃)	黒木雅隆 (飽田)	〃 (〃)	寺本英信 (北部)	〃 (〃)	〃 (〃)
上益城郡	渡辺信一 (御船)	塚野孝昭 (滝水)	〃 (御船)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	本田英躬 (甲佐)
宇土郡市	中川幸夫 (青海)	宮本紀夫 (住吉)	〃 (〃)	荒木茂 (鶴城)	徳本則康 (鶴城)	〃 (三角)	金田道博 (城南)	松枝保俊 (砥用)
下益城群	石村達成 (松橋)	中川幸夫 (砥用)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (松橋)	〃 (〃)	〃 (〃)
八代郡	遠山和美 (童北)	高陽道生 (千丁)	吉田晃克 (鏡)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (童北)	箕田照彦 (鏡)	〃 (〃)
八代市	井村穂助 (八代三)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	桑原秀文 (八代三)	〃 (〃)	〃 (〃)
球磨人吉	吉岡隆 (岡原)	瀬口汎敏 (人吉一)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (免田)	西龍三郎 (須恵)	〃 (〃)
葦北郡	楠原真幸 (湯浦)	井上博之 (津奈木)	〃 (〃)	楠原真幸 (佐敷)	〃 (〃)	〃 (〃)	松本秀一 (佐敷)	〃 (〃)
水俣市	森田幸治 (水俣二)	〃 (葛渡)	岩下健三郎 (湯出)	佐伯宗雄 (水俣二)	〃 (〃)	〃 (葛渡)	〃 (〃)	本田邦生 (水俣一)
天草郡市	堤田謹吾 (本渡)	高橋忠男 (河浦)	〃 (本渡)	〃 (〃)	〃 (〃)	松尾眞映 (本渡)	〃 (〃)	平田浩一 (本渡)
陸上競技	津志田司 (湖東)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	麦田康利 (八代一)	〃 (〃)	光永功 (一の宮)
水泳競技	辛木秀子 (錦ヶ丘)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
体操競技	田原道徳 (八代二)	〃 (八代四)	〃 (〃)	〃 (〃)	松山偵一 (井芹)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
	木庭順子 (藤園)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	古城啓子 (西原)	〃 (〃)	〃 (〃)
バレーボール	田中苗正 (出水南)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	林茂雄 (井芹)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
バスケットボール	河津巖 (東町)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	坂井賢二 (東町)	〃 (〃)	杉山哲 (桜山)	〃 (〃)
サッカー	東茂春 (花陵)	〃 (〃)	〃 (西山)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	上原明徳 (熊大附属)	宗村晴夫 (花陵)
ハンドボール	平井徳一 (下城南)	〃 (〃)	〃 (松橋)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
軟式野球	川上一也 (東町)	〃 (〃)	徳淵盛也 (袋)	〃 (京陵)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
ソフトボール	釘崎諭 (京陵)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (西山)	〃 (〃)	〃 (〃)	亀井弘治 (熊大附属)	〃 (〃)
ソフトテニス	中村汎 (東部)	〃 (白川)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
卓球	菊川保之 (八代一)	〃 (〃)	〃 (八代二)	〃 (〃)	中村敬人 (不知火)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
バドミントン	畠山篤 (西山)	〃 (〃)	〃 (藤園)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
柔道	菅野哲雄 (京陵)	〃 (錦ヶ丘)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	今田敏治 (山鹿)
剣道	福永浩平 (菊北)	上村隆昭 (京陵)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (藤園)	〃 (〃)	〃 (〃)	桑原弘幸 (球磨)
相撲	田中健正 (河内)	〃 (〃)	上水富美雄 (八代三)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (八代四)	〃 (〃)	池田浩一 (蘇陽)
駅伝競技	福海正隆 (砥用)	〃 (中央)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	松野孝雄 (白水)	吉永公力 (砥用)	〃 (〃)

役職名	平成5	6	7	8	9	10	11	12
荒尾市	横田貞純 (荒尾五)	田上榮一 (荒尾四)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (荒尾一)
玉名郡市	島田令司 (南関)	黒木雅隆 (玉名)	〃 (〃)	岡部雅文 (長州)	〃 (〃)	角田雅彦 (岱明)	〃 (〃)	〃 (南関)
鹿本郡市	原典史 (山鹿)	〃 (〃)	豊田修治 (鹿本)	〃 (米野岳)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	中嶋英一 (鹿本)
菊池郡市	井野英利 (七城)	〃 (〃)	岩下昭彦 (菊池南)	〃 (大津)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	桐陽介 (菊池南)
阿蘇郡	松壽毅 (西原)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (草部)	〃 (〃)	今村栄希 (高森)	〃 (〃)	〃 (一の宮)
熊本市	三原悟 (城南)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	杉山哲 (城南)	〃 (〃)	日置大介 (楠)	〃 (〃)
上益城郡	加藤敬之 (御船)	〃 (〃)	服部起明 (御船)	〃 (〃)	〃 (〃)	藤原一也 (清和)	〃 (〃)	村上伸一郎 (御船)
宇城郡市	松枝保俊 (砥用)	前野講紀 (松橋)	〃 (〃)	中島仙一郎 (松橋)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
八代郡	箕田照彦 (鏡)	〃 (〃)	小野龍男 (泉)	〃 (鏡)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	横井克昌 (千丁)
八代市	桑原秀文 (八代三)	〃 (〃)	宮坂順治 (八代一)	〃 (〃)	〃 (〃)	緒方裕一 (八代六)	〃 (〃)	杉田明 (八代一)
球磨人吉	西龍三郎 (須恵)	高田哲弘 (多良木)	〃 (〃)	迫孝生 (水上)	〃 (〃)	〃 (人吉四)	淵田康正 (五木)	〃 (〃)
葦北郡	松本秀一 (佐敷)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (津奈木)	〃 (〃)	草野英治 (水俣一)
水俣市	本田邦生 (水俣一)	〃 (多良木)	松本弘二 (水俣二)	〃 (葛渡)	松本弘二 (水俣一)	田原正和 (久木野)	草野英治 (水俣一)	〃 (水俣一)
天草郡市	平田浩一 (本渡)	〃 (〃)	矢住嘉孝 (本渡)	〃 (〃)	田中新作 (大矢野)	〃 (〃)	田中貴 (本渡)	〃 (〃)
陸上競技	光永功 (一の宮)	下城基宏 (馬見原)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (高森)
水泳競技	辛木秀子 (錦ヶ丘)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (出水南)	〃 (〃)	〃 (〃)
体操競技	松山慎一 (井芹)	〃 (〃)	元田晋也 (五霊)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (白川)	〃 (〃)	〃 (〃)
	古城啓子 (西原)	〃 (〃)	〃 (井芹)	〃 (〃)	〃 (清水)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
バレーボール	林茂雄 (井芹)	〃 (〃)	富田眞 (白川)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
バスケットボール	杉山哲 (桜山)	〃 (城南)	〃 (〃)	〃 (〃)	津田博夫 (武蔵ヶ丘)	永尾信次 (荒尾四)	〃 (荒尾一)	〃 (〃)
サッカー	宗村晴夫 (花陵)	〃 (託麻)	〃 (〃)	〃 (花陵)	池田政秀 (東野)	〃 (〃)	高橋誉 (合志)	〃 (〃)
ハンドボール	堀内澄夫 (住吉)	〃 (〃)	〃 (〃)	中野靖夫 (宇・鶴城)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
軟式野球	徳淵盛也 (京)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (菊陽)	高橋博之 (泉)	〃 (〃)	〃 (童北)	〃 (〃)
ソフトボール	亀井弘治 (熊本附属)	今村栄希 (東野)	〃 (高森)	〃 (〃)	松崎繁 (東町)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (託麻)
ソフトテニス	宮崎敏明 (帯山)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	佐々尚二 (七城)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
卓球	中村敬人 (不知火)	西村民雄 (八代六)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (二見)	〃 (〃)	〃 (〃)
バドミントン	畠山篤 (北部)	〃 (〃)	堺圭一 (八代二)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (長嶺)	〃 (〃)	〃 (東町)
柔道	今田敏治 (山鹿)	〃 (〃)	田代秀一郎 (童北)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	田中誠 (松橋)
剣道	桑原弘幸 (球磨)	〃 (湯浦)	〃 (〃)	〃 (〃)	栗崎敬一 (西山)	〃 (〃)	那須純生 (錦)	〃 (〃)
相撲	池田浩一 (蘇陽)	〃 (〃)	〃 (宇・鶴城)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	中村頼勝 (阿蘇北)
駅伝競技	吉永公力 (砥用)	福海正隆 (下城南)	寺本洋一 (〃)	清水雅美 (西原)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
弓道				市原家幸 (有明)	〃 (〃)	〃 (〃)	森田淳 (八代一)	〃 (〃)
空手道				前田浩弘 (本渡)	大槻誠 (阿蘇)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (東陽)
ラグビー				岡村健之 (日吉)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (託麻)	〃 (〃)
テニス				坂井誠一郎 (下城南)	〃 (〃)	〃 (富合)	〃 (〃)	〃 (〃)

役職名	平成 13	14	15	16	17	18	19	20
荒尾市	田上 榮一 (荒尾一)	〃 (〃)	森 毅 孝 巳 (荒尾四)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
玉名郡市	中山 直 幸 (三加和)	〃 (〃)	〃 (玉 名)	〃 (〃)	杉本 三 郎 (玉 名)	〃 (〃)	米 村 光 生 (玉 陵)	〃 (〃)
鹿本郡市	中 嶋 英 一 (鹿 本)	田 中 誠 也 (菊 鹿)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	若 杉 幸 生 (鹿 南)	林 田 浩 昭 (鹿 本)	〃 (〃)
菊池郡市	桐 陽 介 (菊池南)	境 敬 一 郎 (旭 志)	〃 (〃)	堤 浩 利 (菊池北)	〃 (〃)	〃 (〃)	山 代 隆 夫 (泗 水)	〃 (〃)
阿 蘇 郡	今 村 栄 希 (一の宮)	〃 (〃)	〃 (久木野)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	志 賀 貴 文 (高 森)
熊 本 市	新 垣 力 (日 吉)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	金 森 勲 (北 部)	〃 (〃)	〃 (〃)	瑞 穂 達 也 (東 野)
上益城郡	村 上 伸 一 郎 (御 船)	〃 (〃)	〃 (甲 佐)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
宇城郡市	中 島 仙 一 郎 (松 橋)	田 中 繁 蔵 (松 橋)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	田 中 誠 (松 橋)	上 村 一 浩 (不知火)	〃 (〃)
八 代 郡	横 井 克 昌 (千 丁)	〃 (〃)	佐 藤 不 二 夫 (童 北)	〃 (氷 川)	〃 (〃)	田 河 正 人 (八代一)	〃 (〃)	〃 (〃)
八 代 市	杉 田 明 (八代一)	貞 永 和 宣 (八代一)	稲 岡 博 信 (八代一)	〃 (日奈久)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
球磨人吉	瀧 田 康 正 (五 木)	〃 (球 磨)	〃 (〃)	田 中 慎 二 (免 田)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (人吉三)
芦北水俣郡市	草 野 英 治 (水俣一)	古 田 利 也 (水俣三)	中 村 岳 史 (湯 出)	〃 (〃)	〃 (久木野)	〃 (〃)	吉 本 裕 康 (佐 敷)	〃 (〃)
天草郡市	田 中 貴 (本 渡)	〃 (〃)	〃 (五和東)	〃 (〃)	〃 (河 浦)	〃 (〃)	池 田 信 敏 (荅 北)	〃 (〃)
陸上競技	下 城 基 宏 (高 森)	角 田 雅 彦 (南 関)	〃 (〃)	藤 原 一 也 (益 城)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	沢 田 修 (東 町)
水泳競技	村 森 豊 (花 陵)	〃 (〃)	〃 (出水南)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
体操競技	元 田 晋 也 (白 川)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (江 南)	〃 (〃)	〃 (西 山)	〃 (〃)	〃 (〃)
	古 城 啓 子 (清 水)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	菊 池 み ず ほ (熊・信愛)	〃 (〃)	古 城 啓 子 (出水南)	〃 (〃)
バレーボール	富 田 眞 (帯 山)	〃 (〃)	内 田 晴 龍 (嘉 島)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (御 船)	〃 (〃)	〃 (〃)
バスケットボール	永 尾 信 次 (荒尾一)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (帯 山)	〃 (〃)	〃 (〃)
サッカー	中 野 浩 二 (免 田)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	中 野 浩 二 (人吉一)	藤 野 博 文 (嘉 島)	〃 (益 城)	〃 (〃)
ハンドボール	中 野 靖 夫 (宇・鶴城)	上 野 哲 也 (氷 川)	〃 (〃)	〃 (〃)	黒 木 幸 博 (山 鹿)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
軟式野球	高 橋 博 之 (童 北)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	吉 野 栄 治 (菊 鹿)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
ソフトボール	松 崎 繁 (託 麻)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	谷 口 了 (長 嶺)	〃 (〃)	〃 (〃)	多 田 隈 豪 (大 矢 野)
ソフトテニス	岩 田 雅 子 (宇・鶴城)	池 田 完 治 (南 関)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (玉 名)	〃 (〃)	〃 (〃)
卓 球	西 村 民 雄 (二 見)	井 上 利 之 (白 水)	〃 (〃)	〃 (〃)	松 本 英 之 (龍 田)	〃 (〃)	宮 崎 治 義 (河 内)	〃 (二 岡)
バドミントン	岡 村 猛 嗣 (江 原)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (三 和)	〃 (〃)
柔 道	田 中 誠 (松 橋)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	米 田 輝 彦 (山・鶴城)	〃 (菊 鹿)	〃 (〃)	〃 (〃)
剣 道	那 須 純 生 (錦)	〃 (〃)	〃 (深 田)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (人吉一)
相 撲	中 村 頼 勝 (阿蘇北)	〃 (〃)	〃 (三加和)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
駅伝競技	清 水 雅 美 (北 部)	藤 原 一 也 (清 和)	〃 (〃)	池 田 信 敏 (新 和)	〃 (〃)	〃 (荅 北)	西 村 国 彦 (松 橋)	〃 (〃)
弓 道	森 田 淳 (八代八)	〃 (宇・鶴城)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	小 松 隆 史 (湖 東)	〃 (〃)	〃 (〃)
空 手 道	大 槻 誠 (東 陽)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	鹿 釜 良 一 (木 山)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)
ラグビー	岡 村 健 之 (託 麻)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (〃)	〃 (長 嶺)
テ ニ ス	坂 井 誠 一 郎 (富 合)	〃 (〃)	黒 川 勝 己 (中 島)	〃 (〃)	〃 (七 滝)	〃 (〃)	〃 (嘉 島)	〃 (〃)

役職名	平成 21	22	23	24	25	26	27	28
玉名荒尾	米村光生 (玉陵)	" ( )	村上浩之 (腹栄)	" ( )	青山賢治 (荒尾海陽)	" ( )	" (玉名)	" ( )
山鹿市	船津清 (鹿本)	" ( )	" ( )	吉野栄治 (山鹿)	" ( )	" ( )	北本憲仁 (山鹿)	" ( )
菊池郡市	山代隆夫 (泗水)	岩谷寛 (西合志南)	" ( )	大谷浩介 (西合志)	" (大津北)	" ( )	" ( )	" ( )
阿蘇郡市	志賀貴文 (高森)	" ( )	" ( )	" ( )	木村勝範 (高森東)	" (高森)	" ( )	" ( )
上益城郡	福永純一 (甲佐)	" ( )	" ( )	" ( )	藤野博文 (矢部)	" (甲佐)	" ( )	" ( )
熊本市	瑞穂達也 (東野)	" ( )	木村光利 (京陵)	" ( )	" ( )	安方史宜 (東野)	" ( )	" ( )
宇城郡市	上村一浩 (不知火)	" ( )	齊藤達也 (松橋)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	杉野朋之 (宇土鶴城)
八代	中村和也 (日奈久)	" ( )	" ( )	" ( )	" (八代二)	" ( )	吉崎孝明 (二見)	" (八代一)
球磨人吉	田中慎二 (人吉三)	山本祥博 (人吉二)	" ( )	" ( )	村山茂 (多良木)	" ( )	" ( )	" ( )
芦北水俣	" (津奈木)	中村直人 (田浦)	" ( )	" ( )	山下直之 (水俣一)	" (緑東)	中村直人 (水俣二)	" ( )
天草郡市	池田信敏 (本渡)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" (天草)	" ( )	" ( )
陸上競技	沢田修 (東町)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" (帯山)	" ( )	" ( )
水泳競技	村森豊 (出水南)	" ( )	" (桜木)	" ( )	" ( )	" ( )	" (下城南)	" ( )
体操競技	元田晋也 (西山)	蒲生伸治 (力合)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" (楠)	" ( )
新体操	古城啓子 (出水南)	本田俊介 (水俣一)	" (袋)	" ( )	" (田浦)	" ( )	" (湯浦)	" ( )
バレーボール	内田晴龍 (宇土)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )
バスケットボール	永尾信次 (帯山)	" ( )	増永紳治 (白川)	" (井芹)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )
サッカー	藤野博文 (益城)	" ( )	" ( )	" (矢部)	牛島智博 (木山)	" ( )	" (玉名)	" ( )
ハンドボール	西浦伸一 (山鹿)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	矢住征規 (荅北)	" ( )
軟式野球	吉野栄治 (菊鹿)	" ( )	山口順司 (城西)	" ( )	" ( )	" ( )	山口順司 (力合)	" ( )
ソフトボール	多田隈蒙 (大矢野)	" ( )	黒田憲成 (松橋)	" ( )	" ( )	" ( )	黒田憲成 (小川)	" ( )
ソフトテニス	池田完治 (玉名)	" ( )	" ( )	" ( )	" (三加和)	" ( )	" ( )	" ( )
卓球	宮崎治義 (二岡)	" (花陵)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )
バドミントン	日野本充 (八代三)	" ( )	" (八代二)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" (東陽)
柔道	米田輝彦 (菊鹿)	" ( )	" ( )	" ( )	" (泗水)	" ( )	" ( )	" ( )
剣道	那須純生 (人吉一)	安方史宜 (城南)	" ( )	熊俊晴 (人吉一)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )
相撲	中村頼勝 (岱明)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	高濱壽夫 (宇・鶴城)	" ( )	" ( )
駅伝競技	西村国彦 (宇・鶴城)	" ( )	" ( )	" (網田)	大山道弘 (荒尾海陽)	" ( )	" (南関)	" ( )
弓道	小松隆史 (荒尾四)	" ( )	" ( )	" ( )	" (有明)	" ( )	" ( )	" ( )
空手道	鹿釜良一 (木山)	" ( )	" ( )	" (矢部)	" (御船)	" ( )	" ( )	" ( )
ラグビー	岡村健之 (長嶺)	" ( )	" ( )	" ( )	" (出水南)	" ( )	" ( )	" ( )
テニス	黒川勝己 (益城)	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	" ( )	池田祐樹 (荒尾海陽)	" ( )

## 編集後記

この会誌は、熊本県中学校体育研究会の活動内容を広く理解していただく意味で発刊しております。

今回で32号になりますが、昨年度より熊本県中体連のホームページを開設し、その中に中体研の項目を設け、本会の活動をまとめたものを掲載させていただいております。内容には研究活動の概要、各都市活動状況、体育優良校や功労者、研究実践及び研究大会等を掲載しております。

今年度は4月の熊本地震により、夏季研修会を含め各都市で実践等を満足に行えない状況も少なからずありましたが、11月には菊池都市で学校体育研究発表会を行うことができました。その内容等も詳細に掲載いたしました。このことにより多くの方々への情報公開となり、郡市中体研、中体連の組織の充実と発展、さらには会員の皆様方の今後の保健体育指導に役に立てば幸いに存じます。

最後に、ご多用にもかかわらず、ご寄稿いただきました諸先生方に厚くお礼申し上げます。

熊本県中学校体育研究会 会誌第32号

---

平成29年3月31日

編集委員 岩根 元  
林 剛史

発行者 楠木 正昭

発行所 熊本県中学校体育研究会  
〒 869-2501 阿蘇郡小国町宮原 200 番地 1  
TEL 0967-46-3225 FAX 0967-46-3493

---